

令和7年度小学部 5年(I課程)国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材	担当者
175	国語五 銀河（光村図書）	国語担当1名

年間目標		(知及技)目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。 (思判表力) 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。 (学・人) 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 4月	65 1	①(知及技) ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができるようにする。 ①(思判表力) ・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるようにする。 ・話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができるようにする。 ①(学・人) ・進んで自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもって友達から「ひみつの言葉」を引き出せるように話そうとする態度を養う。	①(知・技) ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。 ①(思・判・表) ・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えている。 ①(主学) ・進んで自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもって友達から「ひみつの言葉」を引き出せるように話そうとしている。	①ひみつの言葉を引き出そう(話・聞①)	①「ひみつの言葉を引き出そう」扉の詩、目次、P9「国語の学びを見わたそう」を見て、学習の進め方を確かめたり、見通しをもったりする。 P17を読み、5年生の国語学習での目標や楽しみなことを書く。 P18-19を読み、活動のしかたを確かめる。 気持ちや様子を表す言葉を、一人一つずつカードに書く。他の人に言葉が見えないように、グループの中で交換する。 一人がカードを持ち、グループで2分間話す。 ・カードを持たないメンバーは、どうすればカードを持つ人が「ひみつの言葉」を口にするかを考えながら話す。 カードに書かれている言葉を確認、会話を振り返る。 カードを持つ人を交代して、再度行う。 話してみて感じたことを振り返る。
4月	1	②(知及技) ・詩を音読することができるようにする。 ②(思判表力) ・詩を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げることができるようにする。 ②(学・人) 音読して、想像したことを伝え合う態度を養う。	②(知・技) ・詩を音読している。 ②(思・判・表) ・「読むこと」において、詩を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)力) ②(主学)進んで詩を音読し、学習課題に沿って想像したことを伝え合おうとしている。	②「かんがえるのって おもしろい」(読①)	②「かんがえるのって おもしろい」詩を声に出して読んだり、友達の音読を聞いたりして、描かれていることを想像する。 ・「どこかとおく」「しらないけしき」などの言葉が表していることを考える。 思い浮かべた様子や自分の経験と重ねて感じたことをノートに書く。 ノートに書いたことを基にして、詩を読んで感じたことを伝え合う。 学習を振り返る。
4月	1	③(知及技) ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができるようにする。 ・文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解することができるようにする。 ③(思判表力) ・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選べるようにする。 ・文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができるようにする。 ③(学・人)自分を紹介する文章を書くこととする態度を養う。	③(知・技) ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア) ・文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解している。((1)力) ③(思・判・表) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア) ・「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)力) ③(主学)積極的に文章の構成や展開について理解し、これまでの学習をいかして自分を紹介する文章を書くこととしている。	③「名前を使って、自己しようかい」「続けてみよう」	③「名前を使って、自己しようかい」「続けてみよう」 ・P23の作例を基に、名前を使って自分を紹介する文章の書き方を確かめる。 ・自分を紹介する文章を書く。 ・名前の文字から始まる言葉を思い浮かべ、自分の書きたいことに合ったものを選ぶ。 ・前後の文とのつながりを考えながら、文章を書く。 書いた文章をグループで読み合い、感想を伝える。 「いいな。」と思った作品を、クラス全体に紹介する。 名前を使って自己紹介をしてみようと思ったことを振り返る。 P24「続けてみよう」を読み、日々のことを記録することの大切さに気づき、ノートの書き方について学ぶ。
4月	7	④(知及技) ・比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができるようにする。 ④(思判表力) ・登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるようにする。 ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。 ④(学・人) ・印象に残ったことを伝え合おうとする態度を養う。	④(知・技) ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ) (思・判・表) ・「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ) ④(主学) ・粘り強く登場人物の相互関係や心情を	④人物の心情や人物どうしの関わりをとらえ、印象に残ったことを伝え合おう「銀色の裏地」 ☆友情、信頼や相互理解に関わる題材(道徳)	④人物の心情や人物どうしの関わりをとらえ、印象に残ったことを伝え合おう「銀色の裏地」 ・学習の見通しをもつ。 ・P25を見て、物語の内容を想像する。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。

		る態度を養う。	捉え、学習の見通しをもって印象に残ったことを伝え合おうとしている。		「理緒」の心情や、他の人物との関係を捉える。 ・P36「言葉に注目しよう」を参考に、「理緒」の心情や、他の人物との関わりが表れているところに線を引く。 ・P37「関係を図に表す」を参考に、線を引いたところを使って、登場人物の関係を図に表す。 登場人物の心情や人物どうしの関係が、どのように変化したのかについて想像する。 ・変化のきっかけになった出来事や言動について考える。 ・「理緒」から見た「高橋さん」の人物像について考える。 ・題名でもある「銀色の裏地」という言葉の意味について考える。 P37「考えのまとめ方」を参考に、強く印象に残ったことをまとめる。 ・物語の中の印象的な表現や、自分の経験と重ねて感じたことから考える。 考えたことを伝え合い、新たに考えたことや感じたことをノートに書く。 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。
4月	1	⑤(知及技) ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができるおゆにする。 ⑤(思判表力)－ ⑤(学・人) ・本を探して、記録カードを書こうとする態度を養う。	⑤(知・技) ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。((3)オ) ⑤(思・判・表)－ ⑤(主学) ・進んで読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づき、これまでの学習をいかして本を探して、記録カードを書こうとしている。	⑤「図書館を使いこなそう」 ☆図書館で本を探す活動(図書館活用)	⑤「図書館を使いこなそう」 何かをさまざまな角度から調べるときに、どのように本を探しているのかについて、経験を紹介し合う。 図書館での本の探し方について理解する。 ・「日本十進分類法」について知る。 ・著作権の観点から、図書を活用する際の留意点を確かめる。 図書館で、複数の棚から本を探す。 ・自分でテーマやキーワードを決めて探す。 P41の記録カードの例を見て、読書記録のつけ方を知る。
4月	2	⑥(知及技) ・漢字の由来、特質などについて理解することができるようにする。 ⑥(思判表力)－ ⑥(学・人) ・進んで漢字の由来、特質などに関心を持ち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとする態度を養う。	⑥(知・技)漢字の由来、特質などについて理解している。((3)ウ) ⑥(思・判・表)－ ⑥(主学) ・進んで漢字の由来、特質などに関心を持ち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。	⑥「漢字の成り立ち」	⑥「漢字の成り立ち」 漢字には、大きく分けて四つの成り立ちがあることP43の設問1に取り組む。 ・漢字辞典を使って、形声文字について確かめる。 P43の設問2に取り組む。 ・漢字辞典を使って、漢字の成り立ちを確かめる。 学習を振り返る。
4月	1	⑦(知及技) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができるようにする。 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができるようにする。 ⑦(思判表力) ・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができるようにする。 ⑦(学・人) ・春らしいものや様子を文章に書こうとする態度を養う。	⑦(知・技) ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) ⑦(思・判・表) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいく。(B(1)ア) ⑦(主学) ・積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って春らしいものや様子を文章に書こうとしている。	⑦「春の空」 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)	⑦「春の空」 「枕草子」を音読して、言葉の響きやリズムを味わい、感じたことを伝え合う。 「枕草子」やP45の春に関わる言葉、俳句を参考にし、春らしいものや様子を文章に書く。 書いたものを交流して、感想を伝え合う。 学習を振り返る。
5月	8	⑧(知及技) ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるようにする。 ・話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができるようにする。 ⑧(思判表力) ・話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるようにする。 ・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができるようにする。	⑧(知・技) ・話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。 ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ) ⑧(思・判・表) ・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。 ⑧(主学) ・粘り強く話し手の目的や自分が聞こう	⑧話の意図を考えてきき合い、「きくこと」について考えよう「きいて、きいて、きいてみよう」 ☆インタビューの録音・録画(ICT活用)	⑧話の意図を考えてきき合い、「きくこと」について考えよう「きいて、きいて、きいてみよう」 ・学習の見通しをもつ。 ・生活の中で、どのような「きく」があるのかを出し合う。 ・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 インタビューの順番を決め、話題を考える。 ・話し手との関わりを思い出しながら、きいてみたい話題を幾つか挙げる。 ・その人の人柄を引き出せそうな話題を考え、質問を挙げる。 インタビューのためのメモを用意する。 ・絞った話題について、質問に対する答えを予想し、インタビューのためのメモを書く。

		る。 ⑧(学人)インタビューをし、報告しようとする態度を養う。 ☆インタビューを行い、報告する活動(社会、総合的な学習の時間)	とする意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもってインタビューをしたり、報告したりしようとしている。		活動のしかたや気をつける点確かめる。 ・P48-49を読み、きき手、話し手、記録者の役割やインタビューの具体的なやり取り、報告のしかたなどについて、全体で確認する。 役割を交代しながらインタビューをする。 記録したメモを基に報告の準備をする。 記録者がインタビューの内容について報告を行い、報告を聞いて気づいたことを伝え合う。 「きくこと」について考えたことを伝え合う。 ・役割の違いによって、きき方がどのように違うのかについて話し合う。 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。
	9	⑨(知及技) ・原因と結果など情報と情報との関係について理解することができるようにする。 ・文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができるようにする。 ⑧(思判表力) ・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるようにする。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるようにする。 ⑨(学・人) 考えたことを伝え合う態度を養う。	⑨(知・技) ・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ⑨(思・判・表) ・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ⑨(主学) ・粘り強く文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	⑨文章の要旨をとらえ、考えたことを伝え合おう 「見立てる」「言葉の意味が分かること」 【情報】「原因と結果」 ☆外国語や異文化への興味をもち、理解する態度を養う題材(外国語、道徳、総合的な学習の時間)	⑨文章の要旨をとらえ、考えたことを伝え合おう 「見立てる」「言葉の意味が分かること」 【情報】「原因と結果」 ・学習の見通しをもつ。 ・P51を見て、文化や言葉とものの見方の関わりについて考える。 ・学習課題を設定し、学習計画を立てる。 「見立てる」を読み、事例や文章構成に着目して筆者の主張を見つけて、自分の考えを伝え合う。 「言葉の意味が分かること」を読み、筆者の主張を見つける。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を基に学習のめあてを確かめる。 ・文章を「初め」「中」「終わり」に分けて、各段落の内容を捉え、文章構成と内容を確認する。 文章の要旨を150字以内でまとめる。 文章構成や事例の挙げ方、原因と結果の関係、事例と筆者の考えの結び付きなどを確かめる。 ・P63「原因と結果」、P60-61「言葉に着目しよう」を参考にする。 筆者の考えや、事例の示し方に対する自分の考えをまとめる。 ・共感できる点や疑問に思う点に変化があったかを考える。 自分の考えを伝え合う。 ・筆者の考えに触れながら、文章から読み取れる筆者の考えに対する自分の考えを話す。 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。
5～6月					
6月	2	⑩(知及技) ・日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができるようにする。 ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができるようにする。 ⑩(思判表力)－ ⑨(学・人) ・進んで日常よく使われる敬語について理解し、学習課題に沿って使い慣れようとする態度を養う。	⑩(知・技) ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア) ・日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。((1)キ) ⑩(主学) ・進んで日常よく使われる敬語について理解し、学習課題に沿って使い慣れようとしている。	⑩「敬語」 ☆礼儀や言葉遣いが、円滑な人とのつながりをつくることについて考える題材(道徳)	⑩「敬語」 敬語について知る。 ・「問いをもとう」を基に、言葉遣いについて自分なりの考えとその理由をもつ。 ・丁寧語・尊敬語・謙譲語について理解し、ノートにまとめる。 P65の設問1に取り組む。 ・どのような表現に変えるとよいかを考え、理由とともにノートに書いて、話し合う。 学習を振り返る。 ・「いかそう」を基に、これからの生活にいかす視点をもつ。
6月	3	⑪(知及技) ・比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができるようにする。 ・俳句の中で漢字と仮名を適切に使い分けことができるようにする。 ⑪(思判表力) ・俳句の構成や書き表し方などに着目して、俳句を整えることができるようにする。 ・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようにする。 ⑪(学・人) ・粘り強く構成や書き表し方などに着目して文言を整え、学習の見通しを	⑪(知・技) ・俳句の中で漢字と仮名を適切に使い分けられている。((1)ウ) ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) ⑪(思・判・表) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、俳句の構成や書き表し方などに着目して、俳句を整えている。(B(1)オ) ⑪(主学)粘り強く構成や書き表し方などに着目して文言を整え、学習の見通しをもって俳句を作ろうとしている。	⑪表現を工夫して、俳句を作ろう「日常を十七音で」	⑪表現を工夫して、俳句を作ろう 「日常を十七音で」 学習の見通しをもつ。 ・P66の二つの俳句を読み、「問いをもとう」に沿って感想を話し合う。 ・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 俳句を作る材料を集める。 ・P67のメモの例を参考にして、生活の中で気づいたことや、驚いたこと、心が動いたことなどを短い文で書き留める。 材料を基に、5・7・5の17音の形にする。 P68を参考に、表現の工夫のしかたを確かめる。 作った俳句の表現を工夫する。 作った俳句を友達と読み合い、言葉や表現を工夫したところや、友達の俳句への感想を伝え合う。

		もって俳句を作ろうとする態度を養う。			学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。
6月	2	⑫(知及技) ・第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができるようにする。 ⑫(思判表力) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができるようにする。 ⑫(学・人) ・進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとする態度を養う。	⑫(知・技) ・第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ⑫(思・判・表) ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) ⑫(主学) ・進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。	⑫「漢字の広場①」	⑫「漢字の広場①」 P70に提示された言葉を使いながら、図書館の人になったつもりで、本の場所や図書館の使い方などについて説明する文や文章を書く。 書いた文や文章を読み返し、構成などを整える。 書いた文や文章を読み合い、交流するとともに、示された漢字について確認する。
6月	3	⑬(知及技) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができるようにする。 ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができるようにする。 ⑬(思判表力)- ⑬(学人) ・進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って古文を音読しようとする態度を養う。	⑬(知・技) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。((3)イ) ⑬(思判表力)- ⑬(主学) ・進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って古文を音読しようとしている。	⑬「古典の世界(一)」 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)	⑬「古典の世界(一)」 古典の世界を想像して、関心をもつ。 ・P71の絵や文章から気づいたことを出し合う。 二次元コードの音声を参考に、四つの古典作品の冒頭を音読し、現代語訳や解説から内容の大体を知る。 作品を読んで感じたことや考えたことなどをノートに書き、伝え合う。 四つの作品を再度読んだり、子ども向けの古典作品集などを読んだりする。 ・「この本、読もう」で紹介されている本も参考にする とよい。 学習を振り返る。
6月	3	⑭(知及技) ・情報と情報との関係づけのしかたを理解し使うことができるようにする。 ⑭(思判表力) ・引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようにする。 ⑭(学・人) ・進んで目的に応じた引用のしかたを理解し、学習課題に沿って引用カードを書こうとする態度を養う。	⑭(知・技) ・情報と情報との関係づけのしかたを理解し使っている。((2)イ) ⑭(思・判・表) ・「書くこと」において、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)エ) ⑭(主学) ・進んで目的に応じた引用のしかたを理解し、学習課題に沿って引用カードを書こうとしている。	⑭【情報】目的に応じて引用するとき ☆レポート等を作成する際に、目的に応じて適切な引用を行う活動(理科、社会、総合的な学習の時間)	⑭【情報】目的に応じて引用するとき ・P76上段を見て、自分にも似た体験がないか想起して紹介し合い、目的に応じた引用の重要性について考えることを押さえる。 ・P76下段を読んで、情報を書き留めるときに気をつけることを確認する。 ・P77の文章と「山下さんの引用カード」を読んで、気づいたことを話し合う。 ・「山下さんの引用カード」を参考に、「手洗いの際に、蛇口を閉めることの大切さを説明する文章を書く場合」という設定で、引用カードを書く。 ・どのような引用カードを書いたのか、伝え合う。 学習を振り返る。 ・「いかそう」を基に、これからの生活にいかす視点をもつ。
6～7月	10	⑮(知及技) ・情報と情報との関係づけのしかたを理解し使うことができるようにする。 ⑮(思判表力) ・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができるようにする。 ⑮(学・人) ・粘り強く目的や意図に応じて集めた材料を分類したり関係づけたりし、学習の見通しをもって報告する文章を書こうとする態度を養う。	⑮(知・技) ・情報と情報との関係づけのしかたを理解し使っている。((2)イ) ⑮(思・判・表) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ⑮(主学) ・粘り強く目的や意図に応じて集めた材料を分類したり関係づけたりし、学習の見通しをもって報告する文章を書こうとしている。	⑮伝えたいことを整理して、報告しよう「みんなが使いやすいデザイン」 ☆よりよい社会や学校生活をつくろうと考える題材(道徳、総合的な学習の時間) ☆調べたことを報告する文章の書き方を工夫する活動(理科、社会、総合的な学習の時間) ☆インターネットによる情報収集(ICT活用)	⑮伝えたいことを整理して、報告しよう「みんなが使いやすいデザイン」 学習の見通しをもつ。 ・ユニバーサルデザインについて、知っていることを紹介し合う。 ・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 調べたいことを見つける。 ・P79を参考に、家や町の中にあるものから、誰もが使いやすいように工夫されているものを探す。 ・見つけたものから、特に調べたいものを選ぶ。 調べ方を選んで取材し、集めた情報を整理する。 ・P80「さまざまな調べ方と特長」を参考に、適切な方法を選んで調べる。 ・P76「目的に応じて引用するとき」の学習を参考に、調べたことを記録する。 ・P80「さまざまな調べ方と特長」を参考にしながら、集めた情報を整理する方法について考える。 報告する文章の構成を考える。 ・P82の作例や二次元コードから見られる作例(全文)を参考に、文章の構成を考える。 報告する文章の下書きを書く。 ・小見出しを立てるなどして、まとまりが分かるように書く。 ・本などから引用する場合は、他と区別して書く。 ・まとめは、それまでに述べてきたことと対応させる。

					下書きを読み直して、清書する。 書いた文章を読み合って感想を伝え合う。 ・どんなところがよかったか、そう感じた理由とともに、感想を伝え合う。 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。
7月	2	⑩(知及技) ・第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができるようにする。 ⑩(思判表力)－ ⑩(学人) ・進んで同じ読み方の漢字の使い分けに関心をもち、これまでの学習をいかしてそれらを理解しようとする態度を養う。	⑩(知・技) ・第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ⑩(思・判・表)－ ⑩(主・学) ・進んで同じ読み方の漢字の使い分けに関心をもち、これまでの学習をいかしてそれらを理解しようとしている。	⑩「同じ読み方の漢字」	⑩「同じ読み方の漢字」 P84上段の問題に取り組み、同じ訓をもつ漢字でも、意味や使い方に違いがあることに気づく。 P84の設問1・2に取り組む。 P85上段を読み、同じ音をもつ熟語でも、意味や使い方に違いがあることに気づく。 P85の設問3・4に取り組む。 学習を振り返る。
7月	2	⑪(知及技) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができるようにする。 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができるようにする。 ⑪(思判表力) ・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができるようにする。 ⑪(学・人) ・積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って夏らしいものや様子を文章に書こうとする態度を養う。	⑪(知・技) ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) ⑪(思・判・表) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいく。(B(1)ア) ⑪(主学) ・積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って夏らしいものや様子を文章に書こうとしている。	⑪「夏の夜」 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)	⑪「夏の夜」 「枕草子」を音読して、言葉の響きやリズムを味わい、感じたことを伝え合う。 「枕草子」やP87の夏に関わる言葉、俳句を参考にし、夏らしいものや様子を文章に書く。 書いたものを交流して、感想を伝え合う。 学習を振り返る。
7月	7	⑫(知及技) ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくことができるようにする。 ⑫(思判表力) ・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができるようにする。 ⑫(学・人) ・積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本の魅力を伝え合おうとする態度を養う。	⑫(知・技) ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。((3)オ) ⑫(思・判・表) ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) ⑫(主学) ・積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本の魅力を伝え合おうとしている。	⑫本は友達「作家で広げるわたしたちの読書『モモ』」 ☆作家を意識して選んだ本を読む活動(図書館活用)	⑫本は友達「作家で広げるわたしたちの読書『モモ』」 学習の見通しをもつ。 ・普段、どのように本を探しているかを想起する。 ・学習課題を設定し、学習計画を立てる。 自分の本の選び方について、友達と話す。 ・さまざまな観点があつてよいが、作家に着目した発言が出るようにしたい。 「モモ」を読んで、感想を伝え合う。 これから読みたい作家を決めて、その作家の本を探して読む。 P91の作例を参考に「しょうかいカード」を書き、本を紹介し合う。 自分の選んだ作家や作品の魅力を紹介し合い、気づいたことを伝え合う。 学習を振り返る。 ・「読書に親しむために」で、本の読み方を押さえる。
2月	67	⑬(知及技) ・比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができるようにする。 ⑬(思判表力) ・詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるようにする。 ⑬(学人) ・進んで比喩や反復などの表現の工夫に気づき、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとする態度を養う。	⑬(知・技) ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) ⑬(思・判・表) ・「読むこと」において、詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ) ⑬(主学) ・進んで比喩や反復などの表現の工夫に気づき、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	⑬「かぼちゃのつるが」「われは草なり」	⑬「かぼちゃのつるが」「われは草なり」 二つの詩を音読する。 ・繰り返しの表現に着目しながら読む。 「かぼちゃのつるが」を読み、繰り返しの表現により、どのような様子が想像されるかについて、話し合う。 ・「はい上がり」「葉をひろげ」が、どう繰り返され、何を表しているかを考える。 「われは草なり」を読み、「われは草なり」とは、どのようなことを表しているかについて考える。 ・繰り返しの表現が、各連の中で、他の表現とどう結び付いているかについて話し合う。 二つの詩を読んで、繰り返しの表現があることの効果について、考えをまとめる。 学習を振り返る。
9月	2	⑭(知及技) ・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができるようにする。 ⑭(思判表力) ・互いの立場や意図を明確にしなが	⑭(知・技) ・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。((1)オ) ⑭(思・判・表) ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしなが	⑭「どちらを選びますか」 ☆適切な資料を用意し、相手が納得する説明をする活動(特別活動)	⑭「どちらを選びますか」 P104-105を読み、学習の進め方を確認する。 海を薦めるチーム(二人)と、山を薦めるチーム(二人)に分かれて、チームごとに薦める理由を考えてノートに書き出す。

		まとめたりすることができるようにする。 ㊹(学・人) ・積極的に互いの立場を明確にして、これまでの学習をいかして立場に分かれて話し合おうとする態度を養う。	いる。(A(1)オ) ㊹(主学) ・積極的に互いの立場を明確にして、これまでの学習をいかして立場に分かれて話し合おうとしている。		話し合いを行う。 ・それぞれのチームが意見を言った後、質疑応答をして、互いの考えの違いをはっきりさせる。 ・各チームは、質疑応答を踏まえて考えを整理し、改めて意見を述べる。 ・先生役は、説得力があったチームを判定する。 学習を振り返る。 ・「たいせつ」で身につけた力を押さえる。
9月	2	㊹(知及技) ・文章の構成や、文章の種類とその特徴について理解することができるようにする。 ㊹(思判表力) ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができるようにする。 ・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるようにする。 ㊹(学・人) ・進んで必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりし、学習課題に沿って新聞記事を読もうとする態度を養う。	㊹(知・技) ・文章の構成や、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) ㊹(思・判・表) ・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ) ㊹(主学) ・進んで必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりし、学習課題に沿って新聞記事を読もうとしている。	㊹「新聞を読もう」 ☆新聞記事等による情報収集(社会、総合的な学習の時間)	㊹「新聞を読もう」 新聞の1面の構成について確認する。 ・実際の新聞を用意し、構成を確認しながら、気づいたことや疑問点などをノートに書く。 ・新聞のそれぞれの面には、どのような分野の記事が書かれているかを確認する。 P108-109の二つの記事を読み、どんな違いがあるか、どうして違うのかを考え、ノートに書く。 二つの記事を比べて考えたことについて話し合う。 新聞の中から自分が興味をもったニュースの一つを選び、そのニュースについて、複数の記事を読み比べ、思ったことや考えたことをノートに書く。 ノートに書いたことを基に、自分の選んだニュースや記事について紹介し合う。 学習を振り返る。 ・「たいせつ」で身につけた力を押さえる。
9月	2	㊹(知及技) ・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができるようにする。 ㊹(思判表力) ・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるようにする。 ㊹(学・人) ・積極的に筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとする態度を養う。	㊹(知・技) ・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) ㊹(思・判・表) ・「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ) ㊹(主学) ・積極的に筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。	㊹「文章に説得力をもたせるには」	㊹「文章に説得力をもたせるには」 意見文における「主張」と「根拠」について知る。 P110-111の意見文の例を読み、「主張」と「根拠」がどのように書かれているかを確認する。 ・「予想される反論」と「反論に対する考え」があるのとないのとは、主張の伝わり方がどのように変わるかを考える。 ・「まとめ」で「主張」と同じ内容が繰り返されていることの効果を考える。 自分が毎日を安全に過ごすための方法について意見文を書くこと仮定して、構成や、どのまともにどんなことを書くかを考えて、伝え合う。 学習を振り返る。 ・「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。
9月	1	㊹(知及技) ・第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができるようにする。 ㊹(思判表力) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができるようにする。 ㊹(学人) ・進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとする態度を養う。	㊹(知・技) ・第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ㊹(思・判・表) ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) ㊹(主学) ・進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。	㊹「漢字の広場②」	㊹「漢字の広場②」 P112に提示された言葉を使いながら、作家になったつもりで、登山家の半生を文章に書く。 書いた文章を読み返し、構成などを整える。 書いた文章を友達と読み合い、交流するとともに、示された漢字について確認する。
9月 ～ 10月	8	㊹(知及技) ・比喻や反復などの表現の工夫に気づくことができるようにする。 ㊹(思判表力) ・人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるようにする。 ㊹(学・人) ・粘り強く物語の全体像を具体的に想像し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとする態度を養う。	㊹(知・技) ・比喻や反復などの表現の工夫に気づいている。(知・技(1)ク) ㊹(思・判・表) ・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ) ㊹(主学) ・粘り強く物語の全体像を具体的に想像し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。	㊹物語の全体像を想像し、考えたことを伝え合おう「たずねびと」 ☆戦争や平和について考えさせるとともに、平和を願う心を養う題材(道徳) ☆紹介された本を選んで	㊹物語の全体像を想像し、考えたことを伝え合おう「たずねびと」 学習の見通しをもつ。 ・P113を見て、物語の内容を想像する。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。 本文を読んで、「綾」の心情の変化を捉える。 ・それぞれの場面で「綾」が会ったものや、登場人物を確認する。 ・P128「心情の変化をとらえる」を参考に、行動や会話、心情や情景を表す表現に着目して、「綾」の心情の変化を捉える。 ・P129「言葉に着目しよう」を参考にし、物語の全体像を想像する。 ・「きれいな川」や「ただの名前」が、「綾」にとってどんなものになったかを考える。 ・原爆や戦争に対する「綾」の見方がどう変わったかを考える。 ・「綾」が訪ねた場所や会った人が、それぞれ「綾」に何を伝える役割をしていたかについて考える。 自分の思いや考えにどのような変化があったかについて、ノートにまとめる。 ・P129「考えをまとめる例」を参考にする。 まとめたことを友達と伝え合う。

					学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・単元で身につけた力をいかして、P260「チェロの木」を読むことを確かめる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。
10月	2	㉔(知及技) ・第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができるようにする。 ㉔(思判表力) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができるようにする。 ㉔(学・人) ・進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとする態度を養う。	㉔(知・技) ・第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ㉔(思・判・表) ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) ㉔(主学) ・進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。	㉔「漢字の広場③」	㉔「漢字の広場③」 P131に提示された言葉を使いながら、各教科での学習や学校生活について、学級日誌に記録するように文章を書く。 書いた文章を読み返し、構成などを整える。 書いた文章を友達と読み合い、交流するとともに、示された漢字について確認する。
10月	2	㉕(知及技) ・共通語と方言との違いを理解することができるようにする。 ㉕(思判表力)ー ㉕(学人) ・進んで方言と共通語の違いに関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとする態度を養う。	㉕(知・技) ・共通語と方言との違いを理解している。((3)ウ) ㉕(思・判・表)ー ㉕(主学) ・進んで方言と共通語の違いに関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。	㉕「方言と共通語」	㉕「方言と共通語」 方言と共通語について知る。 ・「問いをもとう」を基に、言葉の中には方言があることに気づく。 ・「方言分布図」を参照し、自分の住んでいる地方で、塩の味を表す言葉としてどう言うか、話し合う。 方言と共通語の特徴と必要性を確かめる。 設問に取り組む。 ・自分の住む地域の方言を知る。 ・「たずねびと」の方言の効果について話し合う。 ・方言を使った場合と共通語を使った場合のそれぞれのよさを考える。 学習を振り返る。 ・「いかそう」を読み、これからの生活にいかす視点をもつ。
10月	1	㉖(知及技) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができるようにする。 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができるようにする。 ㉖(思判表力) ・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことから書くことを選ぶことができるようにする。 ㉖(学人) ・積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って秋らしいものや様子を文章に書こうとする態度を養う。	㉖(知・技) ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) ㉖(思・判・表) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことから書くことを選んでいる。(B(1)ア) ㉖(主学) ・積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って秋らしいものや様子を文章に書こうとしている。	㉖「秋の夕」 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)	㉖「秋の夕」 「枕草子」を音読して、言葉の響きやリズムを味わい、感じたことを伝え合う。 「枕草子」やP135の秋に関わる言葉、俳句を参考にして、秋らしいものや様子を文章に書く。 書いたものを交流して、感想を伝え合う。 学習を振り返る。
10月	8	㉗(知及技) ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるようにする。 ・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができるようにする。 ㉗(思判表力) ・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができるようにする。 ・互いの立場や意図を明確にしながらか计划的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができるようにする。 ㉗(学・人) ・粘り強く互いの立場や意図を明確にしながらか、学習の見通しをもって身の回りの問題を解決するために話し合おうとする態度を養う。	㉗(知・技) ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ) ・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。((1)オ) ㉗(思・判・表) ・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか计划的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A(1)オ) ㉗(主学) ・粘り強く互いの立場や意図を明確にしながらか、学習の見通しをもって身の回りの問題を解決するために話し合おうとしている。	㉗たがいの立場を明確にして、話し合おう「よりよい学校生活のために」【コラム】意見が対立したときには 学習の見通しをもつ ☆身近な問題に気づき、仲間と共に解決を図る学習(特別活動、社会、総合的な学習の時間) ☆ICT端末の機能を使って、出てきた考えを整理する活動(ICT活用)	㉗たがいの立場を明確にして、話し合おう「よりよい学校生活のために」 【コラム】意見が対立したときには 学習の見通しをもつ ・学校生活の中でこうなるといいと思うことについて、考えを出し合う。 ・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・学校生活の中から、議題を決める。 ・新たにしてみたいことや解決したい身近な課題を見つけて、ノートに書く。 ・書いた課題を基にクラスで一つの課題を選び、議題を決める。 自分の立場を明らかにするために、考えを書き出す。 ・P138「自分の考えを明らかにするとき」を参考に ・議題についての自分の意見を付箋等に書き出して整理しておく。 話し合いのしかたを全体で確認して、進行計画を立てる。 ・P138「進め方の例」を参考に ・グループごとに司会や記録などの役割や、時間配分等を決める。

					話し合いのときに気をつけることを確認する。 ・「考えを広げる話し合い」「考えをまとめる話し合い」それぞれについて、よりよい意見の伝え方や質問のしかた、意見のまとめ方などを確かめる。 ・P142「意見が対立したときには」を読み、意見が対立したときの伝え合い方について知る。 計画に沿って、グループで話し合う。 ・前時までの学習をいかして話し合う。 ・各自の考えを書いた付箋を利用して、それぞれの考えを整理する。P140「ふせんを使って整理する例」を参考にする。 話し合った結果をクラス全体へ報告し、感想を伝え合う。 ・話し合いの中でよかったところを伝え合い、話し合いのよりよい進め方として確かめ合う。 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。
11月	1	㉔(知及技) ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができるようにする。 ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができるようにする。 ・時間の経過による言葉の変化に気づくことができるようにする。 ㉔(思判表力)－ ㉔(学・人) ・進んで昔の人のものの見方や感じ方を知り、学習課題に沿って古典の文章について思ったことを話そうとする態度を養う。	㉔(知・技) ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。((3)イ) ・時間の経過による言葉の変化に気づいている。((3)ウ) ㉔(思・判・表)－ ㉔(主学) ・進んで昔の人のものの見方や感じ方を知り、学習課題に沿って古典の文章について思ったことを話そうとしている。	㉔「浦島太郎——「御伽草子」より」 ☆二次元コードから朗読を視聴(ICT活用)	㉔「浦島太郎——「御伽草子」より」 P144-145を読み、「浦島太郎」の結末について知ることを発表し合う。 二次元コードを活用して古典の文章の朗読を聞いたのち、繰り返し音読する。 「知っている話と違う」「今の自分たちにも、気持ちが変わる」などの視点で考えをもち、友達と話し合う。 学習を振り返る。 ・昔の言葉と今の言葉を比べたり、昔の人のものの見方や感じ方について感想をもったりしてまとめる。
11月	2	㉕(知及技) ・語句の由来などに関心をもつとともに、世代による言葉の違いに気づくことができるようにする。(知・技(3)ウ) ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができるようにする。 ㉕(思判表力)－ ㉕(学・人) ・進んで和語・漢語・外来語などの由来に関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解する態度を養う。	㉕(知・技) ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・語句の由来などに関心をもつとともに、世代による言葉の違いに気づいている。((3)ウ) ㉕(思・判・表)－ ㉕(主学) ・進んで和語・漢語・外来語などの由来に関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。	㉕「和語・漢語・外来語」	㉕「和語・漢語・外来語」 言葉には、「和語」「漢語」「外来語」があることを知る。 ・「問いをもとう」を基に、違う言い方があることに気づき、使い分け方について考える。 ・P146の①と②を読み、それぞれから受ける印象の違いについて伝え合う。 ・和語、漢語、外来語の定義を理解する。 P147の設問に取り組み、漢語と和語で意味が異なる場合があることを知る。 和語・漢語・外来語の使い分けについて考える。 ・それぞれの特徴をまとめる。 身の回りにある文章から、和語・漢語・外来語を探して発表し合い、どのような文章の中に多く見られるかを確かめる。 学習を振り返る。 ・「いかそう」を基に、これからの生活にいかす視点をもつ。
11月	12	㉖(知及技) ・原因と結果など情報と情報との関係について理解することができるようにする。 ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること役立つことに気づくことができるようにする。 ㉖(思判表力) ・引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようにする。 ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたら、論の進め方について考えたりすることができるようにする。 ・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるようにする。 ㉖(学・人) ・粘り強く文章と図表などを結び付けて読み、学習の見通しをもって、読み取った筆者の考えをいかして統計資料を用いた意見や主張をまとめる。	㉖(知・技) ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること役立つことに気づいている。((3)オ) ㉖(思・判・表) ・「書くこと」において、引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)エ) ・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたら、論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ) ㉖(主学) ・粘り強く文章と図表などを結び付けて読み、学習の見通しをもって、読み取った筆者の工夫をいかして統計資料を用いた意見や主張をまとめる。	㉖資料を用いた文章の効果と考え、それをいかして書こう「固有種が教えてくれること」「自然環境を守るために」 【コラム】統計資料の読み方 学習の見通しをもつ。 ・P149を見て、固有種について知っていることや、自然環境について関心のあることなどを出し合う。 ・自然環境について、自分の考えを文章に書くことを確かめる。 ☆教材文を読み、P158「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 「固有種が教えてくれること」を読むことで、初めて知ったことや興味をもったことを出し合う。 ・筆者の説明の工夫に着目して読んでいくことを確かめる。 文章の構成を整理して、内容を捉える。 ・「初め」「中」「終わり」のまとまりを確かめる。 ・筆者の考えの中心を捉える。 ・「中」のそれぞれの段落に見出しをつけて整理して、「中」を大きく二つに分ける。 ・文章の要旨を150字以内でまとめる。	

		取った事有の上大をいかし統計資料を用いた意見文を書くこととする態度を養う。	いた意見文を書くこととしている。		筆者が図表やグラフ、写真を使った意図と効果を考える。 ・P158「資料の効果を考えるときは」を読み、意図や効果を考える時の手がかりにする。 筆者の考えや説明の工夫について、資料の効果にも触れながら、自分の考えをまとめる。 ・図表やグラフ等の効果についても触れる。 筆者の説明の工夫について、グループで伝え合う。 学校図書館などで、環境に関する図書を読み、内容や説明のしかたについて感想を伝え合う。 学習を振り返り、次の学習の見通しをもつ。 ・「たいせつ」で身につけた力を押さえる。 ・P160「問いをもとう」「目標」を基に、見通しをもつ。 前時までの学習をいかし、環境問題について自分の考えを書くことを確かめる。 ・「問いをもとう」の二次元コードから見られる動画を参考に、日本や世界にある環境問題の中で、特に解決したいものを考える。 統計資料を集め、自分の考えをもつ。 ・P161の二次元コードから、環境問題に関するさまざまな統計資料を見てみる。 ・統計資料とそこから分かることを紹介し合う。 ・P165「統計資料の読み方」を読んで参考にする。 自然環境について、自分の考えをもつ。 ・P162-163の作例を読み、自分の書く文章の見通しをもつ。 ・自分の考えの根拠に適した統計資料を決める。 「初め」「中」「終わり」の構成で、書くことを整理する。 ・付箋紙やカードなどを使って、何を、どの順序で書くのかを決める。 グラフや表を用いて、考えを書く。 ・自分の考えに合った資料を用いる。 ・P162「グラフや表を用いて書くときは」、P163「グラフや表を用いて書くときの言葉」を読んで、説得力のある文章になるように工夫する。 ・書き上げた読み返して、説得力のある文章になっているか確かめる。 書いた文章を友達と読み合い、説得力のあるところについて、意見や感想を交流する。 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。
11月	2	㉔(知及技) ・第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができるようにする。 ㉔(思判表力)－ ㉔(学・人) ・進んで漢字の読み方に関心を持ち、これまでの学習をいかして漸次書くこととする態度を養う。	㉔(知・技) ・第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ㉔(思・判・表)－【 ㉔(主学) ・進んで漢字の読み方に関心を持ち、これまでの学習をいかして漸次書くこととしている。	㉔「カンジー博士の暗号解読」	㉔「カンジー博士の暗号解読」 P166を読み、暗号の解読のしかたを確かめる。 ・同音の漢字が解読の鍵であることに気づく。 ・漢字辞典や国語辞典を使って、漢字を確かめる。 設問に取り組み、グループで確かめ合う。 暗号文を作り、グループで解き合う。
12月	2	㉕(知及技) ・親しみやすい漢文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができるようにする。 ・作品の内容の大体を知ることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができるようにする。 ㉕(思判表力)－ ㉕(学・人) ・進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って漢文を音読しようとする態度を養う。	㉕(知・技) ・親しみやすい漢文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) ・作品の内容の大体を知ることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。((3)イ) ㉕(思・判・表)－ ㉕(主学) ・進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って漢文を音読しようとしている。	㉕「古典の世界(二)」 ☆国語に対する関心と、我が国の文化と伝統に対する理解と愛情を養う題	㉕「古典の世界(二)」 教師の範読(朗読CD、デジタル教科書、二次元コードの音声)を聞き、読み方やリズムを知る。 「論語」や漢詩「春暁」を声に出して読む。 ・漢文特有の言い回しやリズムを味わう。 ・日本語訳(大意)を参考にして意味を捉え、問答の場面や、漢詩の情景を想像する。 ・内容を自分に引き寄せて感想をもち、紹介し合う。 グループで交互に音読を聞き合いながら、漢文特有の言い回しやリズムを楽しむ。
12月	1	㉖(知及技) ・第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができるようにする。 ㉖(思判表力)	【知・技】第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) 【思・判・表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、	㉖「漢字の広場④」	㉖「漢字の広場④」 P170に提示された言葉(県名)を使いながら、それぞれのますに入る文を書く。 書いた文を読み返すなどして、構成などを考える。

		・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができるようにする。 ㉔(学・人) ・進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとする態度を養う。	文や文章を整えている。(B(1)オ) 【態】進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。		書いた文を見せ合って紹介し合うとともに、示された漢字を確認する。 ・クラスやグループで都道府県すごろくを完成させ、遊んで楽しむ中で、漢字に親しむ。
12月	7	㉕(知及技) ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができるようにする。 ㉕(思判表力) ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるようにする。 ・登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるようにする。 ㉕(主学) ・積極的に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを交流しようとする態度を養う。	㉕(知・技) ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。(3)オ) ㉕(思・判・表) ・「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ㉕(主学) ・積極的に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを交流しようとしている。	㉕伝記を読み、自分の生き方について考えよう 「やなせたかし——アンパンマンの勇気」 ☆自分の郷土に目を向けさせる題材(総合的な学習の時間) ☆伝記の選書(図書館活用)	㉕伝記を読み、自分の生き方について考えよう「やなせたかし——アンパンマンの勇気」 学習の見通しをもつ。 ・P171を見て、やなせたかしについて、知っていることを出し合う。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を基に学習の見通しをもつ。 ・P181「この本、読もう」も参考にしながら、興味のある伝記を選ぶ。 伝記に取り上げられている出来事を確かめる。 ・P182「伝記の表現」から、特色を知る。 ・それぞれの出来事で「たかし」がしたことや考えたこと、人生における意味を確かめる。 考え方に着目して、「たかし」の人物像をまとめる。 「たかし」の行動や考え方について、自分の考えを書く。 選んで読んだ本(伝記)について、考えたことを200字程度で書く。 書いた文章を読み合い、感想を伝え合う。 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」で身につけた力を押さえる。
12月	8	㉖(知及技) ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができるようにする。 ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができるようにする。 ㉖(思判表力) ・文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができるようにする。 ・目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くことで、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようにする。 ㉖(学・人) ・積極的に文章に対する感想や意見を伝え合い、学習の見通しをもって意見文を書こうとすることができるようにする。	㉖(知・技) ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ) ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ) ㉖(思・判・表) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くことで、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)カ) ㉖(主学) ・積極的に文章に対する感想や意見を伝え合い、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。	㉖意見文を書いて読み合い、よいところを見つけよう 「あなたは、どう考える」 ☆自分の関心のあることから題材を決め、詳しく知りたいと思うことを調べる活動(社会、総合的な学習の時間) ☆意見や理由とその根拠を説明する活動(社会、総合的な学習の時間) ☆ICT端末に文章構成の表を用意し、付箋機能を使い、文章の構成を考える活動(ICT活用)	㉖意見文を書いて読み合い、よいところを見つけよう「あなたは、どう考える」 学習の見通しをもつ。 ・他の人の意見を読んで共感したり、意見をもったりした経験について発表する。 ・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 自分の関心のあることから題材を決め、主張を考える。 ・P187の作例を読み、よいところを見つける。 ・P185の投書の例や「題材の例」を参考にして、題材を集めて、その中から決める。 ・P185「主張をはっきりさせるには」を参考に主張の理由や根拠を書き出す。 自分の考えを見直したり、グループで見せ合ったりして、他の立場から自分の考えを見直す。 ・主張や理由、根拠について、説得力があると感じたところや補ったほうがよいところを友達と伝え合う。 ・友達の見解を参考に、自分の主張に対する反論を予想する。 ・必要に応じて、実際にあった出来事を思い出したり、図書館やインターネットで情報を調べたりする。 文章の構成を考える。 ・P186の倉田さんの例を参考に、集めた情報から、どれをどの順番で取り上げるかを決める。 ・P186「学びをいかそう」を参考に、説得力を意識した文章構成になるように確かめる。 構成を基に、意見文を書く。 ・P187「考えを表す言葉」を参考に、書いた文章を読み返して、文章を推敲する。 意見文を読んで感想を伝え合い、文章のよさを見つける。 ・P188の感想の例や質問の例を参考に、P188「感想や質問を伝え合うときは」を参考に、質問や感想で意見文のよさを引き出したり、気づいたりできるようにする。

					学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。
12月	2	㉔(知及技) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができるようにする。 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができるようにする。 ㉔(思判表力) ・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができるようにする。 ㉔(学・人) ・積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習の課題に沿って冬らしいものや様子を文章に書こうとしている。	㉔(知・技) ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア) ㉔(思・判・表) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア) ㉔(主学) ・積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習の課題に沿って冬らしいものや様子を文章に書こうとしている。	㉔「冬の朝」 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材	㉔「冬の朝」 「枕草子」を音読して、言葉の響きやリズムを味わい、感じたことを伝え合う。 「枕草子」やP191の冬に関わる言葉、俳句を参考にし、冬らしいものや様子を文章に書く。 書いたものを交流して、感想を伝え合う。 学習を振り返る。 ・自分が書いた「春夏秋冬らしいものや様子」を見直して、振り返ることができるようにする。
3月	43	㉔(知及技) ・比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができるようにする。 ㉔(思判表力) ・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができるようにする。 ・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができるようにする。 ㉔(学・人) ・積極的に詩を読んでまとめた感想を共有し、学習課題に沿って詩を紹介しようとする態度を養う。	㉔(知・技) ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。(1)ク) ㉔(思・判・表) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) ㉔(主学) ・積極的に詩を読んでまとめた感想を共有し、学習課題に沿って詩を紹介しようとしている。	㉔「好きな詩のよさを伝えよう」 ☆詩集を読む活動(図書館利用)	㉔「好きな詩のよさを伝えよう」 教科書にある詩を繰り返し音読し、好きなところや気づいたことなどについて、ノートに書く。 それぞれの詩の工夫を確かめる。 ・「言葉に着目しよう」を参考に考え、伝え合う。 教科書にある詩からお気に入りの詩を選び、どこがいいのかをまとめて書く。 好きな詩を紹介するカードを書く。 ・これまでに読んだ詩や詩集などからお気に入りの詩を選び、表現のよさを考える。 カードを基にして詩を紹介し合う。 学習を振り返る。 ・「この本、読もう」で読書の幅を広げる。
1月	2	㉔(知及技) ・比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができるようにする。 ㉔(思判表力) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて事実と感想とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫しようとする態度を養う。 ㉔(学・人) ・粘り強く自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習課題に沿って情景が伝わるように書こうとする態度を養う。	㉔(知・技) ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。(1)ク) ㉔(思・判・表) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて事実と感想とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ㉔(主学) ・粘り強く自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習課題に沿って情景が伝わるように書こうとしている。	㉔「言葉でスケッチ」	㉔「言葉でスケッチ」 メモの書き方をつかむ。 ・P194「観点にそってメモに書き出そう。」を参考にする。 ・教材にある子どもの写真を基に、観点を作ってメモを作成する。 ・メモを作成して、観点に沿って整理する。 P195「例」のよいところを見つけて、情景が伝わってくる表現の工夫のしかたを確かめる。 自分が選んだ写真を、言葉で表現する。 完成した文章を読み合い、よいところを伝え合う。 学習を振り返る。 ・「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえ、この後の「書くこと」単元で活用することを確かめる。
1月	2	㉔(知及技) ・第5学年までに配当されている漢字を読むことができるようにする。 ㉔(思判表力)- ㉔(学・人) ・進んで熟語の読み方に関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとする態度を養う。	㉔(知・技) ・第5学年までに配当されている漢字を読んでいる。(1)エ) ㉔(思・判・表現)- ㉔(主学) ・進んで熟語の読み方に関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。	㉔「熟語の読み方」	㉔「熟語の読み方」 P196上段の熟語は、それぞれの漢字を音読みと訓読みのどちらで読んでいるかを考える。 重箱読みと湯桶読みの熟語について理解する。 設問1に取り組み、音読みと訓読みの組み合わせになっている熟語を探す。 ・重箱読みと湯桶読みに分ける。 P197を読んで、特別な読み方をする熟語があることを知る。 設問2に取り組み、熟語の読み方を考える。 特別な読み方をする熟語を見つけてクイズにして、紹介し合う。
1月	1	㉔(知及技) ・第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができるようにする。 ㉔(思判表力) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができるようにする。 ㉔(学・人) ・進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとする態度を養う。	㉔(知・技) ・第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ) ㉔(思・判・表) ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) ㉔(主学) ・進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。	㉔「漢字の広場⑤」	㉔「漢字の広場⑤」 P198に提示された言葉とつなぎ言葉を使って、駅からおばあちゃんの家までの道順を案内する文章を書く。 書いた文章を読み返すなどして、つなぎ言葉の使い方や構成などを考える。 書いた文章を見せ合い、違う道順や違う表現で書いた友達と紹介し合うとともに、示された漢字を確認する。

1月	7	④④(知及技) ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができるようにする。 ④④(思判表力) ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるようにする。 ・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができるようにする。 ④④(学・人) ・積極的に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習の見通しをもってメディアとの関わり方について話し合おうとする態度を養う。	④④(知・技) ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)力) ④④(思・判・表) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) ④④(主学) ・積極的に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習の見通しをもってメディアとの関わり方について話し合おうとしている。	④④事例と意見の関係をおさえて読み、考えたことを伝え合おう 「想像力のスイッチを入れよう」 ☆メディアとの関わり方について理解し、考えをもつ 題材(総合的な学習の時間、日常生活)	④④事例と意見の関係をおさえて読み、考えたことを伝え合おう 「想像力のスイッチを入れよう」 学習の見通しをもつ。 ・P199を見て、「想像力のスイッチ」という言葉から連想することを出し合う。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。 筆者が伝えようとしていることを捉える。 ・文章のまとまりごとに述べられていることをまとめて、概略をつかむ。 筆者が挙げた事例と、それぞれの事例に対する筆者の意見をまとめる。 事例を挙げて説明することの効果について話し合う。 筆者が考える「想像力のスイッチ」について、まとめる。 ・なぜその表現にしたのかを考える。 ・表現に対する自分の意見をもつ。 P206「もっと読もう」を参考にして、自分の経験を想起して、メディアとの関わり方についての自分の考えを文章に書く。 書いたものを読み合い、互いの考え方の類似点や相違点を見つけて伝え合う。 ・取り入れたい友達の考えを明らかにする。 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書の意欲をもつ。
1月	2	④⑤(知及技) ・語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすることができるようにする。 ④⑤(思判表力)- ④⑤(学・人) ・進んで複合語の構成や変化について関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとする態度を養う。	④⑤(知・技) ・語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。((1)オ) ④⑤(思・判・表)- ④⑤(主学) ・進んで複合語の構成や変化について関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。	④⑤「複合語」	④⑤「複合語 複合語について知る。 ・「問いをもとう」を基に、言葉と言葉が結び付いて、新しい意味をもつことに気づく。 複合語の種類を確かめる。 ・複合語の組み合わせ方を理解して、設問1に取り組む。 複合語の特徴を確かめる。 ・長い複合語や略語について理解する。 ・発音や音の高低が変わる複合語があることを確かめる。 ・設問2に取り組む。 学習を振り返る。 ・「いかそう」を基に、これからの生活にいかす視点をもつ。
2月	3	④⑥(知及技) ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができるようにする。 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができるようにする。 ④⑥(思判表力) ・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようにする。 ④⑥(学・人) ・積極的に語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って手紙を書こうとする態度を養う。	④⑥(知・技) ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア) ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ④⑥(思・判・表) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ④⑥(主学) ・積極的に語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って手紙を書こうとしている。	④⑥言葉について考えよう	④⑥言葉について考えよう 「言葉を使い分けよう」 学習の見通しをもつ。 ・P213を読み、「問いをもとう」を基にどんなことを考えていくかを見通しをもつ。 相手に応じた言葉の選び方について考える。 ・「お知らせをどう書き換えればいいか」について話し合う。 ・P214「言葉を選ぶときは」を読んで、選び方について確認する。 相手や場に応じた言い方について考える。 ・「お知らせ」をどう書き換えればいいかについて話し合う。 ・P215「言い方を変えるときは」を読んで、よりよい言い方について確認する。 P215の課題に取り組む。 ・相手に合わせて言葉を選び、相手や場に応じた言い方をするの大切さを確認する。 言葉や表現に気をつけて手紙の文面を考える。 ・友達と評価し合う。 学習を振り返る。 ・これからの生活や学習にいかす視点をもつ。
2月	7	④⑦(知及技) ・話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができるようにする。 ④⑦(思判表力) ・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるようにする。	④⑦(知・技) ・話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。((1)力) ④⑦(思・判・表) ・「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ)	④⑦読む人を意識して構成を考え、物語を書こう「もう一つの物語」	④⑦読む人を意識して構成を考え、物語を書こう「もう一つの物語」 学習の見通しをもつ。 ・別の展開について考えてみたい物語を想起する。 ・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。

		④⑦(学・人) ・粘り強く文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって物語を書くこととする態度を養う。	④⑦(主学) ・粘り強く文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって物語を書くこととしている。		作例を基に、「何を」「どのように」書き換えているかをつかむ。 書き換えたい物語を選び、変える部分を考える。 ・P218「変える部分を考えるときは」を読み、変え方の参考にする。 ・変える部分を友達と紹介し合って、書き換える物語と、書き換える部分について決める。 - 読む人を意識して、物語の構成を考える。 ・P219「物語の基本的な構成」「塩谷さんの構成メモ」を参考にして、構成メモを作成する。 ・塩谷さんの構成の工夫を見つけて、読む人にどう楽しんでもらおうとしているかを予想する。 ・P219「物語の構成を考えるときは」を読んで、構成を考える参考にする。 - 表現を工夫して、物語の下書きをする。 ・読む人にどう感じてほしいかを意識して、物語の「どこに」「何を」書けばよいかを考える。 ・物語の場面を想像して、会話文や登場人物の様子、情景などを工夫して書き表す。 - 物語を清書する。 ・P220「学びをいかそう」を参考にして、表現を工夫する。 ・推敲して、仕上げる。 - 読み合って、感想を伝え合う。 - 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。
2月 ～ 3月	7	④⑧(知及技) ・話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができるようにする。 ・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができるようにする。 ④⑧(思判表力) ・話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えることができるようにする。 ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるようにする。 ④⑧(学・人) ・粘り強く話の構成を考え、学習の見通しをもって提案するスピーチをしようとする態度を養う。	④⑧(知・技) ・話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。((1)イ) ・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) ④⑧(思・判・表) ・「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) ④⑧(主学) ・粘り強く話の構成を考え、学習の見通しをもって提案するスピーチをしようとしている。	④⑧事実と感想、意見とを区別して、説得力のある提案をしよう 「子ども未来科」で何をする ☆自分の関心のあることから題材を決め、詳しく知りたいと思うことを調べる活動(社会、総合的な学習の時間) ☆意見や理由と根拠を説明する活動(社会、総合的な学習の時間) ☆練習時のスピーチの録音・録画(ICT活用)	④⑧事実と感想、意見とを区別して、説得力のある提案をしよう 「子ども未来科」で何をする 学習の見通しをもつ。 ・自分が学んでみたいことを考え、発表し合う。 ・「問いをもと」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 P225「山下さんのスピーチ」を参考に、「何を」「どのように」に伝えるスピーチなのかの見通しをもつ。 考えてみたいテーマを決める。 ・どんな課題があるかを想起して、自分が考えたいテーマを決める。 ・課題にしようとしているテーマについて、グループで情報交換する。 - テーマから課題を考え、情報を集める。 ・自分が決めたテーマについての課題を挙げて、「子ども未来科」で学べそうなことを考える。 ・P223「情報を集めるときは」を参考に、説得力を上げるための情報を集める。 - スピーチの構成を考える。 ・内容や話す順序を考え、スピーチメモを作る。 ・提示する資料を作る。 ・P224「構成を考えるときは」「資料を作るときは」を読んで、参考にする。 - スピーチメモを基にして、練習をする。 ・P225「山下さんのスピーチ」や二次元コードを参考に、効果的な言葉の選び方や話し方、資料の示し方などを工夫する。 - スピーチをする。 ・動画に撮っておき、見返す。 - 感想を伝え合う。 ・話の構成、話し方の両面から、友達のスピーチのよかったところを伝え合う。 - 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。
3月	5	④⑨(知及技) ・文章を音読したり朗読したりすることができるようにする。 ・比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。 ④⑨(思判表力) ・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができるようにする。 ・人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるようにする。 ④⑨(学・人)	④⑨(知・技) ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) ・文章を音読したり朗読したりしている。((1)ケ) ④⑨(思・判・表) ・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) ④⑨(主学)	④⑨登場人物の心情の変化に着目して読み、物語のみによく伝え合おう「大造じいさんとガン」	④⑨登場人物の心情の変化に着目して読み、物語のみによく伝え合おう 「大造じいさんとガン」 学習の見通しをもつ。 ・P227を見て、物語の内容を想像する。 ・教材文を読み、「問いをもと」「目標」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。 「残雪」に対する「大造じいさん」の心情と、その変化に着目して、物語の内容を捉える。 ・P246「言葉に着目しよう」を参考に、「大造じいさん」の心情を表す情景描写の効果について考える。

		・積極的に意見や感想を共有し、学習の見通しをもって物語の魅力を伝え合おうとする態度を養う。	・積極的に意見や感想を共有し、学習の見通しをもって物語の魅力を伝え合おうとしている。		物語の山場について考える。 ・「大造じいさん」の心情が大きく変わるところを探す。 読み深める観点を選んで、物語の魅力を見つけて自分の言葉でまとめる。 ・P247「選んで読み深めよう」を参考にする。 ・観点が同じ人どうしや違う人どうしで考えを伝え合い、考えを深める。 物語の魅力とそう考える理由をまとめる。 ・物語の魅力がよく表れている場面や文を選んで、そう思う理由を書き表す。 選んだ場面や文を朗読で表現する。 ・物語の魅力について書いた文章や朗読について、グループで紹介し合い、考えを比べる。 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。
3月	2	⑤⑩(知・技) ・第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができるようにする。 ⑤⑩(思・判・表) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができるようにする。 ⑤⑩(学・人) ・進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとする態度を養う。	⑤⑩(知・技) ・第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ⑤⑩(思・判・表) ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) ⑤⑩(主学) ・進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。	⑤⑩「漢字の広場⑥」	⑤⑩「漢字の広場⑥」 P249に提示された言葉を使いながら、新聞記者になったつもりで、出来事を報道する文章を書く。 書いた文章を読み返すなどして、構成などを考える。 書いた文章を見せ合い、交流するとともに、示された漢字を確認する。
3月	3	51.(知・技) ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができるようにする。 51.(思・判・表) ・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができるようにする。 51.(学・人) ・進んで考えたことなどから書くことを選び、学習課題に沿って1年間の振り返りを書こうとする態度を養う。	51.(知・技) ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア) 51.(思・判・表) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア) 51.(主学) ・進んで考えたことなどから書くことを選び、学習課題に沿って1年間の振り返りを書こうとしている。	51.「五年生をふり返って」	51.「五年生をふり返って」 1年間の国語学習を振り返る。 ・P252『「たいせつ」のまとめ』を読んで、領域ごとに自分が大切だと思ったことを書き加える。 ・学習で使ったノートやワークシートなどを見返して、それぞれの単元、時間で学んだことを想起する。 「自分自身についた言葉の力」と「その力のいかし方」について、自分の考えをまとめて書く。 書いた考えを友達と紹介し合う。

令和7年度 小学部5年(Ⅰ課程)算数科年間指導計画

配当時数	教科書／副教材	担当者
210	わくわく 算数5(啓林館)	算数担当1名

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。 (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用とする態度を養う。			
学園	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1	72	(知及技) ・小数も整数と同じ十進位取り記数法をもとにしていることを理解し、整数や小数を10倍、100倍、1000倍した数や、$1/10$、$1/100$、$1/1000$にした数を求めることができる。 (思判表力) ・十進数の仕組みや表し方に着目して、整数や小数を10倍、100倍、1000倍したり、$1/10$、$1/100$、$1/1000$にしたとき的小数点の移動の仕方を考えることができる。 (学・人) ・小数と整数の仕組みに進んで関わり、ふり返りを通して十進位取り記数法のよさに気づき、生活や学習にいかそうとする態度を養う。	(知・技) ・小数も整数と同じ十進位取り記数法をもとにしていることを理解し、整数や小数を10倍、100倍、1000倍した数や、$1/10$、$1/100$、$1/1000$にした数を求めようとしている。 (思・判・表) ・十進数の仕組みや表し方に着目して、整数や小数を10倍、100倍、1000倍したり、$1/10$、$1/100$、$1/1000$にしたとき的小数点の移動の仕方を考えている。 (主学) ・小数と整数の仕組みに進んで関わり、ふり返りを通して十進位取り記数法のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	整数と小数	・数字が同じ小数を比べることによる小数点の移動の動機づけ ・10倍や$1/10$にしたとき的小数点の移動 ・記数法の仕組みと100倍や1000倍したとき的小数点の移動 ・記数法の仕組みと$1/100$や$1/1000$にしたとき的小数点の移動
		(知及技) ・体積や容積の意味がわかり、単位「cm^3」「m^3」を知り、直方体や立方体の体積を求めることができる。 (思判表力) ・長方形や正方形の面積の求め方や公式をもとにして、直方体や立方体の体積の求め方や公式を考えたり、これを活用して簡単な複合図形の体積の求め方を工夫したりできる。 (学・人) ・直方体や立方体の体積の表し方や求め方に進んで関わり、ふり返りを通して適切な普遍単位を用いて大きさを数値化することのよさや公式を導き活用する意義に気づき、生活や学習にいかそうとする態度を養う。	(知・技) ・体積や容積の意味がわかり、単位「cm^3」「m^3」を知り、直方体や立方体の体積を求めようとしている。 (思・判・表) ・長方形や正方形の面積の求め方や公式をもとにして、直方体や立方体の体積の求め方や公式を考えたり、これを活用して簡単な複合図形の体積の求め方を工夫したりしている。 (主学) ・直方体や立方体の体積の表し方や求め方に進んで関わり、ふり返りを通して適切な普遍単位を用いて大きさを数値化することのよさや公式を導き活用する意義に気づき、生活や学習にいかそうとしている。	体積	体積 ・体積の概念、体積の表し方や求め方の動機づけ ・直方体や立方体の体積の表し方とその単位「1立方センチメートル」 　　≪体積、立方センチメートル(cm^3)、1cm^3≫ ・直方体と立方体の体積の求積と公式 ・容積の意味と求積 ≪容積、内のり≫ ・$1\text{L}=100\text{cm}^3$ ・$1\text{L}=1000\text{cm}^3$をもとにした箱作り ・複合図形の体積の求積・大きな体積の求積とその単位「1立方メートル」 　　・≪立方メートル(m^3)、1m^3≫ ・$1\text{m}^3=1000000\text{cm}^3$ ・1m^3の量感 ・長さ、面積、体積の単位の関係 　　≪キロリットル(kL)、1kL≫ ・算数探しの活動

(知及技) ・比例の意味を知り、簡単な場合についての比例の関係を理解することができる。 (思判表力) ・簡単な場合について、比例しているかどうかを判断することができる。 (学・人) ・伴って変わる 2 つの数量の比例に進んで関わり、ふり返りを通して比例という数量関係の特徴を見いだすことのよさに気づき、生活や学習にいかそうとする態度を養う。 ☒	(知・技) ・比例の意味を知り、簡単な場合についての比例の関係を理解しようとしている。 (思・判・表) ・簡単な場合について、比例しているかどうかを判断している。 (主学) ・伴って変わる 2 つの数量の比例に進んで関わり、ふり返りを通して比例という数量関係の特徴を見いだすことのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	比 例	・伴って変わる 2 つの数量を見つけることによる比例の動機づけ ・伴って変わる 2 つの数量の比例の調べ方、比例の定義とその判断、直方体の高さや体積の比例関係 ・比例にもとづいたかけ算の意味の見直し、数直線図
(知及技) ・小数の乗法の意味やその仕方を理解し、小数の乗法の計算ができるようにする。また、小数の計算においても交換法則や結合法則、分配法則が成り立つことを知ることができる。 (思判表力) ・小数の乗法の意味やその仕方について、既習の整数の場合をもとにしたり、小数の仕組みや計算のきまりをもとにしたりして考えることができる。 (学・人) ・小数の乗法の式や計算に進んで関わり、ふり返りを通して既習の比例や整数の乗法をもとにして考えることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとする態度を養う。	(知・技) ・小数の乗法の意味やその仕方を理解し、小数の乗法の計算ができる。また、小数の計算においても交換法則や結合法則、分配法則が成り立つことを知っている。 (思・判・表) ・小数の乗法の意味やその仕方について、既習の整数の場合をもとにしたり、小数の仕組みや計算のきまりをもとにしたりして考えている。 (主学) ・小数の乗法の式や計算に進んで関わり、ふり返りを通して既習の比例や整数の乗法をもとにして考えることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	小数のかけ算	・小数をかける学習の動機づけ ・(整数)×(帯小数)の立式とその根拠 ・(整数)×(帯小数)の計算の仕方 ・乗数と積の大きさの関係 ・(小数)×(小数)の立式と計算の仕方 ・(小数)×(小数)の筆算の仕方、積の小数点の位置 ・(小数)×(小数)で 0 の処理を含む演算、$\times 3.14$ の筆算 ・辺の長さが小数値の場合の面積や体積の求積 ・1mm^2と1mm^3・小数の計算の交換法則、結合法則、分配法則
(知及技) ・小数の除法の意味やその仕方を理解し、小数の除法の計算ができる。 (思判表力) ・小数の除法の意味やその仕方について、既習の整数の場合をもとにしたり、小数の仕組みや計算のきまりをもとにしたりして考えることができる。 (学・人) ・小数の除法の式や計算に進んで関わり、ふり返りを通して既習の比例や整数の除法をもとにして考えることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとする態度を養う。	(知・技) ・小数の除法の意味やその仕方を理解し、小数の除法の計算ができる。 (思・判・表) ・小数の除法の意味やその仕方について、既習の整数の場合をもとにしたり、小数の仕組みや計算のきまりをもとにしたりして考えている。 (学・人) ・小数の除法の式や計算に進んで関わり、ふり返りを通して既習の比例や整数の除法をもとにして考えることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	小数のわり算	・(小数)÷(小数)の立式と計算の仕方 ・(小数)÷(小数)の筆算の仕方、商の小数点の位置 ・(小数)÷(小数)で 0 の処理を含む筆算 ・商を概数で処理する場合の筆算の仕方 ・被除数、除数、商、余りの関係 ・加法と減法、乗法と除法の相互関係

	(知及技) ・小数倍で表される数量の関係について理解し、問題を解決することができる。 (思判表力) ・図や式を使って小数倍で表される数量の関係について考えることができる。 (学・人) ・割合や数量が小数で表された問題に進んで関わり、ふり返りを通して数量の関係を小数倍で表して解決することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとする態度を養う。	(知・技) ・小数倍で表される数量の関係について理解し、問題を解決している。 (思・判・表) ・図や式を使って小数倍で表される数量の関係について考えている。 (主学) ・割合や数量が小数で表された問題に進んで関わり、ふり返りを通して数量の関係を小数倍で表して解決することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	割合(1)	・テープの長さを比べることによる割合の動機づけ ・小数倍の意味と適用(第1用法) 「割合、くらべる量、もとにする量」 ・小数倍の意味と適用(第2用法) ・小数倍の意味と適用(第3用法) ・小数倍の問題場面における文、図、式をまとめること(第1、2、3用法) ・3要素2段階の倍に関する問題(第2用法) ・3要素2段階の倍に関する問題(第3用法)
	(知及技) ・合同の意味や性質を理解し、頂点、辺、角の対応を見つけて合同な図形を作図することができる。また、三角形や四角形の内角の和についても理解することができる。 (思判表力) ・合同の観点から既習の基本図形の性質を考えたり、合同な図形を作図の仕方や多角形の内角の和を考えたり説明したりすることができる。 (学・人) ・平面図形の形や大きさに進んで関わり、ふり返りを通して構成要素に着目することのよさや三角形や四角形の場合をもとに多角形について考えていけばよいことに気づき、生活や学習にいかそうとする態度を養う。	(知・技) ・合同の意味や性質を理解し、頂点、辺、角の対応を見つけて合同な図形を作図することができる。また、三角形や四角形の内角の和についても理解している。 (思・判・表) ・合同の観点から既習の基本図形の性質を考えたり、合同な図形を作図の仕方や多角形の内角の和を考えたり説明したりしている。 (主学) ・平面図形の形や大きさに進んで関わり、ふり返りを通して構成要素に着目することのよさや三角形や四角形の場合をもとに多角形について考えていけばよいことに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	合同な図形	・合同についての学習の動機づけ ・重ねる操作の仕方と合同の意味 「合同」 ・合同な図形における構成要素の対応関係、対応することの意味、対応する構成要素の性質、合同かどうかの判断「対応する頂点、辺、角」 ・四角形を対角線で分けて合同の観点で考察すること ・合同な三角形の作図の見直し(三角形の決定要素の考察) ・合同な三角形の3通りの作図 ・合同な四角形の作図 ・三角形の内角の和が180°になること ・三角形の内角の和の適用題 ・四角形の内角の和が360°になること ・多角形の内角の和の求め方ときまり「多角形」
	(知及技) ・伴って変わる2つの数量の関係を表に整理することができる。 (思判表力) ・図や表をもとに考え、2つの数量の間のきまりを見いだすことができる。また、「数の少ない場合から順に調べる」ことのよさに気づき、これを活用して問題を解くことができる。 (学・人) ・伴って変わる2つの数量に関する問題解決に進んで関わり、ふり返りを通して数量の関係を表に整理して考えることのよさに気づき、生活や学習に生かそうとする態度を養う。	(知・技) ・伴って変わる2つの数量の関係を表に整理している。 (思・判・表) ・図や表をもとに考え、2つの数量の間のきまりを見いだしている。また、「数の少ない場合から順に調べる」ことのよさに気づき、これを活用して問題を解いている。 (学・人) ・伴って変わる2つの数量に関する問題解決に進んで関わり、ふり返りを通して数量の関係を表に整理して考えることのよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。	見方・考え方を深めよう(1)「もう1回！もう1回！もう1回！」	「もう1回！もう1回！」 ・伴って変わる2量の関係を表に整理し、変化のきまりを見つけて問題を解く($a_n = a_{n-1} \times 2$) ・伴って変わる2量の関係を表に整理し、変化のきまりを見つけて問題を解く($a_n = a_{n-1} + n$, $a_n = a_{n-1} + (2n-1)$)

2	83	(知及技) ・偶数・奇数の意味や倍数・約数などの意味を理解し、整数の性質についての理解を深め、整数を偶数と奇数に類別したり、倍数・約数などを求めたりすることができる。 (思判表力) ・整数を偶数・奇数という観点から類別したり、倍数・約数という観点から考察したりできる。 (学・人) ・偶数・奇数、及び、倍数・約数に進んで関わり、ふり返りを通して整数の性質に着目して多面的にとらえることよき気づき、生活や学習にいかそうとする態度を養う。	(知・技) ・偶数・奇数の意味や倍数・約数などの意味を理解し、整数の性質についての理解を深め、整数を偶数と奇数に類別したり、倍数・約数などを求めたりしようとしている。 (思・判・表) ・整数を偶数・奇数という観点から類別したり、倍数・約数という観点から考察したりしている。 (主学) ・偶数・奇数、及び、倍数・約数に進んで関わり、ふり返りを通して整数の性質に着目して多面的にとらえることよき気づき、生活や学習にいかそうとしている。	整 数	・整数の性質を使った分類整理の動機づけ ・偶数、奇数の意味 《偶数、奇数》 ・倍数の意味、いろいろな整数の倍数 《倍数》・公倍数、最小公倍数の意味 《公倍数、最小公倍数》 ・公倍数の求め方の工夫、3つの数の公倍数 ・公倍数を使った問題解決 ・約数の意味、いろいろな整数の約数 《約数》 ・公約数、最大公約数の意味 《公約数、最小公約数》 ・公約数の求め方の工夫、3つの数の公約数 ・公約数を使った問題解決
		(知及技) ・分数の通分や約分の仕方を理解し、異分母分数の加減計算ができる。 ・商としての分数や分数と小数・整数の関係、何倍かを分数で表すことについて理解することができる。 (思判表力) ・単位分数に着目して異分母分数の加法や減法の計算の仕方を考えることができる。 ・わり算の商や小数や整数、何倍かを表す数を分数で表す方法について考え、分数の意味を多面的にとらえることができる。 (学・人) ・分数の相当や加減計算、分数を用いる場面に進んで関わり、ふり返りを通して通分や約分の仕方や分数の意味を多面的にとらえることよき気づき、生活や学習にいかそうとする態度を養う。	(知・技) ・分数の通分や約分の仕方を理解し、異分母分数の加減計算をしている。 ・商としての分数や分数と小数・整数の関係、何倍かを分数で表すことについて理解している。 (思判表力) ・単位分数に着目して異分母分数の加法や減法の計算の仕方を考えている。 ・わり算の商や小数や整数、何倍かを表す数を分数で表す方法について考え、分数の意味を多面的にとらえている。 (学・人) ・分数の相当や加減計算、分数を用いる場面に進んで関わり、ふり返りを通して通分や約分の仕方や分数の意味を多面的にとらえることよき気づき、生活や学習にいかそうとしている。	分 数	・分数の大きさ比べを通しての学習の動機づけ ・分母・分子を等倍することによる等しい分数のつくり方 ・約分の意味、約分の仕方 《約分》 ・通分の意味、分母が互いに素な場合の通分の仕方《通分》 ・分母が互いに素でない場合の通分の仕方、3つの数の通分の仕方 ・異分母分数の加減(約分なし) ・異分母分数の加減(約分あり) ・3つの分数の加減 ・帯分数の加減 ・等分したときの式や分数の表し方 ・商としての分数の意味(分数の第二義) ・分数の約分・通分の操作と除法の商不変の操作の関連づけ ・分数を小数で表すこと(循環小数になるときの処理を含む) ・小数・整数を分数で表すこと ・分数倍の意味(第1用法) 《分数倍》
		(知及技) ・底辺と高さの意味や公式について理解し、三角形や四角形の面積を求めることができる。 (思判表力) ・既習の面積の求め方をもとに三角形や平行四辺形などの面積の求め方を考えたり、求積方法をふり返って公式を導いたりすることができる。 (学・人) ・三角形や平行四辺形などの面積を求める活動に進んで取り組み、ふり返りを通して面積の求め方や公式のよき気づき、生活や学習にいかそうとする態度を養う。	(知・技) ・底辺と高さの意味や公式について理解し、三角形や四角形の面積を求めている。 (思・判・表) ・既習の面積の求め方をもとに三角形や平行四辺形などの面積の求め方を考えたり、求積方法をふり返って公式を導いたりしている。 (主学) ・三角形や平行四辺形などの面積を求める活動に進んで取り組み、ふり返りを通して面積の求め方や公式のよき気づき、生活や学習にいかそうとしている。	面 積	面 積 ・既習の面積のふり返りと学習の動機づけ ・直角三角形の求積の仕方 ・鋭角三角形の求積の仕方 ・三角形の面積公式の導出と適用 《底辺、(三角形の)高さ》 ・平行四辺形の面積の求め方 ・平行四辺形の面積公式の導出と適用 ・高さが外にある三角形や平行四辺形の求積 ・平行線にはさまれた平行四辺形や三角形の面積 ・台形の求積の仕方 ・台形の求積と公式 《上底、下底》 ひし形の求積と公式 ・三角形分割による多角形の求積 ・三角形の高さと面積(底辺と面積)の比例関係

(知及技) ・平均の意味や求め方を理解し、平均を求めたり、平均を用いておよその数量を見積もったりすることができる。 (思判表力) ・部分の平均を用いて、全体の量を見積もる方法や全体の平均を求める方法を考えることができる。 (学・人) ・数量の平均に進んで関わり、ふり返りを通して平均とそれを利用することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとする態度を養う。	(知・技) ・平均の意味や求め方を理解し、平均を求めたり、平均を用いておよその数量を見積もったりしている。 (思・判・表) ・部分の平均を用いて、全体の量を見積もる方法や全体の平均を求める方法を考えている。 (学・人) ・数量の平均に進んで関わり、ふり返りを通して平均とそれを利用することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	平均とその利用	・ジュースづくりを通しての学習の動機づけ 《ならす》 ・測定値の平均の意味とその求め方 《平均》 ・測定値に 0 がある場合の平均、平均が小数値になる場合 ・平均が小数値になる場合 ・部分の平均から全体を見積もる、身のまわりの平均・算数探しの活動 ・部分の平均から全体の平均を求める ・1歩の歩幅の平均を調べる、歩幅を使った道のり調べ ・仮平均の利用 ・外れ値の意味、外れ値を除外したときの平均
(知及技) ・単位量あたりの大きさの意味や求め方を理解し、単位量あたりの大きさを求めたり、それを使って混みぐあいなどを比べたりすることができる。 (思判表力) ・2 つの数量が関係していることに着目し、混みぐあいなどの比べ方を考え、単位量あたりの大きさを使って程度の大小を表したり、判断したりすることができる。 (学・人) ・単位量あたりの大きさに進んで関わり、ふり返りを通して一方の量を単位として混みぐあいなどを判断することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとする態度を養う。	(知・技) ・単位量あたりの大きさの意味や求め方を理解し、単位量あたりの大きさを求めたり、それを使って混みぐあいなどを比べたりしている。 (思・判・表) ・2 つの数量が関係していることに着目し、混みぐあいなどの比べ方を考え、単位量あたりの大きさを使って程度の大小を表したり、判断したりしている。 (主学) ・単位量あたりの大きさに進んで関わり、ふり返りを通して一方の量を単位として混みぐあいなどを判断することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	単位量あたりの大きさ	・混みぐあいの比べ方の動機づけ ・異種の 2 量のそれぞれを単位とした比較 ・異種の 2 量の一方を単位とした比較、単位量あたりの大きさの意味 《単位量あたりの大きさ》 ・よく使われる単位量あたりの大きさ 《人口密度》 ・算数探しの活動
(知及技) ・相殺や置換の考え方を理解し、それを用いて問題を解決することができる。 (思判表力) ・2 つの場面を図に整理して数量の大きさとして等しくなる部分を見だし、それに着目して問題を解決する方法を考えることができる。 (学・人) ・未知の数量が組み合わさった場面に関する問題解決に進んで関わり、ふり返りを通して相殺や置換のよさに気づき、生活や学習に生かそうとする態度を養う。	(知・技) ・相殺や置換の考え方を理解し、それを用いて問題を解決しようとしている。 (思・判・表) ・2 つの場面を図に整理して数量の大きさとして等しくなる部分を見だし、それに着目して問題を解決する方法を考えている。 (主学) ・未知の数量が組み合わさった場面に関する問題解決に進んで関わり、ふり返りを通して相殺や置換のよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。	見方・考え方を深めよう(2)「遊園地へゴー！」	・相殺の考え方をを用いて解く問題 ・置換の考え方をを用いて解く問題

		(知及技) ・割合の意味や百分率などを用いた表し方を理解し、数量の関係を正しくとらえて割合、比べる量、もとにする量を求めることができる。 (思判表力) ・数量の関係に着目し、割合を用いて複数の事象の数量の関係を比較したり、割合の和や差、積を考えたりすることができる。 (学・人) ・割合の学習に進んで関わり、ふり返りを通して数量の関係を割合で表すことや何倍になるかをまとめて考えることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとする態度を養う。	(知・技) ・割合の意味や百分率などを用いた表し方を理解し、数量の関係を正しくとらえて割合、比べる量、もとにする量を求めている。 (思・判・表) ・数量の関係に着目し、割合を用いて複数の事象の数量の関係を比較したり、割合の和や差、積を考えたりしている。 (主学) ・割合の学習に進んで関わり、ふり返りを通して数量の関係を割合で表すことや何倍になるかをまとめて考えることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	割 合(2)	・希望者数の比較を通しての学習の動機づけ ・割合の意味とその求め方(第1用法) 《割合、くらべる量、もとにする量》 ・全体に対する部分の割合、部分に対する部分の割合(第1用法) ・比較量を求める問題(第2用法) ・基準量を求める問題(第3用法) ・3つの場面の文、図、式の理解 ・百分率の意味、小数と百分率の関係(割合を%で表す:第1用法) 《百分率、パーセント(%), 1%》 ・百分率を使った問題(第3用法) ・百分率を使った問題(第2用法) ・割・分・厘 《割、分、厘、歩合》 ・値段の上がり方を割合で比べること ・割合の和や差を考えて解く問題(第2用法) ・割合の和や差を考えて解く問題(第3用法)
		(知及技) ・正多角形の意味や性質について理解し、作図することができるようにする。 ・円周率の意味を理解し、円の直径から円周を求めたり、円周から直径を求めたりすることができる。 (思判表力) ・円や正多角形の性質に着目し、正多角形の作図の仕方を考えることができるようにする。 ・円周と直径の関係に着目し、帰納的に考えて円周率を見いだしたり、円周や直径の求め方を考えたりする態度を養う。 (学・人) ・正多角形や円の考察に進んで関わり、ふり返りを通して正多角形の作図の仕方や円周率のよさに気づき、生活や学習にいかそうとする態度を養う。	(知・技) ・正多角形の意味や性質について理解し、作図している。 ・円周率の意味を理解し、円の直径から円周を求めたり、円周から直径を求めたりしている。 (思・判・表) ・円や正多角形の性質に着目し、正多角形の作図の仕方を考えている。 ・円周と直径の関係に着目し、帰納的に考えて円周率を見いだしたり、円周や直径の求め方を考えたりしている。 (主学) ・正多角形や円の考察に進んで関わり、ふり返りを通して正多角形の作図の仕方や円周率のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	円と正多角形	・折り紙作業による正多角形の動機づけ ・正多角形の概念《正多角形》 ・中心角の等分割による正多角形の作図 ・円周の等分による正六角形の作図、模様づくり ・円を回転させたときの長さ調べによる円周と直径の依存関係への着目と学習の動機づけ《円周》 ・内接する正六角形の周りの長さをもとにした円周の見積もり ・円周と直径の関係 ・円周率の小数第3位以下の数字《円周率》 ・円周や直径を求める問題 ・直径と円周の比例関係

3	55	(知及技) ・身のまわりの事象について、データの割合を表すには帯グラフや円グラフを用いるとよいことを理解し、帯グラフや円グラフをよんだりつくったりすることができる。 ・統計的な問題解決の方法を理解することができるようにする。 (思判表力) ・目的にあわせて、データの収集・整理の仕方を考えたり、帯グラフや円グラフを適切に用いてデータの特徴を判断できる。 ・得られた結果を多面的にとらえて結論について考察することができる。 (学・人) ・データの割合について進んで関わり、帯グラフや円グラフを使ってデータを整理することや結果を多面的にとらえることのよさに気づき、統計的な問題解決を生活や学習にいかそうとする態度を養う。	(知・技) ・身のまわりの事象について、データの割合を表すには帯グラフや円グラフを用いるとよいことを理解し、帯グラフや円グラフをよんだりつくったりしている。 ・統計的な問題解決の方法を理解している。 (思・判・表) ・目的にあわせて、データの収集・整理の仕方を考えたり、帯グラフや円グラフを適切に用いてデータの特徴を判断したりしている。 ・得られた結果を多面的にとらえて結論について考察している。 (主学) ・データの割合について進んで関わり、帯グラフや円グラフを使ってデータを整理することや結果を多面的にとらえることのよさに気づき、統計的な問題解決を生活や学習にいかそうとしている。	割合のグラフ	・みかんの収穫量による動機づけ ・帯グラフや円グラフのよみ方とその特徴《帯グラフ、円グラフ》 ・帯グラフや円グラフのかき方 ・複数のグラフを関連づけて考察すること ・統計的な問題解決の方法
		(知及技) ・角柱や円柱の意味やその特徴について理解し、角柱や円柱の見取図・展開図をかくことができる。 (思判表力) ・立体図形の構成要素に着目し、角柱や円柱の特徴や見取図・展開図のかき方を考えることができる。 (学・人) ・角柱や円柱の考察に進んで関わり、ふり返しを通して立体図形の構成要素や展開図を組み立てたときに重なる点や辺に着目することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとする態度を養う。	(知・技) ・角柱や円柱の意味やその特徴について理解し、角柱や円柱の見取図・展開図をかいている。 (思・判・表) ・立体図形の構成要素に着目し、角柱や円柱の特徴や見取図・展開図のかき方を考えている。 (主学) ・角柱や円柱の考察に進んで関わり、ふり返しを通して立体図形の構成要素や展開図を組み立てたときに重なる点や辺に着目することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	角柱と円柱	・立体の概念、角柱と円柱の弁別《立体》 ・角柱と円柱の定義、その弁別、底面と側面の定義《角柱、円柱、底面、側面、曲面》 ・角柱と円柱の特徴 ・角柱と円柱の見取図 ・算数探しの活動 ・角柱の展開図 ・円柱の展開図
		(知及技) ・速さの意味や求め方を理解し、速さを時速、分速、秒速などの単位を用いて表したり比べたりすることができる。 (思判表力) ・単位量あたりの考え方をもとに道のりと時間の関係に着目し、速さの表し方を考えたり、道のりや時間の求め方を考えたりできる。 (学・人) ・速さに進んで関わり、ふり返しを通して単位時間に進んだ道のりを速さとするのよさに気づき、生活や学習にいかそうとする態度を養う。	(知・技) ・速さの意味や求め方を理解し、速さを時速、分速、秒速などの単位を用いて表したり比べたりしている。 (思・判・表) ・単位量あたりの考え方をもとに道のりと時間の関係に着目し、速さの表し方を考えたり、道のりや時間の求め方を考えたりしている。 (主学) ・速さに進んで関わり、ふり返しを通して単位時間に進んだ道のりを速さとするのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	速さ	速さ ・速さの意味と学習の動機づけ ・速さの比べ方 ・速さを求める問題 《速さ、時速、分速、秒速》 ・道のりを求める問題 ・時速・分速・秒速の関係 ・算数探しの活動

		(知及技) ・伴って変わる 2 つの数量の関係を、○や△を使って式に表したり、表にかいて変わり方を調べたりすることができる。 (思判表力) ・伴って変わる 2 つの数量を見いだして、その関係を式や表を用いて考えたり、比例するかどうかを判断したりすることができる。 (学・人) ・伴って変わる 2 つの数量の関係に進んで関わり、ふり返りを通して○や△を使ってその関係を式に表すことや表を用いて考察することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとする態度を養う。	㊸(知・技) ・伴って変わる 2 つの数量の関係を、○や△を使って式に表したり、表にかいて変わり方を調べたりしようとしている。 (思・判・表) ・伴って変わる 2 つの数量を見いだして、その関係を式や表を用いて考えたり、比例するかどうかを判断したりしている。 (主学) ・伴って変わる 2 つの数量の関係に進んで関わり、ふり返りを通して○や△を使ってその関係を式に表すことや表を用いて考察することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	変わり方	・伴って変わる 2 つの数量に着目すること ・$y=x+a$ となる関係についての考察 ・$y=a \times x$ となる関係についての考察 ・道のりと時間の比例関係 ・$y=a \times x+b$ となる関係についての考察
		(知及技) ・時間と道のりの関係や道のりの和や差の変化を表に整理することができる。 (思判表力) ・絵や表をもとに考え、道のりの和や差の変化のきまりに着目し、これを活用して問題を解決することができる。 (学・人) ・速さに関する問題解決に進んで関わり、ふり返りを通して数量の関係や変化を表に整理して考えることや表からきまりを見いだすことのよさに気づき、生活や学習に生かそうとする態度を養う。	(知・技) ・時間と道のりの関係や道のりの和や差の変化を表に整理している。 (思・判・表) ・絵や表をもとに考え、道のりの和や差の変化のきまりに着目し、これを活用して問題を解決している。 (主学) ・速さに関する問題解決に進んで関わり、ふり返りを通して数量の関係や変化を表に整理して考えることや表からきまりを見いだすことのよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。	見方・考え方を深めよう(3)「いつ会える？」	・2 量の和の変わり方に着目する問題(出会い算) ・2 量の差の変わり方に着目する問題(追いつき算)

令和7年度 小学部5年（I課程） 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
105	東京書籍／沖縄県版理科ノート	理科担当1名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) ・物の溶け方、振り子の運動、電流がつくる磁力、生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 (思判表力) ・物の溶け方、振り子の運動、電流がつくる磁力、生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性について追究する中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力を身に付ける。 (学・人) ・物の溶け方、振り子の運動、電流がつくる磁力、生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性について追究する中で、生命を尊重する態や主体的に問題解決しようとする態度を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技) 天気の変化は、雲の量や動きと関係があることや映像などの気象情報を用いて予想できるようにする。 (思判表力) 天気の変化の仕方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現できるようにする。 (学・人) 天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) 天気の変化は、雲の量や動きと関係があることや映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。 (思・判・表) 天気の変化の仕方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 (主学) 天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	「天気の変化」 ・雲と天気 ・天気の予想 ・明日の天気を予想する	・朝と昼の空の様子 of 資料写真を見比べて、天気の変化について調べる問題を見いだす。 ・時刻を変えて、雲の形や量、動きなどを観測する。 ・数日間、気象情報を集めて天気の変化を調べる。 ・雲の形や量、動きなどが変わると天気が変わることをまとめる。 ・資料を読んで、雨を降らせる雲を捉える。 ・天気を観測したり、気象情報を集めたりして、明日の天気を予想する。
	10	(知及技) 魚には雌雄があり、生まれた卵は日が経つにつれて中の様子が変化してかえることを理解できるようにする。 (思判表力) 卵の中の変化について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現できるようにする。 (学・人) 卵の中の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) 魚には雌雄があり、生まれた卵は日が経つにつれて中の様子が変化してかえることを理解している。 (思・判・表) 卵の中の変化について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) 卵の中の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	「魚のたんじょう」 ・メダカを飼う ・たまごの変化	・メダカの雌雄の見分け方を知る。 ・メダカを飼育して卵を産ませる準備をする。 ・数日ごとにメダカの卵の中の変化を解剖顕微鏡で観察し、記録する。 ・魚の卵の変化について、学んだことをまとめる。
	10	(知及技) 植物は、種子の中の養分を基にして発芽することを理解し、発芽には、水、空気及び温度、成長には、日光や肥料などが関係していることを理解できるようにする。 (思判表力) 植物の発芽や成長について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現できるようにする。 (学・人) 植物の発芽や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) 植物は、種子の中の養分を基にして発芽することを理解し、発芽には、水、空気及び温度、成長には、日光や肥料などが関係していることを理解している。 (思・判・表) 植物の発芽や成長について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) 植物の発芽や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	「植物の発芽と成長」 ・種子が発芽する条件 ・種子の発芽と養分 ・植物が成長する条件	・種子の発芽と水や温度、空気との関係を調べる条件を整え、実験を行う。 ・種子が発芽するときの子葉の働きを調べる。 ・植物が大きく成長していくためには何が必要か予想する。 ・日光と成長、肥料と成長との関係を調べる実験を行う。 ・植物の発芽と成長について、学んだことをまとめる。
	11	(知及技) 花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることを理解できるようにする。 (思判表力) 植物の花のつくりや結実について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現することができるようにする。 (学・人) 植物の花のつくりや結実について学んだことを学習や生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) 花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることを理解している。 (思・判・表) 植物の花のつくりや結実について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) 植物の花のつくりや結実について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	「花から実へ」 ・花のつくり ・花粉のはたらき	・ヘチマとアサガオの花のつくりを調べる。 ・ヘチマやアサガオのおしべの働きを考え、花粉を顕微鏡で観察する。 ・開花前のヘチマのめしべを観察する。 ・花粉の働きを調べる。 ・受粉と実のでき方についてまとめる。

2 学 期	10	(知及技) 天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解することができるようにする。 (思判表力) 天気の変化の仕方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現できるようにする。 (学・人) 天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かすことができるようにする。	(知・技) 天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。 (思・判・表) 天気の変化の仕方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 (主学) 天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	「台風と天気の変化」 ・台風の動きと天気の変化 ・わたしたちのくらしと災害】	・台風の進み方と天気の変化について調べる。(実際に台風が近づいているときは、その進路予想を扱う。) ・台風の進路と天気の変化についてまとめる。 ・台風による災害や災害に対する備えについて、調べたり考えたりする。
	12	(知及技) 流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解することができるようにする。 (思判表力) 流れる水の働きと土地の変化について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現できるようにする。 (学・人) 流れる水の働きと土地の変化について学んだことを学習や生活に生かすことができるようにする。	(知・技) 流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解している。 (思・判・表) 流れる水の働きと土地の変化について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 (主学) 流れる水の働きと土地の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	「流れる水のはたらき」 ・川原の石 ・流れる水のはたらき ・わたしたちのくらしと災害 ・川の観察	・土の斜面に水を流して、流れる水の働きを調べる。 ・流れる水の量と土地の様子の変化との関係を調べるための方法を考える。 ・流す水の量を変えて、流れる水の働きを調べる。 ・実際の川を観察して、川の様子や流れる水の働きを調べる。 ・流れる水の働きについて、学んだことをまとめる。
	12	(知及技) ・物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないことを理解できるようにする。 ・物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うこと、また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができることを理解できるようにする。 (思判表力) ・物の溶け方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現できるようにする。 (学・人) ・物の溶け方について学んだことを学習や生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) ・物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないことを理解している。 ・物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うこと、また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができることを理解している。 (思・判・表) ・物の溶け方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ・物の溶け方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	「物のとけ方」 ・物が水にとけるとき ・物が水にとける量 ・水にとけた物をとり出す	・水に溶けて見えなくなった食塩の行方について調べ、まとめる。 ・食塩とミョウバンが水に溶ける量には限りがあるかを調べ、まとめる。 ・水の量を変えたり、水の温度を変えたりしたときの、食塩とミョウバンの溶ける量を調べる。 ・水溶液を冷やしたり、蒸発させたりして、溶けている物を取り出すことができるか調べる。 ・物の溶け方について、学んだことをまとめる。
3 学 期	10	(知及技) ・人は、母体内で成長して生まれることを理解できるようにする。 (思判表力) ・胎児の母体内での成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現できるようにする。 (学・人) ・胎児の母体内での成長について学んだことを学習や生活に生かそうとできるようにする。	(知・技) ・人は、母体内で成長して生まれることを理解している。 (思・判・表) ・胎児の母体内での成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ・胎児の母体内での成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	「人のたんじょう」 ・人の生命のたんじょう	・人の子どもの母体内での成長について予想し、調べる方法を考える。 ・人の子どもの母体内での成長について、資料などで調べる。 ・人の子どもの母体内での成長について、学んだことをまとめる。
	10	(知及技) ・電磁石の強さは、電流の大きさや導線の巻き数によって変わることを理解できるようにする。 (思判表力) ・電流がつくる磁力について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現できるようにする。 (学・人) ・電流がつくる磁力について学んだことを学習や生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) 電磁石の強さは、電流の大きさや導線の巻き数によって変わることを理解している。 (思・判・表) 電流がつくる磁力について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 (主学) 電流がつくる磁力について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	「電流がうみ出す力」 ・電磁石の性質 ・電磁石の強さ ・電磁石を利用した物	・電磁石の性質を調べる。 ・電流の大きさや導線の巻き数を変えたときの、電磁石の強さを調べる。 ・電磁石を利用した道具やおもちゃを作る。 ・電磁石の働きについて、学んだことをまとめる。

	10	(知及技) ・振り子が1往復する時間は、おもりの重さなどによっては変わらないが、振り子の長さによって変わることを理解できるようにする。 (思判表力) ・振り子の運動の規則性について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決ができるようにする。 (学・人) ・振り子の運動の規則性について学んだことを学習や生活に生かすことができるようにする。	(知・技) 振り子が1往復する時間は、おもりの重さなどによっては変わらないが、振り子の長さによって変わることを理解している。 (思・判・表) ・振り子の運動の規則性について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ・振り子の運動の規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	「ふりこのきまり」 ・ふりこの1往復する時間	・振り子の長さを変えて、振り子の1往復する時間が変わるか調べる。 ・おもりの重さを変えて、振り子の1往復する時間が変わるか調べる。 ・振り子の振れ幅を変えて、振り子の1往復する時間が変わるか調べる。 ・振り子のきまりについて、学んだことをまとめる。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部5年（I課程） 社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
105	新しい社会5（東京書籍）	社会科担当 1 名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状，社会の情報化と産業の関わりについて，国民生活との関連を踏まえて理解するとともに，地図帳や地球儀，統計などの各種の基礎的資料を通して，情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 社会的事象の特色や相互の関連，意味を多角的に考える力，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力，考えたことや選択・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。 (学・人) 社会的事象について，主体的に学習の問題を解決しようとする態度や，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに，多角的な思考や理解を通して，我が国の国土に対する愛情，我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技) ・世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、我が国の国土の様子が分かる。 ・調べたことを図表や文などにまとめ、世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解できる。 (思判表力) ・世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、問いを見いだし、我が国の国土の様子について考え表現できる。 (学・人) ・我が国の国土の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決する力を養う。	(知・技) ・世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、我が国の国土の様子を理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ、世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解している。 (思・判・表) ・世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、問いを見いだし、我が国の国土の様子について考え表現している。 (主学) ①我が国の国土の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。	1. わたしたちの国土 ①導入(オリエンテーション) ② 世界の中の国土 ③ 国土の地形の特色 ④低い土地のくらし／高い土地のくらし(選択)	・「地球儀の見方・使い方」を参照し、地球儀の使い方を学習する。 ・地図や地球儀で日本の位置を確認し、世界の広がりとの関係について気づいたことや考えたことなどを発表する。 ・P.19の資料5の地図を読み取る活動を通して、国土の山地や平地について気づいたことを発表する。 ・P.19の資料4、5、6をもとに、国土の地形の特色をまとめる。 ・P.19の資料4をもとに地形の種類とP.18の資料1、 ・P.19の資料4、5、6をもとに、国土の地形の特色をまとめる。 ・土地の高さの地図の0mよりも低いところに色を塗って海津市の土地の高さを調べる。 ・資料1～6から、低い土地ならではの楽しみを見つけて話し合う。 ・嬌恋村の航空写真から、土地の様子を話し合う。 ・嬌恋村と東京の月別平均気温を比べてわかったことを話し合う。 ・日本の気候を特色づけているつゆ、台風、降雪に関わる景観写真を見て、どの季節のどの写真か予想する。 ・写真を見ながら、自分たちのくらしている地域との違いを発表し合う。 ・資料などから沖縄の課題について発表する。 ・沖縄の文化について調べる。 ・沖縄の特色を表にまとめる。 ・グラフを見て、北海道の気候の特色を話し合う。 ・写真から雪対策について話し合う。 ・雪が山のように積まれている。 ・航空写真から十勝地方の農業について話し合う。 ・写真から北海道の文化について気づいたことを発表し合う。 ・北海道の特色を表にまとめる。
	20	(知及技) ・生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどについて地図帳や地球儀、各種の資料などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産の概要を理解することができる。 ・調べたことを白地図や文などにまとめ、我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることが分かる。 (思判表力) ・身近な食料品の産地に着目して問いを見いだし、我が国の食料生産の概要について考え表現できる。 ・生産物の種類や分布、生産量の変化、自然条件との関わりなどを総合して、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、適切に表現できる。 (学・人) ・我が国の食料生産について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決する力を養う。	(知・技) ・生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどについて地図帳や地球儀、各種の資料などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産の概要を理解している。 ・調べたことを白地図や文などにまとめ、我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解している。 (思・判・表) ・身近な食料品の産地に着目して問いを見いだし、我が国の食料生産の概要について考え表現している。 ・生産物の種類や分布、生産量の変化、自然条件との関わりなどを総合して、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、適切に表現している。 (主学) ・我が国の食料生産について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。	2. わたしたちの生活と食料生産 ①導入(オリエンテーション) ②くらしを支える食料生産 ③米づくりのさかんな地域 ④水産業のさかんな地域	・P.70の写真を見て、日本の米づくりの様子について調べる。 ・日本の農産物の生産額について調べる。 ・日本の農産物の産地を調べる。 ・庄内平野の航空写真を見て、地形や気候についてわかったことを発表し合う。 ・米づくりのための土地の工夫について調べる。 ・米づくりのための機械化について調べ、そのよさや課題について話し合う。 ・米づくりでは、なぜ人々の協力が必要なのか話し合う。 ・日本周辺の海の様子について、調べてわかったことを話し合う。 ・写真やイラストから、かつお漁の様子について調べてわかったことをノートにまとめ発表する。 ・写真や本文、養殖業者の人の話から、養殖について調べてわかったことをノートにまとめる。 ・地図とグラフから、日本の水産業の現状について調べ、水産業の課題だと思うことをノートにまとめ発表し合う。 ・写真を見ながら、毎日の食生活について話し合う。 ・食生活の変化や食料品別の輸入量の変化を調べる。 ・写真や食の安全に関する意識調査、食品の生産や販売における取り組みで知っていること、輸入食品で問題になること等を話し合う。 ・話し合ったことをもとに、これからの日本の食料生産について大切に思うことを各自ノートにまとめる。

2 学期	20	(知及技) ・工業の種類、工業のさかんな地域の分布、工業製品の改良などについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、工業生産の概要を理解することができる。 ・調べたことを白地図や文などにまとめ、我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業のさかんな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることが分かる。 (思判表力) ・工業の種類、工業のさかんな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、問いを見いだし、工業生産の概要について考え表現することができる。 (学・人) ・工業生産の概要について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決する力を養う。	(知・技) ①工業の種類、工業のさかんな地域の分布、工業製品の改良などについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、工業生産の概要を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業のさかんな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解している。 (思・判・表) ・工業の種類、工業のさかんな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、問いを見いだし、工業生産の概要について考え表現している。 (主学) ・工業生産の概要について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。	3. わたしたちの生活と工業生産 ①くらしを支える工業生産 ②自動車をつくる工業 ③工業生産を支える運輸と貿易 ④これからの工業生産とわたしたち	・身のまわりの工業製品を持ち寄り、それぞれの特徴を考えながら分類する。 ・分類した工業製品がつくられた場所を調べて、発表し合うとともに、日本地図に生産地の印をつけてまとめる。 ・日本の工業生産と工業のさかんな地域の特色について、わかったことや考えたことをノートにまとめる。 ・組み立て工場の工程について調べる。 ・QRコンテンツ「組み立て工場の人にインタビュー」から、多くの作業をしながら、注文に合わせて自動車を生産するための工夫を読み取り、話し合う。 ・組み立て工場と関連工場のつながりについて話し合う。 ・現在、開発されている自動車の技術について調べる。 ・「主な輸入品の輸入相手国」や「輸入量と国内生産量のわりあい」などから、日本が輸入している品目と相手国を調べる。 ・「主な輸出品の輸出相手国」から日本が輸出している品目と相手国を調べる。 ・写真資料などから、資源の多くを輸入に頼っている状況での日本の新しい取り組みについて調べる。 ・日本の工業生産の課題について話し合う。 ・写真資料などから、日本の工業生産の新しい取り組みについて調べる。 ・これまでの学習をふり返って、日本の工業生産は優れた技術をどのように生かし、発展していこうとしているのかを話し合い、自分の考えたことをノートにまとめる。
	20	(知及技) ・工業の種類、工業のさかんな地域の分布、工業製品の改良などについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、工業生産の概要を理解することができる。 ・調べたことを白地図や文などにまとめ、我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業のさかんな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることが分かる。 (思判表力) ・工業の種類、工業のさかんな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、問いを見いだし、工業生産の概要について考え表現することができる。 (学・人) ・工業生産の概要について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決する力を養う。	(知・技) ・工業の種類、工業のさかんな地域の分布、工業製品の改良などについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、工業生産の概要を理解している。 ・調べたことを白地図や文などにまとめ、我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業のさかんな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解している。 (思・判・表) ・工業の種類、工業のさかんな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、問いを見いだし、工業生産の概要について考え表現している。 (主学) ・工業生産の概要について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。	3. わたしたちの生活と工業生産 ①くらしを支える工業生産 ②自動車をつくる工業 ③工業生産を支える運輸と貿易 ④これからの工業生産とわたしたち	・身のまわりの工業製品を持ち寄り、それぞれの特徴を考えながら分類する。 ・日本の工業生産と工業のさかんな地域の特色について、わかったことや考えたことをノートにまとめる。 - 写真とグラフから、日本の工業生産について話し合う。 ・組み立て工場の工程について調べる。 ・現在、開発されている自動車の技術について調べる。 ・「主な輸入品の輸入相手国」や「輸入量と国内生産量のわりあい」などから、日本が輸入している品目と相手国を調べる。 ・「主な輸出品の輸出相手国」から日本が輸出している品目と相手国を調べる。 ・写真資料などから、資源の多くを輸入に頼っている状況での日本の新しい取り組みについて調べる。 ・日本の工業生産の課題について話し合う。 ・写真資料などから、日本の工業生産の新しい取り組みについて調べる。 ・これまでの学習をふり返って、日本の工業生産は優れた技術をどのように生かし、発展していこうとしているのかを話し合い、自分の考えたことをノートにまとめる。
	20	(知及技) ・放送などの情報産業で働く人々の、情報を集め発信するまでの工夫や努力などについて、聞き取り調査をしたり映像や新聞、インターネットなどの各種資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、放送などの情報産業の様子について理解することができる。 (思判表力) ・放送などの情報産業で働く人々の、情報を集め発信するまでの工夫や努力に着目して、問いを見いだし、放送などの情報産業の様子について考え表現することができる。 (学・人) ・放送などの産業と情報との関わりについて予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決する力を養う。	(知・技) ・放送などの情報産業で働く人々の、情報を集め発信するまでの工夫や努力などについて、聞き取り調査をしたり映像や新聞、インターネットなどの各種資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、放送などの情報産業の様子について理解している。 (思・判・表) ・放送などの情報産業で働く人々の、情報を集め発信するまでの工夫や努力に着目して、問いを見いだし、放送などの情報産業の様子について考え表現している。 (主学) ・放送などの産業と情報との関わりについて予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。	4. 情報化した社会と産業の発展 ①情報産業とわたしたちのくらし ②情報を生かす産業 ③情報を生かすわたしたち	・よく見るテレビ番組について発表し合う。 ・テレビ番組の種類や「報道被害を伝える新聞記事」、「放送局で働く鈴木さんの話」などから放送された情報の活用や影響を調べ、人々と情報の関わりについて話し合う。 ・情報について考えたことを話し合い、自分の考えをノートにまとめる。 ・くらしを支える産業では、情報をどのように活用しているか話し合う。 ・販売の仕事ではどのように情報を活用しているか、写真資料を参考に話し合う。 ・コンビニエンスストアでは、情報をどのように活用しているか話し合い、P.68～69の資料をもとに調べる。 ・コンビニエンスストアに商品が運ばれるときにどのように情報が活用されているか話し合い、資料1、2をもとに調べる。 ・学習をふり返り、コンビニエンスストアがどのように情報を活用しているか話し合う。 ・パソコンやスマートフォンの利用経験を話し合う。 ・インターネットを利用した犯罪件数のグラフなどをもとに、その原因を話し合う。 ・インターネットで起こる問題を調べ、情報を上手に活用するには、どのようなルールやマナーを心がければよいか考え話し合う。 ・情報を集めるときや読み取るときに大切なことを考え、話し合う。 ・情報の活用について学んできたことをふり返り、話し合う。

3 学 期	15	(知及技) ・災害の種類や発生 の位置や時期、防災対策などについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の自然災害の状を理解することができる。 ・調べたことを表や文にまとめ、自然災害は国土の自然条件などに関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることが分かる。 (思判表力) ・災害の種類や発生 の位置や時期、防災対策などに着目して、問いを見だし、国土の自然災害の状況について考え、表現することができる。 ・我が国で発生する様々な自然災害と国土の自然条件を関連付けて、国や県などの防災・減災に向けた対策や事業の役割を考え、表現できる。 (学・人) ・我が国の自然災害の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決する力を養う。	(知及技) ・災害の種類や発生 の位置や時期、防災対策などについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の自然災害の状況を理解している。 ・調べたことを表や文にまとめ、自然災害は国土の自然条件などに関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解している。 (思判表力) ・災害の種類や発生 の位置や時期、防災対策などに着目して、問いを見だし、国土の自然災害の状況について考え、表現している。 ・我が国で発生する様々な自然災害と国土の自然条件を関連付けて、国や県などの防災・減災に向けた対策や事業の役割を考え、表現している。 (学・人) ・我が国の自然災害の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。	5. わたしたちの生活と環境 ①自然災害を防ぐ ②わたしたちの生活と森林 ③環境を守るわたしたち	・日本で地震が起こるわけを、本文や資料2、3から読み取り、話し合う。 ・大地震に備えて国や都道府県では、どのような対策や備えをしているか、話し合う。 ・日本で津波が起こるわけを資料から読み取り、話し合う。 ・大津波からの被害を減らすために、国や都道府県ではどのような対策をしているのか調べ、話し合う。 ・資料から、火山や大雪の被害について調べる。 ・これまでの学習をふり返り、自然災害の種類別に、表に整理する。 ・森林の様子の写真やグラフ、日本の土地利用図などの資料から森林の広がりについて話し合う。 ・森林の働きについて話し合う。 ・森林資源の利用について調べる。 ・国土を保全する豊かな森林を守っていくために、自分たちができることを考える。 ・鴨川と京都市民との関わりを調べる。 ・当時の新聞記事や「市役所の大原さんの話」、「四大公害病」などから、当時の社会の様子を調べ、鴨川が汚れていた原因について話し合う。 ・「鴨川を美しくする会の杉江さんの話」や「京都府鴨川条例」などから現在の取り組みを調べ、環境を維持する様子について話し合う。 ・学習したことをふり返って、鴨川の環境を守る取り組みについてそれぞれの立場でまとめる。 ・自分は誰の活動に協力できるか話し合う。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部5年（Ⅰ課程） 外国語 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
70	Junior Sunnshine5(開隆堂出版)	外国語担当1名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) ・外国語の音声や文字，語彙，表現，文構造，言語の働きなどについて，読むこと，書くことに慣れ親しみ，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) ・コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，身近で簡単な事柄について，聞いたり話したりするとともに，自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 (学・人) ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め，他者に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	(知及技) ・Hello. My name is ～., How do you spell your name?, What ～ do you like?, I like ～., What do you want?, I want ～. 及びその関連語句(以下, 主な言語材料)などについて理解することができる。 ・前や名前のつづり, 好きなものやもっているものなどについて, 具体的な情報を聞き取る技能を身に付けることができる。 ・主な言語材料について理解することができる。 ・名前や名前のつづり, 好きなものやもっているものなどについて, 主な言語材料を用いて伝え合う技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・互いのことをよく知るために, 名前や名前のつづり, 好きなものやもっているものなどを伝え合うことができる。 (学・人) ・本単元では記録に残す評価は行わない。	(知・技) ・Hello. My name is ～., How do you spell your name?, What ～ do you like?, I like ～., What do you want?, I want ～. 及びその関連語句(以下, 主な言語材料)などについて理解している。 ・前や名前のつづり, 好きなものやもっているものなどについて, 具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。 ・主な言語材料について理解している。 ・名前や名前のつづり, 好きなものやもっているものなどについて, 主な言語材料を用いて伝え合う技能を身に付けている。 (思・判・表) ・互いのことをよく知るために, 名前や名前のつづり, 好きなものやもっているものなどを伝え合っている。 (主学) ・本単元では記録に残す評価は行わない。	Lesson 1 「Hello, everyone.」 ・友達のことをもっと知ろう。	・Let's Watch and Think 1 で, 登場人物の話を視聴する。 ・Let's Play 1 で, 先生や友達の好きなものを尋ねたり, 自分の好きなものを答えたりする練習をする。 ・Let's Watch and Think 2 で, 登場人物の自己紹介の様子を視聴し, 気付いたことを書く。 ・Let's Play 2 で, アルファベットの大文字に慣れる。 ・Let's Play 3 1 で, アルファベットの小文字に慣れる。 ・Let's Play 4 で, 身の回りのものなどの言い方を練習する。 ・Let's Play 5 で, 「カテゴリー・ゲーム」を通して身の回りのものなどを聞いたり言ったりする。
	8	(知及技) ・My birthday [special day] is ～., When is your birthday [special day]?, It's ～., Do you like ～? 及びその関連語句(以下, 主な言語材料)などについて理解できる。 ・誕生日や特別な日, 好きなものや欲しいものなど, 具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。 ・主な言語材料について理解することができる。 ・誕生日や特別な日, 好きなものや欲しいものなどについて, 主な言語材料を用いて伝え合う技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・相手のことをよく知るために, 誕生日や特別な日, 好きなものや欲しいものなど, 具体的な情報を聞き取ることができる。 ・互いのことをよく知るために, 誕生日や特別な日, 好きなものや欲しいものなどを伝え合うことができる。 (学・人) ・互いのことをよく知るために, 誕生日や特別な日, 好きなものや欲しいものなどを伝え合う態度を養う。	(知・技) ・My birthday [special day] is ～., When is your birthday [special day]?, It's ～., Do you like ～? 及びその関連語句(以下, 主な言語材料)などについて理解している。 ・誕生日や特別な日, 好きなものや欲しいものなど, 具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。 ・主な言語材料について理解している。 ・誕生日や特別な日, 好きなものや欲しいものなどについて, 主な言語材料を用いて伝え合う技能を身に付けている。 (思・判・表) ・相手のことをよく知るために, 誕生日や特別な日, 好きなものや欲しいものなど, 具体的な情報を聞き取っている。 ・互いのことをよく知るために, 誕生日や特別な日, 好きなものや欲しいものなどを伝え合っている。 (主学) ・互いのことをよく知るために, 誕生日や特別な日, 好きなものや欲しいものなどを伝え合おうとしている。	Lesson 2 「When is your special day?」 ・クラスのスペシャル・カレンダーを作ろう。	○Let's Play 1で「ポインティング・ゲーム」などを通して月の言い方に慣れる。 ○Let's Play 2で「ポインティング・ゲーム」を通して日にちの言い方(序数)に慣れる。 ○Let's Play 3で先生や友達を選んだカードの日づけを言う。 ○Let's Play 4で, 日づけを聞いて書き, その日に関連する祝日や行事を線で結ぶ。 ○Let's Play 5で, 日本の3つの記念日(イチゴの日, イヌの日, ネコの日)を予想して言う。 ○Let's Play 6で, 国際女性デー(3月8日), 世界食糧デー(10月16日), 国際水の日(3月22日)の日づけを英語で言う。
	9	(知及技) ・What do you have on ～?, I [We] have ～ on ～., Do you have ～ on ～?, I like ～., I want to be ～. 及びその関連語句(以下, 主な言語材料)などについて理解することができる。 ・好きな教科や将来の夢のための時間割などについて, 具体的な情報を聞き取ったり, 短い話を聞いて概要を捉えたりする技能を身に付けることができる。 ・主な言語材料について理解することができる。 ・将来の夢のための時間割について, 主な言語材料を用いて, 自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・相手のことを知るために, 好きな教科や将来の夢のための時間割などについて, 具体的な情報を聞き取ったり, 短い話を聞いて概要を捉えることができる。 ・自分のことをよく知ってもらうために, 将来の夢のための時間割について, 自分の考えや気持ちを含めて話すことができる。 (学・人) ・相手のことを知るために, 好きな教科や将来の夢のための時間割などについて, 具体的な情報を聞き取ったり, 短い話を聞いて概要を捉えようとするができる。 ・自分のことをよく知ってもらうために, 将来の夢のための時間割について, 自分の考えや気持ちを含めて話そうとすることができる。	(知・技) ・What do you have on ～?, I [We] have ～ on ～., Do you have ～ on ～?, I like ～., I want to be ～. 及びその関連語句(以下, 主な言語材料)などについて理解している。 ・好きな教科や将来の夢のための時間割などについて, 具体的な情報を聞き取ったり, 短い話を聞いて概要を捉えたりしている。 ・主な言語材料について理解している。 ・将来の夢のための時間割について, 主な言語材料を用いて, 自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。 (思・判・表) ・相手のことを知るために, 好きな教科や将来の夢のための時間割などについて, 具体的な情報を聞き取ったり, 短い話を聞いて概要を捉えたりしている。 ・自分のことをよく知ってもらうために, 将来の夢のための時間割について, 自分の考えや気持ちを含めて話している。 (主学) ・相手のことを知るために, 好きな教科や将来の夢のための時間割などについて, 具体的な情報を聞き取ったり, 短い話を聞いて概要を捉えようとしている。 ・自分のことをよく知ってもらうために, 将来の夢のための時間割について, 自分の考えや気持ちを含めて話そうとしている。	Lesson 3 「What do you have on Mondays?」 ・将来の夢をかなえるための時間割を作ろう。	・Let's Play 1 で, 「ポインティング・ゲーム」を通して教科の言い方に慣れる。 ・Let's Listen 1 で教科名を聞き取る。 ・Let's Play 2 で, 「ミッシング・ゲーム」を通して教科の言い方や好きな教科の言い方に慣れる。 ・Let's Listen 2 で, 登場人物の好きな教科について聞き取る。 ・Let's Play 3 で, Chant Box ㊟や「ステレオ・ゲーム」を通して好きな教科の言い方に慣れる。 ・Let's Play 4 で, 「ポインティング・ゲーム」を通して職業の言い方に慣れる。 ・Let's Play 5 1 で, 「インフォメーション・ギャップ・ゲーム」を通して時間割について, 尋ねたり答えたりする。 ・Let's Play 5 2 で, 「ジェスチャー・ゲーム」を通して職業の言い方に慣れる。

2 学 期	9	(知及技) ・できること, できないことに関する語句やI [You / He / She] can [can't] ～. , Can you ～ ? 及びその関連語句(以下, 主な言語材料)などについて理解することができる。 ・できること, できないことなどについて, 具体的な情報を聞き取ったり, 短い話を聞いて概要を捉えたりする技能を身に付けることができる。 ・自分や第三者のできること, できないことなどについて, 主な言語材料を用いて書く技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・相手のことをよく知るために, できること, できないことなどについて, 具体的な情報を聞き取ったり, 短い話を聞いて概要を捉えたりできる。 ・自分や第三者のことをよく知ってもらうために, 自分や第三者ができること, できないことなどについて, 自分の考えや気持ちなどを含めて話すことができる。 (学・人) ・自分や第三者のことをよく知ってもらうために, 自分や第三者ができること, できないことなどについて, 自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとすることができる。	(知・技) ・できること, できないことに関する語句やI [You / He / She] can [can't] ～. , Can you ～ ? 及びその関連語句(以下, 主な言語材料)などについて理解している。 ・できること, できないことなどについて, 具体的な情報を聞き取ったり, 短い話を聞いて概要を捉えたりする技能を身に付けている。 ・自分や第三者のできること, できないことなどについて, 主な言語材料を用いて書く技能を身に付けている。 (思・判・表) ・相手のことをよく知るために, できること, できないことなどについて, 具体的な情報を聞き取ったり, 短い話を聞いて概要を捉えたりしている。 ・自分や第三者のことをよく知ってもらうために, 自分や第三者ができること, できないことなどについて, 自分の考えや気持ちなどを含めて話している。 (主学) ・自分や第三者のことをよく知ってもらうために, 自分や第三者ができること, できないことなどについて, 自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。	Lesson 4 「I can draw pictures well.」 ・もつと自分を知ってもらおう。	・Let's Play 1 の「ボインディング・ゲーム」を通して動作の言い方に慣れる。 ・Let's Play 2 で「ビンゴ・ゲーム」を通して, 動作を表す言い方に慣れる。 ・Let's Play 3 で, できることについて尋ねる表現に慣れる。 ・Let's Play 4 で, 写真の人物ができること, できないことを言ってみる。 ・Let's Write 1 で, 自分のできることを1つ書く。 ・Let's Write 2 で, 自分のできないことを1つ書く。 ・Let's Write 3 で, 自分のできること, できないことを1つずつ書く。
	9	(知及技) ・〈知識〉Where is ～ ?, Go straight for ～ block(s)., Turn right [left]., You can see it on your right [left]., It's on [in / under / by] ～. , We have ～ in our town., What is your favorite place?, My favorite place is [It's] ～. 及びその関連語句(以下, 主な言語材料)などについて理解することができる。 ・地域のお気に入りの場所について, 道順など具体的な情報を聞き取る技能を身に付けることができる。 ・主な言語材料について理解することができる。 ・地域のお気に入りの場所について, 主な言語材料を用いて, 道順を伝え合う技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・相手のことをよく知るために, 地域のお気に入りの場所について, 道順など具体的な情報を聞き取ることができる。 ・互いのことをよく知るために, 地域のお気に入りの場所について, 道順やお気に入りの理由などを伝え合うことができる。 (学・人) ・相手のことをよく知るために, 地域のお気に入りの場所について, 道順など具体的な情報を聞き取ろうとすることができる。 - 互いのことをよく知るために, 地域のお気に入りの場所について, 道順やお気に入りの理由などを伝え合うことができる。	(知・技) ・〈知識〉Where is ～ ?, Go straight for ～ block(s)., Turn right [left]., You can see it on your right [left]., It's on [in / under / by] ～. , We have ～ in our town., What is your favorite place?, My favorite place is [It's] ～. 及びその関連語句(以下, 主な言語材料)などについて理解している。 ・地域のお気に入りの場所について, 道順など具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。 ・主な言語材料について理解している。 ・地域のお気に入りの場所について, 主な言語材料を用いて, 道順を伝え合う技能を身に付けている。 (思・判・表) ・相手のことをよく知るために, 地域のお気に入りの場所について, 道順など具体的な情報を聞き取っている。 ・互いのことをよく知るために, 地域のお気に入りの場所について, 道順やお気に入りの理由などを伝え合っている。 (主学) ・相手のことをよく知るために, 地域のお気に入りの場所について, 道順など具体的な情報を聞き取ろうとしている。 - 互いのことをよく知るために, 地域のお気に入りの場所について, 道順やお気に入りの理由などを伝え合おうとしている。	Lesson 5 「Where is the station?」 ・マイタウンを作って案内しよう。	・Let's Play 1 で, ビンゴ・ゲームを通して施設や建物の言い方に慣れる。 ・Let's Listen 1 で, 施設や建物を聞き取る。 ・Let's Play 2 で, 指示を聞いてものの位置を変える。 ・Let's Listen 2 で, ものの位置について聞き取る。 ・Let's Play 3 で, 地図記号で表された施設や建物がある場所について, 指導者の話を聞いたり, 指導者や友達とやり取りしたりする。 ・Let's Play 4 で, サイモン・セズ・ゲームを通して道案内の言い方に慣れる。 ・Let's Listen 3 で, 登場人物の道案内を聞く。 ・Let's Play 5 で, 道案内やそこでできることなどを聞いて, どの施設や建物について話しているかを考える。 ・Let's Listen 4 で, 登場人物によるお気に入りの場所への道案内を聞く。
	9	(知及技) ・What would you like?, I'd like ～., How much is it?, It's ～ yen., It's ～. 及びその関連語句(以下, 主な言語材料)などについて理解することができる。 ・料理やその値段, 味などについて, 具体的な情報を聞き取る技能を身に付けることができる。 ・主な言語材料について理解している。 ・料理やその値段, 味などについて, 主な言語材料を用いて, 丁寧な言い方で伝え合う技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・レストランなどで注文するという目的に応じて, 料理やその値段, 味などについて, 具体的な情報を聞き取ることができる。 ・レストランなどで注文するという目的に応じて, 料理やその値段, 味などについて, 丁寧な言い方で伝え合うことができる。 (学・人) ・レストランなどで注文するという目的に応じて, 料理やその値段, 味などについて, 具体的な情報を聞き取ることができる。 ・レストランなどで注文するという目的に応じて, 料理やその値段, 味などについて, 丁寧な言い方で伝え合うことができる。	(知・技) ・What would you like?, I'd like ～., How much is it?, It's ～ yen., It's ～. 及びその関連語句(以下, 主な言語材料)などについて理解している。 ・料理やその値段, 味などについて, 具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。 ・主な言語材料について理解している。 ・料理やその値段, 味などについて, 主な言語材料を用いて, 丁寧な言い方で伝え合う技能を身に付けている。 (思・判・表) ・レストランなどで注文するという目的に応じて, 料理やその値段, 味などについて, 具体的な情報を聞き取っている。 ・レストランなどで注文するという目的に応じて, 料理やその値段, 味などについて, 丁寧な言い方で伝え合っている。 (主学) ・レストランなどで注文するという目的に応じて, 料理やその値段, 味などについて, 具体的な情報を聞き取ろうとしている。 ・レストランなどで注文するという目的に応じて, 料理やその値段, 味などについて, 丁寧な言い方で伝え合おうとしている。	Lesson 6 「What would you like?」 ・ランチメニューを考えて注文しよう。	・Let's Play 1 で, 料理の言い方に慣れる。 ・Let's Listen 1 で, 登場人物の食べたいものを聞き取る。 ・Let's Try 1 で, 自分が食べたいものを言う。 ・Let's Play 2 で, 食べ物の味の言い方に慣れる。 ・Let's Listen 2 で, 登場人物が注文した食べ物を聞き取る。 ・Let's Try 2 で, 自分が注文したい食べ物を選んで言う。 ・Let's Play 3 で, 食べ物の言い方に慣れる。 ・Let's Play 4 で, 数や値段の言い方に慣れる。 ・Let's Listen 3 で, 料理の値段を聞き取る。 ・Let's Try 3 で, グループで料理の値段を尋ね合う。 ・Let's Listen 4 で, 登場人物の注文した料理とその理由を聞き取る。 ・Let's Listen 5 で, 料理の値段と, 登場人物が注文した料理について聞き取る。 ・Let's Try 4 で, 互いのことをよく知るために, 自分で決めたランチメニューのテーマに沿った料理を注文したり, それに答えたりして伝え合う。

	9	(知及技) ・My favorite place is ～., We have ～., We can enjoy ～., It's ～. 及びその関連語句(以下, 主な言語材料)などについて理解することができる。 ・自分たちが住む地域について書かれたものを読んで意味がわかるために必要な技能を身に付けることができる。 ・主な言語材料について理解することができる。 ・自分たちが住む地域について, 主な言語材料を用いて, 自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けることができる。 ・主な言語材料について理解することができる。 ・自分たちが住む地域について, 主な言語材料を用いて, 自分の考えや気持ちなどを含めて書く技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・自分たちが住む地域をよく知ってもらうために, おすすめの場所などについて自分の考えや気持ちなどを含めて話すことができる。 ・自分たちが住む地域をよく知ってもらうために, おすすめの場所などについて自分の考えや気持ちなどを含めて書くことができる。 (学・人) ・自分たちが住む地域をよく知ってもらうために, おすすめの場所などについて自分の考えや気持ちなどを含めて話すことができる。	(知・技) ・My favorite place is ～., We have ～., We can enjoy ～., It's ～. 及びその関連語句(以下, 主な言語材料)などについて理解している。 ・自分たちが住む地域について書かれたものを読んで意味がわかるために必要な技能を身に付けている。 ・主な言語材料について理解している。 ・自分たちが住む地域について, 主な言語材料を用いて, 自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。 ・主な言語材料について理解している。 ・自分たちが住む地域について, 主な言語材料を用いて, 自分の考えや気持ちなどを含めて書く技能を身に付けている。 (思・判・表) ・自分たちが住む地域をよく知ってもらうために, おすすめの場所などについて自分の考えや気持ちなどを含めて話している。 ・自分たちが住む地域をよく知ってもらうために, おすすめの場所などについて自分の考えや気持ちなどを含めて書いている。 (主学) ・自分たちが住む地域をよく知ってもらうために, おすすめの場所などについて自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。	Lesson 7 「I love my town.」 ・町のすてきなところをしようかいしよう。	・Let's Play 1 で, 「ポインティング・ゲーム」を通して, 地域にある施設や場所の表現に慣れ親しむ。 ・Let's Play 2 で, ジェスチャーでの伝え合いを通して, 状態や特徴を表す表現を理解する。 ・Let's Play 3 で, クイズを通して, 施設や様子を表す表現に慣れ親しむ。 ・Let's Write 1 で, 自分たちの町にあるすてきな施設や場所を書く。 ・Let's Play 4 で, 「ぴったりゲーム」を通して, 場所や施設やその様子についての表現に慣れ親しむ。 ・Let's Listen 3 で, ベンの町紹介から, 町にある施設や様子を聞き取る。 ・Let's Play 5 で, 「観光案内ゲーム」を通して自分の住んでいる地域を紹介する。 ・Let's Write 2 で, 自分たちの町でできることを書く。
3 学 期	9	(知及技) ・Who is your hero?, My hero is ～., He [She] is ～., He [She] is good at ～., He [She] is ～. 及びその関連語句(以下, 主な言語材料)などについて理解することができる。 ・憧れる人や尊敬する人が得意なことやできること, 人柄などについて, 短い話を聞いて概要を捉える技能を身に付けることができる。 ・主な言語材料について理解することができる。 ・憧れる人や尊敬する人が得意なことやできることなどについて, 主な言語材料を用いて, 自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けることができる。 ・主な言語材料について理解することができる。 ・憧れる人や尊敬する人について, 主な言語材料を用いて, 自分の考えや気持ちなどを含めて書く技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・自分たちが住む地域をよく知ってもらうために, おすすめの場所などについて自分の考えや気持ちなどを含めて話すことができる。 ・自分たちが住む地域をよく知ってもらうために, おすすめの場所などについて自分の考えや気持ちなどを含めて書くことができる。 (学・人) ・自分たちが住む地域をよく知ってもらうために, おすすめの場所などについて自分の考えや気持ちなどを含めて話すことができる。	(知・技) ・Who is your hero?, My hero is ～., He [She] is ～., He [She] is good at ～., He [She] is ～. 及びその関連語句(以下, 主な言語材料)などについて理解している。 ・憧れる人や尊敬する人が得意なことやできること, 人柄などについて, 短い話を聞いて概要を捉える技能を身に付けている。 ・主な言語材料について理解している。 ・憧れる人や尊敬する人が得意なことやできることなどについて, 主な言語材料を用いて, 自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。 ・主な言語材料について理解している。 ・憧れる人や尊敬する人について, 主な言語材料を用いて, 自分の考えや気持ちなどを含めて書く技能を身に付けている。 (思・判・表) ・自分たちが住む地域をよく知ってもらうために, おすすめの場所などについて自分の考えや気持ちなどを含めて話している。 ・自分たちが住む地域をよく知ってもらうために, おすすめの場所などについて自分の考えや気持ちなどを含めて書こうとしている。 (主学) ・自分たちが住む地域をよく知ってもらうために, おすすめの場所などについて自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。	Lesson 8 「My Hero」 ・クラスのみんなの「ヒーロー図かん」を作ろう。	・Let's Play 1 で, 様々な動作の言い方に慣れる。 ・Let's Play 2 で, ある動作が得意かどうかを表す表現に慣れる。 ・Let's Play 3 で, 身近な人や職業などの言い方や, heやsheを使って得意なことを表す表現に慣れる。 ・Let's Write 1 で, 自分のヒーローとその人ができることや得意なことを書く。 ・Let's Play 4 で, 人柄を表す表現に慣れる。 ・Let's Write 2 で自分たちの町でできることを書く。 ・Let's Write 3 で, 「ヒーロー図鑑」を作るために, 自分のヒーローについて書く。
留意点 引継ぎ等					

tokushi2715

令和7年度 小学部5年（I 課程） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
35	音楽のおくりもの5（教育出版）	音楽担当1名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱，器楽，音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや，曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 (主・学) 主体的に音楽に関わり，協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら，様々な音楽に親しむとともに，音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	3	(知及技) ・曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・音色、フレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。 (学・人) ・歌声を合わせて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱に親しむ態度を養う。	(知・技) ・曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりについて理解している。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けている。 (思・判・表) ・音色、フレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 (主学) ・歌声を合わせて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	「花のおくりもの」	・美しい響きの声で斉唱する。 ・フレーズのまとまりを意識し、呼吸の仕方を工夫して歌う。 ・全体の響きや伴奏を聴きながら輪唱する。 ・速度記号を理解し、みんなで速さや声の出し方を揃えて輪唱を楽しむ。
	5	(知及技) ・曲想と強弱など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、拍に合わせ全体の響きを聴いて演奏する技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・リズムや強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつことができる。 (学・人) ・強弱を意識して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、手拍子によるリズムアンサンブルに親しむ。	(知・技) ・曲想と強弱など音楽の構造との関わりについて理解している。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な、拍に合わせ全体の響きを聴いて演奏する技能を身に付けている。 (思・判・表) ・リズムや強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 (主学) ・強弱を意識して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている	「クラップ フレンズ」	・みんなで合わせる楽しさを感じ取りながら、拍に合わせてリズム打ちをする。 ・例として示された強弱記号に合わせてハンドクラップをし、強弱の働きが生み出す面白さを感じ取る。 ・一人一人のクラップの仕方を変える、全体の人数を変えるなど、強弱を表現する方法を試し、音色の響きを感じる。 ・例を参考にして、一人またはグループで強弱の付け方を変えて、表現を工夫する。 ・強弱によって曲想が変わる面白さを感じ取りながら、互いの表現を発表し合う。
	5	(知及技) ・曲想と音の重なりや和音の響きなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。 (思判表力) ・音の重なりや和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (学・人) ・和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ハ長調の主要三和音に親しむ態度を養う。	(知・技) ・曲想と音の重なりや和音の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。 (思・判・表) ・音の重なりや和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 (主学) 和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	和音や低音のはたらき 「茶色の小びん」 「和音のはたらきを感じ取ろう」 「こきょうの人々」	・「茶色の小びん」の主旋律と低音を合わせて演奏する。 ・ハ長調の音階、和音について知り、「茶色の小びん」を和音を感じながら演奏する。 ・「こきょうの人々」を旋律と和音、旋律と低音、旋律と和音と低音、それぞれの組み合わせで演奏して比べ、気付いたことを話し合う。 ・「こきょうの人々」を、グループで演奏の工夫をする。

2 学 期	5	(知及技) ・和音と旋律の関わり、旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・旋律や和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつことができる。 (学・人) ・和音と旋律との関わりや、和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、ハ長調の主要三和音に親しむ態度を養う。	(知・技) ・和音と旋律との関わり、旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解している。 (思・判・表) ・旋律や和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 (主学) 和音と旋律との関わりや、和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	「和音に合わせてせんりつをつくろう」	・Ⅰ→Ⅳ→Ⅴ→Ⅰの和音の響きや移り変わり、旋律をつくる時のルール(条件)を確かめる。 ・どのような旋律にしたいのかを考えながら、4小節程度の旋律をつくる。 ・全体のまとまりを意識して、8小節程度の旋律をつくる。
	4	(知及技) ・曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解できる。 (思判表力) ・音色、音の重なり、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴くことができる。 (学・人) ・楽器群の響きや作品の背景に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、オーケストラの音楽に親しむ態度を養う。	(知・技) ・曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。 (思・判・表) 音色、音の重なり、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。 (主学) 楽器群の響きや作品の背景に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	アンサンブルのみりよく組曲「カレリア」から「行進曲風」に」	・オーケストラの楽器の名前や、楽器群について知り、組曲「カレリア」から「行進曲風」に」を、オーケストラの響きを楽しんで聴く。 ・旋律の反復と変化に気付き、楽器群の音色を捉えて聴く。 ・曲の構造や旋律を演奏する主な楽器の変化を捉え、曲全体を聴く。
	3	(知及技) ・多様な声の響きやそれらの組合せの特徴について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・音色、音の重なり、強弱などを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつことができる。 (学・人) ・詩をもとにしていろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、音楽に対する感性を育む。	(知・技) ・多様な声の響きやそれらの組合せの特徴について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解している。 (思・判・表) ・音色、音の重なり、強弱などを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりしている。 (主学) ・詩をもとにしていろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	いろいろな声で音楽をつくらう	・黒板にいろいろな線を描き、見ながら合わせて様々な声を出す。様々な高さ、長さ、強さの声が出ることに気付くようにする。 ・詩「ゆき」を音読し、作品のイメージをもつ。 ・ペアで、「しん」という言葉をつかって、いろいろな声の表情(音色)で即興的に呼びかけ合い、発表する。 ・グループで、「しん」という言葉をつかって、いろいろな声の表情(音色)で音楽づくりをする。
3	5	(知及技) ・曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見だして聴いたりすることができる。 (学・人) 我が国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、多様な音楽やその表現に親しむ態度を養う。	(知・技) ・曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。 (思・判・表) ・旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見だして聴いたりしている。 (主学) ・我が国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	「子もり歌」(共通教材) 「会津磐梯山」 「音戸の舟歌」 「こきりこ節」 「谷茶前」	・日本の子もり歌の節回しや旋律の特徴を生かし、表情豊かに歌う。 ・民謡を歌う声の出し方や節回し、拍に注目して、「会津磐梯山」と「音戸の舟歌」、身の回りの声の表現を聴く。 ・日本の民謡を、声の出し方や節回しの面白さなど、よさや特徴を感じ取りながら聴く。 ・「こきりこ節」を、声の出し方や旋律の動き、呼吸や発音に気を付けて歌う。 ・「こきりこ節」を楽器の伴奏を加えて歌う。 ・「谷茶前」の演奏を聴き、曲想に合った表現の仕方を工夫して歌ったり、沖縄の音階やリズムの特徴を生かした音楽をつくったりする。

3 学期	5	(知・技) ・反復するリズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・リズムや、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつことができる。 (学・人) リズムのずれの面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、インターロッキングの音楽に親しむ態度を養う。	(知・技) ・反復するリズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて理解している。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けている。 (思・判・表) ・リズムや、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 (主学) ・リズムのずれの面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	「クラッピングミュージック」	・「クラッピング ミュージック」を聴き、この音楽の仕組みについて知る。 ・〈レッツゴーのリズム〉をずらして遊んだり、自分たちでずれの音楽をつくったりする。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部5年（I 課程） 図画工作科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
70	図画工作5・6上下(日本文教出版)	図画工作担当1名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうことができるようにする。 (思判表力) 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高める。 (主・学) 親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取るとともに、それらを大切にする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技) ・美術作品を見て自分なりに意味や価値を見いだしたり、友人の感じ方に触れて考えを深めたりするときの感覚や行為を通して、動き、バランス、材質感などを理解する。 (思判表力) ・抽象的な美術作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 ・動き、バランス、材質感などを基に、自分のイメージをもつ。 (学・人) 主体的に抽象的な美術作品を鑑賞し、友人と話をしてみ見方や感じ方を深める活動に取り組む、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技) 美術作品を見て自分なりに意味や価値を見いだしたり、友人の感じ方に触れて考えを深めたりするときの感覚や行為を通して、動き、バランス、材質感などを理解している。 (思・判・表) 動き、バランス、材質感などを基に、自分のイメージをもちながら、抽象的な美術作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。 (主学) つくりだす喜びを味わい主体的に抽象的な美術作品を鑑賞し、友人と話をしてみ見方や感じ方を深める学習活動に取り組もうとしている。	「感じたことを伝え合う」	・教科書の二つの美術作品を見て、感じたこと基に作品に名前を付ける。 ・考えた名前や名前を付けた根拠を友人と伝え合い、感じ方の違いやよさを味わう。 ・改めて作品を見たり、友人の意見も考え合わせたりしながら、再度名前を考える。
	10	(知及技) ・思いのままにかいた形や色からいろいろな気持ちを見付け心を表すときの感覚や行為を通して、動き、バランス、色の鮮やかさなどを理解する。 ・表現方法に応じて水彩絵の具などを活用するとともに、前学年までのクレヨン・パス、コンテ・パステルなどの経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。 (思判表力) ・思いのままにかきながら感じたことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。 ・動き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもつ。 (学・人) 主体的に思いのままにかいた形や色から、いろいろな気持ちを見付け心を表す活動に取り組む、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技) ・思いのままにかいた形や色からいろいろな気持ちを見付け心を表すときの感覚や行為を通して、動き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。 ・表現方法に応じて水彩絵の具などを活用するとともに、前学年までのクレヨン・パス、コンテ・パステルなどの経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 (思・判・表) ・動き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、思いのままにかきながら感じたことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。 (主学) ・つくりだす喜びを味わい主体的に思いのままにかいた形や色から、いろいろな気持ちを見付け心を表す学習活動に取り組もうとしている。	「心のもよう」	・いろいろな描画材を使いながら、思いのままにかき、できた形や色からイメージする「気持ち」を考える。 ・かいたものを使ってアートゲームなどをして感じ方の違いを楽しむ。 ・かいたものを並べたり形を変えたりかき加えたりして「心」を表す。 ・互いの作品を見合うなどして、よさや美しさを感じ取る。
	10	(知及技) ・知コマ撮りアニメーションの仕組みを使って、いろいろな動きを表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランスなどを理解する。 ・表現方法に応じてタブレット端末を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。 (思判表力) ・材料などを動かして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。 ・自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 ・動き、奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもつ。 (学・人) ・主体的にコマ撮りアニメーションの仕組みを使って表す活動に取り組む、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技) ・コマ撮りアニメーションの仕組みを使って、いろいろな動きを表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランスなどを理解している。 ・表現方法に応じてタブレット端末を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 (思・判・表) ・動き、奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、材料などを動かして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。 ・動き、奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。 (主学) ・つくりだす喜びを味わい主体的にコマ撮りアニメーションの仕組みを使って表す学習活動に取り組もうとしている。	「形に命をふきこんで」	・コマ撮りアニメーションの仕組みを知る。 ・撮影によってどのような動きに見えるか試してみる。 ・動きを表す言葉を考えて、その動きに見えるように撮影してみる。 ・表したことを基にテーマを考えるなどしてさらに表現を深める。 ・適宜友人と見合いながら、よさや工夫を感じ取る。

	10	(知及技) ・身の回りの場所や空間の特徴を生かして、面白く見えるようにつくりかえるときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランスなどを理解する。 ・活動に応じて身近材などを活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法を組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくる。 (思判表力) ・身の回りの場所や空間の特徴を基に造形的な活動を思い付き、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考える。 ・自分たちのつくりかえた場所や空間の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、つくり方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 ・動き、奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもつ。 (学・人) 主体的に身の回りの場所や空間の特徴を生かして、面白く見えるようにつくりかえる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技) ・身の回りの場所や空間の特徴を生かして、面白く見えるようにつくりかえるときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランスなどを理解している。 ・活動に応じて身近材などを活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法を組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくっている。 (思・判・表) ・動き、奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、身の回りの場所や空間の特徴を基に、造形的な活動を思い付き、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えている。 ・動き、奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちのつくりかえた場所や空間の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、つくり方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。 (主学) つくりだす喜びを味わい主体的に身の回りの場所や空間の特徴を生かして、面白く見えるようにつくりかえる学習活動に取り組みもうとしている。	「あんなところがこんなところに」	・形や色、あるものなどを確かめながら、いろいろな場所を見て回る。 ・気に入った場所を、場所の形や色などの特徴、あるものなどを生かしながら、材料や用具を工夫して使いつくりかえる。 ・友人と互いがつくりかえた場所を見て回り、よさを伝え合う。
	10	(知及技) ・知詩や物語などに触れて、想像したことを表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどが分かる。 ・技表現方法に応じて水彩絵の具を活用するとともに、前学年までの描画材などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すことができる。 (思判表力) ・詩や物語などから感じたことや想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。 ・鑑自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 ・動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもつ。 (学・人) ・主体的に詩や物語などに触れて感じたことを絵に表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。	(知・技) ・詩や物語などに触れて、想像したことを表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。 ・表現方法に応じて水彩絵の具を活用するとともに、前学年までの描画材などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 (思・判・表) ・表現方法に応じて水彩絵の具を活用するとともに、前学年までの描画材などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 ・動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。 (主学) ・つくりだす喜びを味わい主体的に詩や物語などに触れて感じたことを絵に表す学習活動に取り組みもうとしている。	「言葉から思いを広げて」	・詩や物語、随筆などを読んで、感じたことや思い浮かべたことを小さな紙に簡単にかく。 ・かいたことや読んで感じたことを基に表したいことや表し方を考えて表す。 ・友人と互いの作品を紹介し合い、どのようなことを表したのかを伝え合う。
	10	(知及技) ・画面をコンテで塗り込めたり、消しゴムで消したりするときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランスなどを理解する。 ・表現方法に応じてコンテや消しゴムを活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。 (思判表力) ・画面を塗り込めたり消したりして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。 ・自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 ・動き、奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもつ。 (学・人) ・主体的にコンテで塗り込めた画面を消しゴムで消しながら、思い付いたことを表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技) ・画面をコンテで塗り込めたり、消しゴムで消したりするときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランスなどを理解している。 ・表現方法に応じてコンテや消しゴムを活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 (思・判・表) ・動き、奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、画面を塗り込めたり消したりして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。 ・動き、奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。 (主学) ・つくりだす喜びを味わい主体的にコンテで塗り込めた画面を消しゴムで消しながら、思い付いたことを表す学習活動に取り組みもうとしている。	「消してかく」	・体全体でコンテで画用紙を塗り込めて、何もない画面をつくる。 ・消しゴムで消して生まれた形から、表したいことを見付ける。 ・消した形を生かしながら、工夫して表す。 ・作品の題名を考える。 ・友人と互いの作品を見合いながら、よさや美しさを感じ取る。

3 学期	10	(知及技) ・プログラミングを使って見る人を楽しませるものをつくるときの感覚や行為を通して、動き、バランス、色の鮮やかさなどを理解する。 ・技表現方法に応じてプログラミングを活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。 (思判表力) ・プログラミングを使って見る人が楽しむことを想像したこと、伝え合いたいことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すのかについて考える。 ・自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 ・動き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもつ。 (学・人) ・主体的にプログラミングを使って見る人を楽しませるものをつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技) ・プログラミングを使って見る人を楽しませるものをつくるときの感覚や行為を通して、動き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。 ・表現方法に応じてプログラミングを活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 (思・判・表) ・動き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、プログラミングを使って見る人が楽しむことを想像したこと、伝え合いたいことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すのかについて考えている。 ・動き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。 (主学) ・つくりだす喜びを味わい、主体的にプログラミングを使って見る人を楽しませるものをつくる学習活動に取り組もうとしている。	「プログラミングで表そう」	・プログラミングを使って映像をつくることを知る。 ・プログラミングを試しながら表したいことを考える。 ・表したいことを表すための手順を考える。 ・調整しながら表し方を工夫して表す。 ・実際に見合うなどして、作品のよさや美しさを味わう。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部5年（I 課程） 体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
35	新 小学校 保健5・6年(大修館書店)	体育担当1名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方及び心の健康やけがの防止，病気の予防について理解するとともに，各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け，その解決のための方法や活動を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (主・学) 各種の運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に留意したりし，自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また，健康・安全の大切さに気付き，自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技) ・心の発達，心と体との密接な関係，不安や悩みへの対処について理解することができるようにするとともに，不安や悩みへの対処についての技能を身に付けることができるようにする。 (思判表力) ・心の健康について，課題を見つけ，その解決に向けて思考し判断するとともに，それらを表現することができるようにする。 (学・人) ・心の健康について，健康や安全の大切さに気づき，自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組むことができるようにする。	(知・技) ・心は人との関わり，自然とのふれあいなど様々な生活経験や学習を通して年齢に伴って発達するが，発達の仕方には個人差があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・心と体は深く影響し合っていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・不安や悩みへの対処としての呼吸法や体ほぐしの運動について理解したことを言ったり書いたりしているとともに，呼吸法や体ほぐしの運動を行うことができる。 ・不安や悩みは誰もが経験することであり，そうした場合には，信頼できる人に相談したり，気分を変えたりすることなど様々な方法があり，自分に合った適切な方法で対処できることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 (思・判・表) ・自己の経験と学習したことを関連付けて，よりよく心を発達させる適切な方法や心と体の関わりについて考え，考えたことを説明している。 ・呼吸法や体ほぐしの運動を行い，行い方のポイントや気分の変化などについて気づいたことをワークシートに書いたり，不安や悩みに対する様々な方法を考え，学習したことを活用して，適切な方法を選んだりしている。 (主学) ・心の健康について，課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習，教科書や資料を調べたり，自分の生活を振り返ったりするなどの学習に進んで取り組もうとしている。	「心の健康」	【1.心の発達】 ・1年生と5年生のころで，うれしいことや悲しいことがあったときの様子を比べる。 【2.心と体の関わり】 ・教科書の例示を見て，似たような経験をしたことがあるか考える。 【3.不安やなやみへの対処① 呼吸法・体ほぐしの運動】 ・教科書の例示を見て，自分ならどうしているか思い出してみる。 【4.不安やなやみへの対処② さまざまな対処の方法】 教科書の例示を見て，自分ならどうするか考える。
	10	(知及技) ・基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きによって，易しいゲームをすることができるようにする。 (思判表力) ・規則を工夫したり，ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 (学・人) ・運動に進んで取り組み，規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気を付けたりする態度を養う。	(知・技) ・基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きによって，易しいゲームをしようとしている。 (思・判・表) ・規則を工夫したり，ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに，考えたことを友達に伝えようとしている。 (主学) ・運動に進んで取り組み，規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。	「ボール運動」 ・バスケットボール	・パスの練習をする。 ・シュートの練習をする。 ・チームごとに勝つ方法について話し合う。 ・ゲームをする。

2 学 期	4	(知及技) ・交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがとその防止, けがの手当について, 理解することができるようにするとともに, けがの簡単な手当についての技能を身に付けることができるようにする。 (思判表力) ・けがの防止について, 課題を見つけ, その解決に向けて思考し判断するとともに, それらを表現することができるようにする。 (学・人) ・けがの防止について, 健康や安全の大切さに気づき, 自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組むことができるようにする。	(知・技) ・事故やけがの多くは, 人の行動と周りの環境が原因で起こること。また, 人の行動は, そのときの心や体の状態と関係していることについて, 理解したことを言ったり書いたりしている。 ・交通事故を防止するには, 周囲の状況をよく見極め, 危険に早く気づいて, 的確な判断の下に安全に行動すること。また, 安全施設の整備や適切な規制が行われていることについて, 理解したことを言ったり書いたりしている。 ・学校や地域でのけが, 犯罪被害を防止するには周囲の状況をよく見極め, 危険を予測し, 安全に行動することが必要であること。また, 環境を安全に整えることが必要であることについて, 理解したことを言ったり書いたりしている。 (思・判・表) ・事故にあいそうになったり, けがをしそうになったりした経験を思い出し, 危険の予測や回避の方法を考えたり, 選んだりするとともに, 通学路などでの交通事故を防止するための具体的な方法を考え, 考えたことを友達と伝え合ったりしている。 ・学校や地域でのけがの防止や犯罪被害を防止するための課題を見つけ, 考えた解決方法を友達と伝え合ったりするとともに, 自分がけがをした経験を振り返り, 学習したことを参考にして, けがの種類に応じた手当の仕方を選んだりしてしる。 (主学) ・健康や安全の大切さに気づき, けがの防止についての学習に進んで取り組もうとしている。	「病気の予防」	【1.事故やけがの起こり方】 ・学校や地域のイラストの中の危険な場面を○で囲んで, どのような事故やけがが起こりそうか, 危険を予測する。 ・教科書の例示の場面での危険を予測して, けがの原因を人の行動と環境に分けて考える。 ・事故にあいそうになったり, けがをしそうになったりした経験をあげ, どのようにすればよかったのかワークシートなどに記入する。 【2.交通事故の防止】 ・教科書の例示の場面での危険の予測をして, どのような行動をとるのがよいかを考える。 ・通学路や家の近くで, 気を付けたいと思う場所と, そこでの安全な行動の仕方をワークシートなどに記入する。 【3.学校や地域でのけがの防止】 ・教科書の例示の場面での危険の予測をする。 ・犯罪被害にあいやすい場所を調べる。 ・2つの公園で, どちらが犯罪被害にあいやすいかを選び, 選んだ理由を考える。 ・犯罪被害から身を守る方法の中で, 自分が最も効果があると思う行動を2つ書く。
	10	(知及技) ・体のバランスをとる動き, 体を移動する動き, 用具を操作する動き, 力試しの動きをし, それらを組み合わせることができるようにする。 (思判表力) ・自己の課題を見付け, その解決のための活動を工夫するとともに考えたことを友達に伝えることができるようにする。 (学・人) ・運動に進んで取り組み, きまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり, 友達の考えを認めたり, 場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	(知・技) ・体のバランスをとる動き, 体を移動する動き, 用具を操作する動きなど色々な動きを試しながら体の調整を取ろうとしている。 (思・判・表) ・自己の課題を見付け, その解決のための活動を工夫するとともに, 考えたことを友達に伝えようとしている。 (主学) ・運動に進んで取り組み, きまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり, 友達の考えを認めたり, 場や用具の安全に気を付けたりしている。	「体づくり運動」 ・ダンス ・体操 ・粗大運動 ・バランスを取る動き ・バランスを取りながら速さを調整する動き	・準備体操やダンスをする。 ・ボールプールやトランポリン, プランコをして身体を動かす。 ・バランスを取りながら体や車椅子を操作する。 ・振り返りをする。
3 学 期	7	(知及技) ・表現やリズムダンスの楽しさや喜びに触れ, その行い方を知るとともに, 表したい感じを表現したりリズムに乗ったりして踊ることができるようにする。 (思判表力) ・自己の能力に適した課題を見付け, 題材やリズムの特徴を捉えた踊り方を工夫するとともに, 考えたことを友達に伝えることができるようにする。 (学・人) - 運動に進んで取り組み, 誰とでも仲良く踊ったり, 友達の動きや考えを認めたり, 場の安全に気を付けたりすることができるようにする。	(知・技) ・表現やリズムダンスの楽しさや喜びに触れ, その行い方を知るとともに, 表したい感じを表現したりリズムに乗ったりして踊ろうとしている。 (思・判・表) ・自己の能力に適した課題を見付け, 題材やリズムの特徴を捉えた踊り方を工夫するとともに, 考えたことを友達に伝えようとしている。 (主学) - 運動に進んで取り組み, 誰とでも仲良く踊ったり, 友達の動きや考えを認めたり, 場の安全に気を付けたりしようとしている。	「のびのびおどろう！」	・準備運動をする。 ・教師の話を聞いたり模範のダンスを見たりして曲に合わせてダンスをする。 ・ダンスを発表したり友達のダンスを見たりする。 ・振り返りをする。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部5年(Ⅰ課程)家庭科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
35	「新編 新しい家庭 5・6」(東京書籍)	家庭科担当1名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 (学・人) 家庭生活を大切にすることの心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	1	(知及技) ・家庭科の目標や内容並びに家庭科の見方・考え方(家庭科の窓)や学び方を知り、これまでの自分の成長した点やそれを支えてきた家庭生活や家族の大切さに気付くことができる。 (思判表力) ・この単元では、評価しない。 (学・人) ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、2学年間の学習に見通しをもち、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする態度を養う。	(知・技) ・家庭科の目標や内容並びに家庭科の見方・考え方(家庭科の窓)や学び方を知り、これまでの自分の成長した点やそれを支えてきた家庭生活や家族の大切さに気付いている。 (思・判・表) この単元では、評価しない。 (主学) ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、2学年間の学習に見通しをもち、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	「ガイダンス」 ・自分の成長をみつめよう ・2年間の学習を見通して、知りたいことやできるように鳴りたいことを話合ってみよう	・自分の1日の生活を見つめ、家族の存在や家族が協力して家庭の仕事を担って支え合っていることに気付く。 ・家庭の仕事分担について問題を見いだして、課題を設定する。
	2	(知及技) ・家庭には、家庭生活を支える仕事があり、互いに協力し分担する必要性を理解することができる。 (思判表力) ・家庭の仕事について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けることできる。 (学・人) ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする態度を養う。	(知・技) ・家庭には、家庭生活を支える仕事があり、互いに協力し分担する必要があることを理解している。 (思・判・表) ・家庭の仕事について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主学) ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	「私の生活、大発見！」 ・どのような生活をしているのかな ・自分にできそうな家庭の仕事を見つけよう ・できることを増やしていこう	・家庭科室の正しい使い方や、安全面の注意点を理解する。 ・家庭の仕事の道具の一つであるガスこんろの正しい使い方を知り、お茶をいれる。 ・協力してお茶をいれ、後片づけをする。 ・家族の一員として自分にできることを見つけて実践の計画を立てる。友達と交流して、見通しをもったよりよい実践計画に改善する。
	5	(知・技) ・手ぬいによる目的に応じたぬい方及び用具の安全な取り扱い、製作計画や手ぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切できる。 (思・判・表) ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けることできる。 (主学) ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた手ぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようする態度を養う。	(知・技) ・手ぬいによる目的に応じたぬい方及び用具の安全な取り扱い、製作計画や手ぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切に行おうとしている。 (思・判・表) ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主学) ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた手ぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	「ひと針に心をこめて」 ・針と糸を使ってできること ・手ぬいにトライ！ ・手ぬいのよさを生活に生かそう	・針と糸を使ってできることを自分の家庭生活とも関連付けながら見つけて話し合う。 ・糸と針を使って何ができるか、どのように手縫いで製作するかなど問題を見だし、課題を設定する。 ・裁縫用具の名前や安全な扱い方を考える。 ・玉結び・玉どめ・ボタン付け・なみぬい・返しぬい・かがりぬいについて、各技能を理解する。 ・目的に応じたぬい方を考える。 ・小物製作について、手順を考えながら計画を立てる。 ・小物を製作する。 ・ステップ1、2の学習をふり返り、交流する。 ・今後、自分の生活に生かせそうなことを考える。

2 学 期	5	(知及技) ・物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 (思判表力) ・物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。 (学・人) ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする態度を養う。	(知・技) ・物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理を適切にしようとしている。 (思・判・表) ・物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主学) ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	「持続可能な社会へ 者や お金の使い方」 ・よりよく選ぶために考えよう ・買い物について考えよう ・持続可能な社会をつくろう	・教 p.36導入イラストを参考に、私たちはどのように物と関わって生活しているのかを考える。 ・消費者の役割について考える。 ・どのような方法で必要なものを手に入れるのかについて考え、消費行動の問題を見いだし、課題を設定する。 ・買い物の中で契約が成立する場面を考える。 ・買い物の方法や支払いの方法を考える。 ・買い物をするとき、何をどのように選ぶか、買い方の手順を考える。 ・買い物の場面を想定して、情報を集め、整理し、何を選ぶかを決める。 ・消費者として持続可能な生活について、買い物と環境との関わりを知る。 ・自分らしい持続可能な生活の工夫を、カードなどにまとめて発表したり、発信したりする。
	5	(知及技) ・食事の役割と栄養について理解しているとともに、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について理解し、適切にできる。 (思判表力) ・食事の役割と栄養、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について問題を見いだし課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。 (学・人) ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割や調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする態度を養う。	(知・技) ・食事の役割と栄養について理解しているとともに、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について理解し、適切に行おうとしている。 (思・判・表) ・食事の役割と栄養、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について問題を見いだし課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主学) ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割や調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	「食べて元気！ご飯とみそ知る」 ・毎日の食事をみつめよう ・ご飯とみそ汁を調理して、食事について考えよう ・食生活を工夫しよう	・教 p.44の写真の料理にはどのような食品が使われているのかを考え、何のためにいろいろな食品を組み合わせる食べているのかを話し合う。また、ご飯とみそ汁の作り方や食事の必要性について、これから学んでいくことを知り、課題を設定するとともに学習の見通しを立てる。 ・米やみそについて知り、ご飯のたき方を調べる。 ・ご飯をたきながら、たかれている様子を観察する。 ・だしについて知り、みそ汁の作り方を調べる。 ・計画に沿って、みそ汁を調理する。 ・栄養素の種類と働きについて知る。 ・調理実習をふり返り、ご飯とみそ汁をおいしく作るためのポイントを話し合う。 ・学んだことを生かして、「わが家のとっておきのみそ汁」を考える。
	5	(知及技) ・住まいの整理・整とんや清掃の必要性や仕方について理解しているとともに、適切にできる。 (思判表力) ・住まいの整理・整とんや清掃の仕方や環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。 (学・人) ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする態度を養う。	(知・技) ・住まいの整理・整とんや清掃の必要性や仕方について理解しているとともに、適切に行おうとしている。 (思・判・表) ・住まいの整理・整とんや清掃の仕方や環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主学) ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	「物を生かして住みやすく」 ・身の回りや生活の場を見つめよう ・身の回りをきれいにしよう ・物を生かして快適に生活しよう	・扉の写真を見て、思ったことを話し合う。また、困ることは何か、どう改善したらよいかを話し合い、整理・整とんや清掃に係る課題を設定する。 ・手順に沿って道具箱の整理・整とんをし、工夫したことを話し合う。 ・学校内の汚れを調べて記録する。 ・その記録を基に毎日のそうじの問題点や改善点を話し合う。 ・調べたことをもとに手順に沿って、教室や家庭科室を掃除する。 ・自分の地域ごみの出し方の決まりを調べてまとめる。 ・学習したことを下級生に伝え、学校や家庭、地域で活用する計画を立てる。
	5	(知及技) ・家族とのふれ合いや団らんの大切さについて理解することができる。 (思判表力) ・家族とのよりよい関わりについて問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。 (学・人) ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする態度を養う。	(知・技) ・家族とのふれ合いや団らんの大切さについて理解している。 (思・判・表) ・家族とのよりよい関わりについて問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主学) ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	「気持ちがつながる家族の時間」 ・家族とふれ合う時間を見つけよう ・わが家流団らんタイムを計画しよう ・団らんを生活の中に生かそう	・教 p.62の4つのイラストに描かれた家族のふれ合いや団らんの様子を見ながら、団らんのよさを見つける。また、自分の家庭をふり返り、問題を見つけて課題を設定する。 ・「わが家流団らんタイム」の計画を考え、実践する。 ・友達の工夫やアドバイスを参考にして、さらに豊かな家庭生活にするために、家族とのつながりを深める工夫をする。

	1	(知及技) ・この単元では、評価しない。 (思判表力) ・家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。 (学・人) ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、家庭や地域などで実践しようとする態度を養う。	(知・技) ・この単元では、評価しない。 (思・判・表) ・家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主学) ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、家庭や地域などで実践しようとしている。	「生活を変えるチャンス！①」 ※この A(4)アの内容は、2学年間で一つ又は二つの課題を設定して履修させるものです。各学校の指導計画に沿って、どの時期に実施するか決定の上、進めてください。	・成長の記録を見て、これまでに学習したことをふり返り、家庭の仕事や家族の人々との関わりについて自分の生活を見直す。 ・成長の記録を見て、もっとよくしたい点、挑戦したいことなど、生活の問題を見つける。 ・家庭科の窓を参考にどうすれば生活の問題をよりよく工夫できるか考え、課題を設定する。 ・課題を解決するための家庭実践の計画を立てる。(実践レポートの目的、方法、手順、実践の時期、必要な材料や道具など) ・友達や家族など周りの人の意見を参考に計画を工夫する。 ・計画に沿って、実践する。 ・実践したことについて、家族など周りの人から感想を聞く。 ・できたこと、できなかったこと、さらに工夫したいことなどを実践レポートにまとめておく。 ・実践レポートをもとに、相手に伝わるように工夫してまとめる。 ・自分の実践を発表する。 ・発表した内容について友達と意見を交流し、実践のよさや課題、友達の発表のよさをメモする。 ・友達や家族など周りの人の感想を参考にして、自分の実践を評価し、よさと改善点を考える。
3 学 期	6	(知及技) ・ミシンぬいによる目的に応じたぬい方及び用具の安全な取り扱い、製作計画やミシンぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 (思判表力) ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。 (学・人) ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする態度を養う。	(知・技) ・ミシンぬいによる目的に応じたぬい方及び用具の安全な取り扱い、製作計画やミシンぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切に行おうとしている。 (思・判・表) ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主学) ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	「ミシンにトライ！手作りで楽しい生活」 ・ミシンぬいのよさを見つけよう ・ミシンにトライ！ ・世界に一つだけの作品を楽しく使おう	・体育着袋や手さげなど、生活で使っている布製品を観察し、分かったことを話し合う。 ・手ぬいと比べるなどして、ミシンぬいの特徴を理解するとともに、ミシンぬいによる製作について問題を見つけ、課題を設定する。 ・ミシンの各部の名前を覚えながら、正しいミシンの使い方や気を付けることを考える。 ・安全に気を付けながら、ミシンの使い方を練習する。 ・製作する物を決める。 ・材料や手順を考えて計画を立てる。 ・製作する。授業の終わりには、毎回、ふり返りをする。 ・製作した作品を友達と見せ合い、どのように生活に役立たせるか、生活を楽しくできるかを話し合う。 ・友達の作品を参考にするなど、これまでの学習を生かしたミシンぬいによる製作物を考える。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部5年（I 課程） 総合的な学習の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
35		総合的な学習の時間担当1名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。 (思判表力) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (学・人) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	1	(知及技) ・総合的な学習の時間の内容を知ることができるようにする。 ・将来への希望や身につけたい力について気付くことができるようにする。 (思判表力) ・総合的な学習の時間を通して、将来への希望や付けたい力を具体的に考え、整理分析してまとめ、表現することができるようにする。 (学・人) 将来への希望や身に付けたい力について考えを深め自己実現へ向けて主体的に取り組む態度を育む。	(知・技) ・総合的な学習の時間の内容について理解しようとしている。 ・将来への希望や身につけたい力について気づき、理解しようとしている。 (思・判・表) ・総合的な学習の時間を通して、将来への希望や付けたい力を具体的に考え、整理分析してまとめ、表現しようとしている。 (主学) ・将来への希望や身に付けたい力について考えを深め自己実現へ向けて主体的に取り組もうとしている。	「5年生の総合的な学習の時間について知ろう」	・4年生の総合的な学習の時間を思い出そう ・5年生の学習内容の確認をする。
	2	(知及技) ・目的地の特徴を捉え、自分との関わりや暮らしとのつながりについて知ることができるようにする。 (思判表力) ・目的地の様子について課題を見つけ、整理、分析してまとめ表現することができるようにする。 (学・人) ・見つけた課題や感じたことの解決に向けて主体的に取り組む態度を育む。	(知・技) ・目的地の特徴を捉え、自分との関わりや暮らしとのつながりについて気づき、理解しようとしている。 (思・判・表) ・目的地の様子について課題を見つけ、整理、分析してまとめ表現しようとしている。 (主学) ・見つけた課題や感じたことの解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	「町の様子を知ろう」 ・校外学習①	・地域の店へ出向き、その場所における体験活動をする。 ・課題の解決や体験活動についてまとめる。
	2	(知及技) ・地域のお店の特徴を捉え、自分との関わりや暮らしとのつながりについて知ることができるようにする。 (思判表力) ・地域の店の様子について興味・関心を持ち、課題を見つけ、整理、分析してまとめ表現することができるようにする。 (学・人) ・課題の解決に向けて主体的に取り組む態度を育む。	(知・技) ・地域のお店の特徴を捉え、自分との関わりや暮らしとのつながりについて気づき、理解しようとしている。 (思・判・表) ・地域の店の様子について興味・関心を持ち、持ち、課題を見つけ、整理、分析してまとめ表現しようとしている。 (主学) 課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	「町の様子を知ろう」 ・校外学習②	・目的地における体験活動をする。 ・見つけた課題や感じたことの課題の解決を調べる。 ・調べたことや体験活動について絵や写真,文字等でまとめる。
	1	(知及技) ・平和と戦争について具体的な事象をとらえ、自分との関わりや暮らしとのつながりについて気付くことができるようにする。 (思判表力) ・平和と戦争について興味・関心を持ち、当時の人々の暮らしや気持ちを現在の様子と比較しながら自分の考えを持つことができるようにする。又、調べたいことを設定して課題を見つけ、整理、分析してまとめ表現することができるようにする。 (学・人) ・調べたいことの解決に向けて、考えを持ち、表現するなど主体的に取り組む態度を育む。	(知・技) 平和と戦争について具体的な事象をとらえ、自分との関わりや暮らしとのつながりについて気付き、理解しようとしている。 (思・判・表) ・平和と戦争について興味・関心を持ち、当時の人々の暮らしや気持ちを現在の様子と比較しながら自分の考えを持とうとしている。又、調べたいことを設定して課題を見つけ、整理、分析してまとめ表現しようとしている。 (主学) 調べたいことの解決に向けて考えを持ち、表現するなど主体的に取り組もうとしている。	「平和について考えよう」	・平和に関する図書を読んだり、写真や動画を観たりする。 ・平和講話を聞く。 ・関心を持ったことについて調べ、まとめる中で平和について考える。

2 学 期	10	(知及技) ・パソコンを用いた調べ学習において必要な知識や技能を身につけることができるようにする。 ・興味・関心のある事柄と自分との関わりや暮らしとのつながりについて気付くことができるようにする。 (思判表力) ・調べたい事柄についてインターネットで検索し、目的にあった内容を集めて、整理・分析してまとめ、表現することができるようにする。 (学・人) ・調べたいことの解決に向けて、考えを持ち、表現するなど主体的に取り組む態度を育む。	(知・技) ・パソコンを用いた調べ学習において必要な知識や技能を身につけようとしている。 ・興味・関心のある事柄と自分との関わりや暮らしとのつながりについて気付いている。 (思・判・表) ・調べたい事柄についてインターネットで検索し、目的にあった内容を集めて、整理・分析してまとめ、表現しようとしている。 (主学) ・調べたいことの解決に向けて、考えを持ち、表現するなど主体的に取り組もうとしている。	「興味のあることを調べて、友達に知ってもらおう」	・調べたいことを考える。 ・調べ方を考える。 ・調べたことを見る人に分かりやすいようにまとめる。
	7	(知及技) ・南城市、豊見城市の特徴を捉え、自分との関わりや暮らしとのつながりについて気づき、理解しようとしている。 (思判表力) ・南城市、豊見城市の様子について興味・関心を持ち、課題を見つけ、整理、分析してまとめ表現することができるようにする。 (学・人) ・課題の解決に向けて主体的に取り組む態度を育む。	(知・技) ・南城市、豊見城市の特徴を捉え、自分との関わりや暮らしとのつながりについて気づき、理解している。 (思・判・表) ・南城市、豊見城市の様子について興味・関心を持ち、課題を見つけ、整理、分析してまとめ表現している。 (主学) ・課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。	「本島南部へ行こう」	・南城市、豊見城市へ行き、具体的な体験活動をする。 ・行きたい場所、やりたいことについてや体験活動についてまとめる。
3 学 期	12	(知及技) 身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付くこと。 (思判表力) ・「プログラミング的思考」を働かすことができるようにする。 (学・人) ・コンピュータの働きを、よりよい人生や社会づくりに生かそうとする態度を涵養すること。	(知・技) 身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付こうとしている。 (思・判・表) ・「プログラミング的思考」を働かせ、結果を確かめようとしている。 (主学) ・コンピュータの働きを、よりよい人生や社会づくりに生かそうとしている。	「プログラミングを体験しよう」	・「Scratch Tutorial」のアプリで、プログラミングを体験する。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部5年（I 課程） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
35		特別活動担当1名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動をする上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力) 集団や自己の生活，人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の 生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	(知及技) 儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方について理解し、厳粛な場におけるマナー等の規律，気品のある行動の仕方などを身に付けるようにする。 (思判表力) 学校や学年の一員として、よりよい学校生活にするために、新しい生活への希望をもって、集団の場において規則正しく行動するようにする。 (学・人) 厳粛で清新な気分を味わい、儀式的行事を節目として、見通しをもったり振り返ったりしながら、これからの生活への希望や意欲を高め、儀式的行事に積極的に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方について理解し、厳粛な場におけるマナー等の規律，気品のある行動の仕方などを身に付けている。 (思・判・表) 学校や学年の一員として、よりよい学校生活にするために、新しい生活への希望をもって、集団の場において規則正しく行動している。 (主学) 厳粛で清新な気分を味わい、儀式的行事を節目として、見通しをもったり振り返ったりしながら、これからの生活への希望や意欲を高め、儀式的行事に積極的に取り組もうとしている。	・就任式、1学期始業式 ・入学式 ・1学期終業式	・行事の意義 ・式典への参加 ・場にふさわしいマナー
	1	(知及技) 自分の目標を立てることができるようにする。 (思判表力) 目標の実現に向けて、何が必要なのかを考えることができるようにする。 (学・人) 学校や日常の生活づくりに主体的に関わろうとすることができるようにする。	(知・技) 自分の目標を立てている。 (思・判・表) 目標の実現に向けて、何が必要なのかを考えている。 (主学) 学校や日常の生活づくりに主体的に関わっている。	「キャリアパスポート」	・1学期の目標と学年目標を立て、キャリアパスポートに記入し、発表する。
	4	(知及技) 心身の健全な発達や健康の保持増進，事件や事故，災害等の非常時から身を守ることなどについてその意義を理解し，必要な行動の仕方など身に付けている。また、体育的な集団活動の意義を理解し，規律ある集団行動の仕方などを身に付けるようにする。 (思判表力) 学校や学年の一員として，健全な生活するために，自己の健康や安全についての課題や解決策について考えたり，運動することのよさについて考えたりし，適切に判断することができるようにする。 (学・人) 心身の健全な発達や健康の保持増進に努め安全に関心をもつとともに，運動に親しみ体力を向上するために，見通しをもったり振り返ったりしながら，健康安全・体育的行事に積極的に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 心身の健全な発達や健康の保持増進，事件や事故，災害等の非常時から身を守ることなどについてその意義を理解し，必要な行動の仕方など身に付けている。 体育的な集団活動の意義を理解し，規律ある集団行動の仕方などを身に付けている。 (思・判・表) 学校や学年の一員として，健全な生活するために，自己の健康や安全についての課題や解決策について考えたり，運動することのよさについて考えたりし，適切に判断し実践している。 (主学) 心身の健全な発達や健康の保持増進に努め安全に関心をもつとともに，運動に親しみ体力を向上するために，見通しをもったり振り返ったりしながら，健康安全・体育的行事に積極的に取り組もうとしている。	・「身体測定」 ・「内科検診」 ・「歯科検診」 ・「心電図検査」	・身体の成長を知る ・生活習慣を見直す ・体の調子を知る ・心身の健康 ・歯の状態を知る ・歯の衛生 ・健康の保持増進 ・体の調子を知る ・心身の健康

	(知及技) 心身の健全な発達や健康の保持増進, 事件や事故, 災害等の非常時から身を守るなどについてその意義を理解し, 必要な行動の仕方など身に付けている。また、体育的な集団活動の意義を理解し, 規律ある集団行動の仕方などを身に付けるようにする。 (思判表力) 学校や学年の一員として, 健全な生活にするために, 自己の健康や安全についての課題や解決策について考えたり, 運動することのよさについて考えたりし, 適切に判断することができるようにする。 (学・人) 心身の健全な発達や健康の保持増進に努め安全に関心をもつとともに, 運動に親しみ体力を向上するために, 見通しをもったり振り返ったりしながら, 健康安全・体育的行事に積極的に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 心身の健全な発達や健康の保持増進, 事件や事故, 災害等の非常時から身を守るなどについてその意義を理解し, 必要な行動の仕方など身に付けている。 体育的な集団活動の意義を理解し, 規律ある集団行動の仕方などを身に付けている。 (思・判・表) 学校や学年の一員として, 健全な生活にするために, 自己の健康や安全についての課題や解決策について考えたり, 運動することのよさについて考えたりし, 適切に判断し実践している。 (主学) 心身の健全な発達や健康の保持増進に努め安全に関心をもつとともに, 運動に親しみ体力を向上するために, 見通しをもったり振り返ったりしながら, 健康安全・体育的行事に積極的に取り組もうとしている。	「火災避難訓練」	・災害の種類 ・おはしもち ・避難経路の確認
	(知及技) 儀式的行事の意義や, その場にふさわしい参加の仕方について理解し, 厳粛な場におけるマナー等の規律, 気品のある行動の仕方などを身に付けるようにする。 (思判表力) 学校や学年の一員として, よりよい学校生活にするために, 新しい生活への希望をもって, 集団の場において規則正しく行動するようにする。 (学・人) 厳粛で清らかな気分を味わい, 儀式的行事を節目として, 見通しをもったり振り返ったりしながら, これからの生活への希望や意欲を高め, 儀式的行事に積極的に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 儀式的行事の意義や, その場にふさわしい参加の仕方について理解し, 厳粛な場におけるマナー等の規律, 気品のある行動の仕方などを身に付けている。 (思・判・表) 学校や学年の一員として, よりよい学校生活にするために, 新しい生活への希望をもって, 集団の場において規則正しく行動している。 (主学) 厳粛で清らかな気分を味わい, 儀式的行事を節目として, 見通しをもったり振り返ったりしながら, これからの生活への希望や意欲を高め, 儀式的行事に積極的に取り組もうとしている。	・2学期始業式 ・2学期終業式	・行事の意義 ・式典への参加 ・場にふさわしいマナー
	(知及技) 自分の目標を立てることができるようにする。 (思判表力) 目標の実現に向けて、何が必要なのかを考えることができるようにする。 (学・人) 学校や日常の生活づくりに主体的に関わろうとすることができるようにする。	(知・技) 自分の目標を立てている。 (思・判・表) 目標の実現に向けて、何が必要なのかを考えている。 (主学) 学校や日常の生活づくりに主体的に関わっている。	・キャリアパスポート	・2学期の目標を立て、キャリアパスポートに記入し発表する。
	(知及技) 心身の健全な発達や健康の保持増進, 事件や事故, 災害等の非常時から身を守るなどについてその意義を理解し, 必要な行動の仕方など身に付けている。また、体育的な集団活動の意義を理解し, 規律ある集団行動の仕方などを身に付けるようにする。 (思判表力) 学校や学年の一員として, 健全な生活にするために, 自己の健康や安全についての課題や解決策について考えたり, 運動することのよさについて考えたりし, 適切に判断することができるようにする。 (学・人) 心身の健全な発達や健康の保持増進に努め安全に関心をもつとともに, 運動に親しみ体力を向上するために, 見通しをもったり振り返ったりしながら, 健康安全・体育的行事に積極的に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 心身の健全な発達や健康の保持増進, 事件や事故, 災害等の非常時から身を守るなどについてその意義を理解し, 必要な行動の仕方など身に付けている。 体育的な集団活動の意義を理解し, 規律ある集団行動の仕方などを身に付けている。 (思・判・表) 学校や学年の一員として, 健全な生活にするために, 自己の健康や安全についての課題や解決策について考えたり, 運動することのよさについて考えたりし, 適切に判断し実践している。 (主学) 心身の健全な発達や健康の保持増進に努め安全に関心をもつとともに, 運動に親しみ体力を向上するために, 見通しをもったり振り返ったりしながら, 健康安全・体育的行事に積極的に取り組もうとしている。	・運動会	・学習成果の発表 ・多様な学び ・学習の振り返り
	(知及技) 心身の健全な発達や健康の保持増進, 事件や事故, 災害等の非常時から身を守るなどについてその意義を理解し, 必要な行動の仕方など身に付けている。また、体育的な集団活動の意義を理解し, 規律ある集団行動の仕方などを身に付けるようにする。 (思判表力) 学校や学年の一員として, 健全な生活にするために, 自己の健康や安全についての課題や解決策について考えたり, 運動することのよさについて考えたりし, 適切に判断することができるようにする。 (学・人) 心身の健全な発達や健康の保持増進に努め安全に関心をもつとともに, 運動に親しみ体力を向上するために, 見通しをもったり振り返ったりしながら, 健康安全・体育的行事に積極的に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 心身の健全な発達や健康の保持増進, 事件や事故, 災害等の非常時から身を守るなどについてその意義を理解し, 必要な行動の仕方など身に付けている。 体育的な集団活動の意義を理解し, 規律ある集団行動の仕方などを身に付けている。 (思・判・表) 学校や学年の一員として, 健全な生活にするために, 自己の健康や安全についての課題や解決策について考えたり, 運動することのよさについて考えたりし, 適切に判断し実践している。 (主学) 心身の健全な発達や健康の保持増進に努め安全に関心をもつとともに, 運動に親しみ体力を向上するために, 見通しをもったり振り返ったりしながら, 健康安全・体育的行事に積極的に取り組もうとしている。	「地震・津波避難訓練」	・災害の種類 ・災害時の身の守り方 ・津波発生時の避難方法 ・避難経路の確認

	12	(知及技) 遠足・集団宿泊的行事の意義や校外における集団生活の在り方, 公衆道徳などについて理解し, 必要な行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力) 学校や学年の一員として, よりよい集団活動にするために, 平素とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方ついて考えたり, 共に協力し合ったりしながら実践することができるようにする。 (学・人) 日常とは異なる環境や集団生活において, 自然や文化などに関心をもち, 見通しをもったり振り返ったりしながら, 遠足・集団宿泊的行事に積極的に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 遠足・集団宿泊的行事の意義や校外における集団生活の在り方, 公衆道徳などについて理解し, 必要な行動の仕方を身に付けている。 (思・判・表) 学校や学年の一員として, よりよい集団活動にするために, 平素とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方ついて考えたり, 共に協力し合ったりしながら実践している。 (主学) 日常とは異なる環境や集団生活において, 自然や文化などに関心をもち, 見通しをもったり振り返ったりしながら, 遠足・集団宿泊的行事に積極的に取り組もうとしている。	・修学旅行	・社会生活で必要な行動 ・他者との協力 ・集団行動
3 学期	2	(知及技) 自分の目標を立てることができるようにする。 (思判表力) 目標の実現に向けて, 何が必要なのかを考えることができるようにする。 (学・人) 学校や日常の生活づくりに主体的に関わろうとすることができるようにする。	(知・技) 自分の目標を立てている。 (思・判・表) 目標の実現に向けて, 何が必要なのかを考えている。 (主学) 学校や日常の生活づくりに主体的に関わっている。	・キャリアパスポート	・3学期の目標を立て、キャリアパスポートに記入し発表する。 ・1年間の自分の成長を振り返ろう
	3	(知及技) 楽しく豊かな学校生活をつくる児童会活動の意義について理解するとともに、活動の計画や運営の方法、異年齢集団による交流の仕方などを身に付けることができるようにする。 (思判表力) 児童会の一員として、学校生活の充実と向上を図るための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりして主体的に実践できるようにする。 (学・人) 楽しく豊かな学校生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、多様な他者と互いのよさを生かして協働し、児童会の活動に積極的に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 楽しく豊かな学校生活をつくる児童会活動の意義について理解するとともに、活動の計画や運営の方法、異年齢集団による交流の仕方などを身に付けている。 (思・判・表) 児童会の一員として、学校生活の充実と向上を図るための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりして主体的に実践している。 (主学) 楽しく豊かな学校生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、多様な他者と互いのよさを生かして協働し、児童会の活動に積極的に取り組もうとしている。	・児童生徒会選挙	・演説動画の視聴 ・立候補者への投票
	3	(知及技) 儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方について理解し、厳粛な場におけるマナー等の規律, 気品のある行動の仕方などを身に付けるようにする。 (思判表力) 学校や学年の一員として, よりよい学校生活にするために, 新しい生活への希望C10:F12をもって, 集団の場において規則正しく行動するようにする。 (学・人) 厳粛で清新な気分を味わい, 儀式的行事を節目として, 見通しをもったり振り返ったりしながら, これからの生活への希望や意欲を高め, 儀式的行事に積極的に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方について理解し、厳粛な場におけるマナー等の規律, 気品のある行動の仕方などを身に付けている。 (思・判・表) 学校や学年の一員として, よりよい学校生活にするために, 新しい生活への希望をもって, 集団の場において規則正しく行動している。 (主学) 厳粛で清新な気分を味わい, 儀式的行事を節目として, 見通しをもったり振り返ったりしながら, これからの生活への希望や意欲を高め, 儀式的行事に積極的に取り組もうとしている。	・3学期始業式 ・小中学部卒業式 ・修了式、離任式	・行事の意義 ・式典への参加 ・場にふさわしいマナー
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部5年（I課程） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
35	小学 道徳 ゆたかな心 5年	道徳担当1名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	1	・自分の目標に対し、困難があってもくじけずに努力してやり遂げようとする心情を育てる。	・より高い目標を立て、希望や勇気をもって、困難があってもくじけずに努力することの大切さを理解しようとしている。 ・自分の目標に向かって、どんなことが必要かを考え、困難があってもくじけずに努力しようとする。	「努力をささえるもの」 ・みんなといっしょに前へ、前へ 一池江璃花子ー	・努力を支えるものについて考える。 ・「みんなといっしょに前へ、前へ 一池江璃花子ー」を読み、努力することのよさについて考える。 ・学習のまとめをし、次の活動につなげる。
	1	・生命がかげがえのないものであることを自覚し、自他の生命を尊重して生きようとする心情を育てる。	・「生きているしょうこ」とは、体と心が成長していることを理解しようとしている。 ・自分の成長に気づき、喜びを感じようとする。 ・希望をもって自らの生活を送り、自他の生命を大切にしようとする。	「広がる心 深まる心」 ・一枚の写真から	・自分の写真を見て、感じたことを話し合う。 ・「一枚の写真から」を読み、「生きているしょうこ」について考える。 ・今日の学習から考えたことを伝え合う。
	1	・生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心がけようとする態度を養う。	・適度に「心のひもをしめる」ように、ほどよく自分をコントロールすることによって、自分の力が発揮できることを理解しようとしている。 ・規則正しい生活をするごとに、よさを感じようとしている。 ・自分の生活を見直し、適度に「心のひもをしめた」節度ある生活をしようとする。	「心のひもをしめる」 ・ひみつのトレーニング	・生活を振り返り、心がけていることを話し合う。 ・「ひみつのトレーニング」を読み、節度、節制の大切さについて話し合う。 ・自分の生活を振り返り、「心のひもをしめる」ことがないかを考える。
	1	・人は皆多くの人に支えられて生きているということが分かり、それに感謝し、応えようとする態度を養う。	・人は周囲の人に支えられて生活していることを理解しようとしている。 ・自分を支えてくれている周囲の人の思いを感じようとしている。 ・人のためになる、自分にもできそうなことを考え、実践への意欲をもつ。	「みんなのために」 ・助け合い傘	・自分たちの生活を支えている人について発表する。 ・「助け合い傘」を読み、支えてくれている周囲の人への感謝について話し合う。 ・みんなのために活動している人の思いや、自分にできることを考える。
	1	・困難な状況に置かれても、人と人がつながり、自分にできる励ましや援助をしようとする思いやりの心を育てる。	・困難な状況においても、相手を思いやり、人と人がつながることのよさを理解しようとしている。 ・人とのつながりを大切にし、自分にできることをしている人の姿に共感しようとしている。 ・周りの人とつながるために相手のことを思いやり、自分にできることを実践しようとしている。	「思いやりをつなぐ」 ・みんなのつくえ	・人と人がつながることのよさについて考える。 ・「みんなのつくえ」を読み、人と人がつながるために大切なことを考える。 ・導入の問題を再度考えることを通して、授業を通して学んだことを振り返る。
	1	・働くことの喜びを理解すると共に、人の役に立つ仕事をしようとする	・働くことは自分の生活のためだけでなく、社会生活を支えるものであることを理解しようとしている。 ・人のために働くことが、自分の喜びにつながっている人の姿に共感しようとする。 ・自分にできることは何かを考え、社会に奉仕し、公共のために役に立とうとする。	「働く幸せ」 ・チョーク工場の本田さん	・働くことの目的について考える。 ・「チョーク工場の本田さん」を読み、本田さんの仕事に対する思いを通して、働くことのよさについて話し合う。 ・働くよさについてまとめる。
	1	・さまざまな文化や習慣がある世界の中で人々とつながり合っていくよさが分かり、地球で生きていく大切な一人として世界の人々とのつながりを大切にしていこうとする心情を育む。	・さまざまな国の文化はそこに生きる人々の歴史によって違うが、それを認め合いながらつながっていくことが国際親善につながることがを理解しようとしている。 ・それぞれの国によって文化の違いがあるが、そこに生きる人々、一人一人がつながり合って多様性のある世界をつくり上げているということを感じようとしている。 ・地球で生きていく一人として、世界中の人々や歴史、文化を理解しながらつながり合っていこうとしている。	「世界の人々とつながるために」 ・七十六億個のピース 一星野ルネー	・国際理解について考える。 ・「七十六億個のピース 一星野ルネー」を読み、世界の人々とつながるために大切なことについて話し合う。 ・外国の人々とつながり合うために、大切なことについて話し合う。
	1	・自分の考えや意見を相手に伝え、広い心で自分と異なる考えや立場を認めて、尊重していこうとする態度を養う。	・仲間の悩みを知り、励まし合って関係を深めていくことが、よりよい集団づくりには大切なことを理解しようとしている。 ・互いに相手の考えや立場を尊重し、高め合う関係にすばらしさを感じようとしている。 ・謙虚な心で相手を尊重し、集団の中で自分の役割を見つけて実践していこうとしている。	「みんなでつくる」 ・みんなの劇	・集団で取り組む活動をよりよくするために、大切なことは何かを考える。 ・「みんなの劇」を読み、広い心で認め合うよさについて話し合う。 ・今日の学習から、集団で取り組む活動をよりよくするために、自分が大切にしていきたいことを考える。
	1	市町村などのさまざまなマークに込められた郷土への願いを知り、自分も伝統や文化を受け継ぎ、積極的に地域に関わっていこうという気持ちをもつ。	・市章などには、シンボルマークとしての郷土への願いが込められていることを理解しようとしている。 ・自分の地域のマークの由来から、地域への先人の願いに共感しようとする。 ・地域の伝統や文化を受け継いで、積極的に地域に関わっていこうとしている。	「マークにこめられた願い」 ・シンボルマークにこめられたものは	・自分の市の市章はどんな意味をもつか話し合う。 ・「シンボルマークにこめられたものは」を読み、シンボルマークに込められた願いについて考える。 ・自分たちの地域のシンボルマークに込めたい願いを考え、話し合う。

	1	・だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平に接し、正義の実現に努めようとする態度を養う。	・差別や偏見をなくすことが、正義の実現のために大切だということを理解しようとしている。 ・公正、公平なよりよい社会の実現に向けて、行動した人の思いに共感しようとしている。 ・自分には何ができるのかを問いかけながら、だれにでも公正、公平に接し、正義の実現に向けて努力しようとしている。	「正義をつらぬいた人」 ・ガンジーのいかり	・人種差別と闘ったガンジーの人柄や経歴を共有する。 ・「ガンジーのいかり」を読み、偏見や差別をなくすために大切なことについて考える。 ・ガンジーの生き方から学んだことをまとめる。
	1	・礼儀とは「心」と「かたち」が1つになって表れることで、より美しく感じる事が分かり、「心」と「かたち」を1つにして真心をもって人に接しようとする態度を養う。	・礼儀には、時と場、相手に応じた仕方があるが、よい「心」が「かたち」に表れると美しいことを理解しようとする。 ・人や状況に合わせて礼儀正しくすることができる「心」に共感している。 ・礼儀という「かたち」が自然と表れるような「心」を育てたいという意欲をもとうとしている。	「心をかたちに」 ・日本の心とかたち	・「心」が表れた「かたち」について考える。 ・「日本の心とかたち」を読み、礼儀のよさや大切さについて考える。 ・学習を通して考えた「心」を「かたち」にすることのよさから、これからどのように行動していくか、考えたことをまとめる。
	1	・自分の権利と同様に他者の権利を尊重し、きまりを守ってよりよい生き方をしようとする心情を育む。	・自分の権利だけを考えると、他者に迷惑がかかることを理解しようとしている。 ・自分だけでなく、他者の権利も尊重することのよさを感じようとしている。 ・互いの権利を尊重し、きまりを守ってよりよい生き方をしていこうとしている。	「権利の尊重」 ・ゆかりのアイコン	・自分たちの権利について考える。 ・「ゆかりのアイコン」を読み、互いの権利を守るとはどういうことかを話し合う。 ・授業を振り返り、権利を尊重し合う意義についてまとめる。
	1	・自然の美しさや偉大さを知り、その自然環境を守ろうとする心情を育む。	・自然を未来に残したいという思いは、自然の美しさへの感動や自然に守られているという畏敬の念、自然と共に生きているという実感から生まれることを理解しようとしている。 ・自然を未来に引き継ぐために自分にできることをしている人たちの姿を感じようとしている。 ・身近な自然に目を向け、自然を未来に残すために自分にできることをしようとしている。	「自然と共に」 ・未来につなげたい思い ー尾瀬ー	・自然と共に生きるとはどのようなことかを考え、伝え合う。 ・「未来につなげたい思い ー尾瀬ー」を読み、自然を残したいという思いが生まれる理由について話し合う。 ・身近な自然に目を向けて、それらを未来に引き継ぐためにできることを出し合う。
2 学期	1	・自分の特徴を知り、短所を改め、長所を積極的に伸ばしていこうとする態度を養う。	・ものごとや人にはいろいろな見方があり、観点を変えれば、短所も長所になることを理解しようとしている。 ・友達が見つけてくれた自分のよさに気づき、自分の中の長所を伸ばし、短所を改めたいという思いに共感しようとしている。 ・自分らしさを考えることを通して自分の特徴を知り、短所を改め、長所として伸ばしていこうとしている。	「自分らしさを発揮して」 ・短所も長所	・「自分らしさ」とは何かについて話し合う。 ・「短所も長所」を読み、自分らしさについて、話し合う。 ・自分のよさをどのように伸ばしたいか、考える。
	1	・きまりの意義を理解し、進んでそれを守ることのよさを知り、自分の責任と義務を果たしていこうとする態度を養う。	・きまりの存在意義について主体的に考え、理解を深めようとしている。 ・きまりを守ることの意義について、主人公の考えに共感しようとしている。 ・きまりを守るための自分の課題やそのきまりの意味を考え、重要性を理解し、きまりを守っていこうとしている。	「きまりは何のため」 ・セルフジャッジ	・きまりについての考えを話し合う。 ・「セルフジャッジ」を読み、きまりを守る大切さについて考える。 ・きまりの存在意義について考える。
	1	・自然と共存していこうとする事のよさが分かり、自分ができることを実行しようとする態度を養う。	・課題を乗り越え、水産資源を増やそうと尽力している人たちの自然との関わり方を知り、自然と共存する方法にはさまざまな形があることを理解しようとしている。 ・自然との共存を図ろうとしている人たちの生き生きと努力している姿勢を感じようとしている。 ・身近な自然環境を大切にするために、自分にできることを考えようとしている。	「自然と生きる」 ・海を耕す人たち	・自然と生きることについて話し合う。 ・「海を耕す人たち」を読み、自然と生きることについて考える。 ・自然と生きることについて自分の考えをまとめる。
	1	日本や郷土の文化に興味をもち、その文化的価値を理解し、わが国の文化を大切にしていこうとする心情を育む。	・世界文化遺産に登録された日本の文化遺産の特長やよさを理解しようとしている。 ・文化遺産の価値や、それを先人が守り育ててきた思いに共感しようとしている。 ・日本や郷土の文化に興味をもち、それを大切にしていこうとしている。	「日本の文化遺産」 ・世界の文化遺産	・世界遺産について話し合う。 ・「世界の文化遺産」を読み、日本の文化遺産のよさについて考える。 ・今日の授業で学んだことをまとめる。
	1	・家族のことをより深く知り、家族のために進んで役に立つことをしようとする心情を育む。	・家族のことでよく知らないこともあることを理解しようとしている。 ・家族のことをよく知っている人のことを、すばらしいと感じようとしている。 ・家族について調べ、家族の思いや願いについて考えることで、家族のために何かしたいという意欲をもとうとしている。	「家族への思い」 ・家族の紹介	・家族がしてくれていることについて考える。 ・「家族の紹介」を読み、家族について考える。 ・学習のまとめをし、次の活動につなげる。
	1	・星空など美しい風景を生み出す大自然の摂理に感動し、人間の力を超えたものに畏敬の念をもつ心情を育む。	・人間の歴史と地球の歴史を比べることを通して、地球の誕生からこれまでの約46 億年という時間が、どれほど長いものなのかを理解しようとしている。 ・人間が美しいと感じる自然を構成するもの全てが、地球が気の遠くなるような長い時間をかけて育んできたものであることのすばらしさを感じようとしている。 ・美しい風景や大自然の摂理を生み出す大いなるものに対して、畏敬の念をもって生きようとしている。	「人間の力をこえたもの」 ・星が光った	・「美しい自然」について話し合う。 ・「星が光った」を読み、人間の力を超えたものについて考える。 ・人間の力を超えたものについてより深く考える。
	1	・相手の立場に立って考えることによって、互いの理解が深まる事が分かり、だれに対しても謙虚な心で接する態度を養う。	・相手が置かれている状況を自分のこととして考えることにより、互いの理解が深めようとしている。 ・相手の立場に立って考えることの大切さを感じようとしている。 ・相手と互いに理解し合い、だれに対しても謙虚な心で接しようとしている。	「けんきよな心で」 ・約束	・携帯電話やスマートフォンでのトラブルを想起する。 ・「約束」を読み、謙虚な心の大切さについて考える。 ・本時の学習から学んだことをまとめる。

	1	・他人にも、自分自身に対しても、誠実に明るいい心で生きていこうとする心情を育む。	・誠実さとは、自分の良心に従い、真心をもって行動しようとする態度であることを理解しようとしている。 ・誠実な人の生き方に共感しようとしている。 ・誠実な人の生き方と自分の生き方を重ね合わせ、同じような心が自分にもあることが分かり、それを高めていこうとしている。	「誠実に生きる」 ・手品師	・主題「誠実に生きる」について考える。 ・「手品師」を読み、誠実に生きる意味について考える。 ・手品師の生き方と自分の生き方を重ねて考える。
	1	・真理を大切にし、ものごとを探究し、よりよい未来を築こうとしている。	・新しいものを求め、知力をもとに探究することは、人々のよりよい未来につながることを理解しようとしている。 ・真理を大切にし、新しいものをつくり出そうと研究を重ねる人の心に共感しようとしている。 ・進んで新しいものを求め、真理を大切にして、よりよい未来をつくらうとする意欲を高めようとしている。	「真理を求めて」 ・治せない病気を治すために ー山中伸弥ー	・山中伸弥氏の思いを考える。 ・「治せない病気を治すために ー山中伸弥ー」を読み、真理を探究するために大切なことについて考える。 ・本時で学んだことを自分の言葉でまとめる。
	1	・男女の隔てなく相手の考えを尊重し、よさを認め合って、よりよい友達関係を築いていこうとしている。	・互いのよいところを認め、相手の考えを取り入れることで、よりよい友達関係が築けることを理解しようとしている。 ・友達どうしが互いのよさを認め合い、支え合うことで友情を深めた姿を感じようとしている。 ・自分も周りにいる友達とよりよい関係を築いていこうとしている。	「勝つよりもすてきなこと」 ・ドッジボールを百倍楽しくする方法	・「よい友達」とは、どのような友達かを考える。 ・「ドッジボールを百倍楽しくする方法」を読み、よりよい友達関係について考える。 ・今日の学習で学んだことを自分の言葉でまとめる。
	1	・だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努める心情を育む。	・自分が意図していなくても、自分の行為が人によっては嫌な気持ちになることを理解しようとしている。 ・人の気持ちを思いやり、だれに対しても公正、公平に接しようとする心に共感しようとしている。 ・相手の気持ちを思いやり、差別をしたり偏見をもったりせず友達に接しようとしている。	「いじめにつなげない」 ・光輝の告白	・ついつい周りに流されて行動してしまうことを振り返る。 ・「光輝の告白」を読み、公正、公平な態度で接するよさについて考える。 ・本時で学んだことを自分の言葉でまとめる。
	1	・自由を大切にし、自律的に判断して、規律ある行動をとろうとする心情を育む。	・自由というのは、好き勝手をしてよいということではなく、自己管理(規律)が伴うことであることを理解しようとしている。 ・自律が伴う自由を大切にしている行動に、よさを感じようとしている。 ・自分の心に規律をつくり、それをもとにした行動をしようとしている。	「自分の心が見ている」 ・心の管理人	・自由の概念を出し合う。 ・「心の管理人」を読み、自由の意味やよさを考える。 ・今日の学習をまとめる。
	1	・日本以外の国の歴史や文化を知り、認め合うことが国際親善につながる事が分かり、世界の人々と積極的に関わっていこうとしている。	・互いの国の人々や歴史、文化をよく知り、認め合うことが国際親善につながることを理解しようとしている。 ・互いの国の姿を正しく知ることの大切さに共感しようとしている。 ・外国の人々や歴史、文化について関心をもち、世界の人々と積極的に関わっていこうとしている。	「世界の人々と共に」 ・フーバーさん	・国際理解について考える。 ・「フーバーさん」を読み、世界の人々と共に生きるために大切なことについて話し合う。 ・外国の人々と共に生きていくために、大切なことについて話し合う。
3 学 期	1	・自分を支えてくれている家族の思いを知り、家族のために進んで役に立つことをしようとする態度を養う。	・自分は、家族のことをよく知らないこともあることを理解しようとしている。 ・家族の思いを知り、家族への敬愛の念を深めようとしている。 ・家族の思いを考え、家族のために何かしたいという意欲を高めようとしている。	「家族の愛」 ・しげちゃん	・家族のことについて考える。 ・「しげちゃん」を読み、家族について話し合う。 ・「わたし」と自分のことを重ね合わせて、改めて家族について考える。
	1	・本当の友達とは、相手の立場や思いを理解し、互いに信頼し合う関係であることが分かり、自分も周りにいる友達と友情を深めていこうとする態度を養う。	・深い友情とは、相手の立場や思いを理解し、相手のことを自分のことのように大切に思う心から生まれることを理解しようとしている。 ・相手の立場や思いを理解し、互いに信頼し合う深い友情で結ばれている関係に共感しようとしている。 ・信頼し合う友達関係に憧れをもち、自分も周りにいる友達と友情を深めていこうとしている。	「本当の友だち」 ・ミレーとルソー	・本当の友達とはどのような人かを考える。 ・「ミレーとルソー」を読み、本当の友達について考える。 ・本時で学んだことを自分の言葉でまとめる。
	1	・より高い目標を立て、勇気と希望をもち、自分のもっている力を精一杯発揮して、くじけず努力してやりぬこうとする態度を養う。	・ものごとを成し遂げるには、強い目的意識をもち、粘り強く実行する力が大切であることを理解しようとしている。 ・人のためになる目標をもち、自分のもっている力を精一杯発揮して努力している姿をすばらしいと感じようとしている。 ・ものごとを成し遂げるために、自分のもっている力を精一杯発揮して生きようとしている。	「目標に向かって」 ・富士観測所をつくるために	・目標を達成するために大切なことについて考える。 ・「富士観測所をつくるために」を読み、努力することのよさについて考える。 ・自分の目標に向かって、どのように取り組んでいくかを考える。
	1	・学校を支えている人々の思いを知り、自分たちでよりよい学校をつくらうとする心情を育む。	・学校生活をよりよく充実したものになしようと、学校を支えている人々の思いを理解しようとしている。 ・協力して、よりよい学校をつくらうとしている人々の思いを感じようとしている。 ・よりよい学校をつくるために、自分たちができることを見つけ、役割を自覚して活動しようとしている。	「わたしたちの学校」 ・ふるさと 一六年生を送る会ー	・自分の学校で続けられていることについて話し合う。 ・「ふるさと 一六年生を送る会ー」を読み、学校を支えている人々の思いを考える。 ・本時の学習を振り返り、改めて自分たちの学校で続けられていることを考える。
	1	・社会に奉仕する喜びを味わうと共に、公共のために役立つことをしていこうとする心情を育む。	・相手のことを考え、思いを込めてボランティアを行うことの大切さを理解しようとしている。 ・社会の役に立つために自分にできることを見つけて、自主的に活動する姿にすばらしさを感じようとしている。 ・社会の役に立つために自分にできることを考え、実行しようとしている。	「ささえ合う心」 ・明日へ向かって	・東日本大震災について押さえる。 ・「明日へ向かって」を読み、ボランティアの重要性について話し合う。 ・今日の学習から考えたことをまとめる。
	1	・困難に出合っても自分らしく生きることのすばらしさを理解し、自分らしく、前向きに生きていこうとする心情を育む。	・困難に出合っても、自分らしく向き合って生きるよさや、くじけても再び立ち上がって生きることのすばらしさを理解しようとしている。 ・困難に出合っても、自分らしく前向きに生きる姿を感じようとしている。 ・困難に出合っても、自分らしく前向きに生きようとしている。	「困難を乗り越えて生きる力」 ・四本の木	・困難にくじけてしまったことを想起する。 ・「四本の木」を読み、困難に出合っても、それを乗り越えるよさについて考える。 ・「四本の木」の生き方から、最後に自分がどのように生きたいと考えたかをまとめる。

	1	・自分の命がたくさんの人たちに支えられ、多くのつながりの中にあるかけがえのないものであることが分かり、自分の命を大切に周囲の人と支え合って生きようとする心情を育む。	・命をかけて、かけがえのない命を守っている人々の思いを理解しようとしている。 ・自分の命をかけてまでも、遭難者の命を助けようとする人の生き方にすばらしさを感じようとしている。 ・周囲の人たちに支えられた、かけがえのない自他の命を大切に生きようとしている。	「大切な命を守る」 ・命をかけて命を守る 一山岳警備隊ー	・命を守る仕事にはどのようなものがあるかを発表する。 ・「命をかけて命を守る ー山岳警備隊ー」を読み、命の大切さや、それを守るために働く人の思いを考える。 ・自分たちの周りにも、命を支えている人たちがいることから、自分たちの命の大切さについて話し合う。
	1	・生きているもの全ての命が、かけがえのない尊いものであることを理解し、命を大切にしようとする態度を養う。	・生きているもの全ての命が、かけがえのない尊いものであることを理解しようとしている。 ・命を救い、守り抜こうと努力する人の姿を感じようとしている。 ・命を救い、守り抜こうとする人の生き方から、命を大切にしていこうとしている。	「命のとうとさ」 ・命と向き合う人生	・教科書の新聞記事を見て、坂本さんの活動について予想する。 ・「命と向き合う人生」を読み、坂本さんの行動や思いから、命の尊さについて考える。 ・坂本さんの生き方から考えたことをまとめる。
	1	・よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じ、自分にとってのよりよい生き方を見つけようとする態度を養う。	・平和を願い、正義を貫き通そうとする人の強さや気高さを理解しようとする。 ・平和を願い、正義を貫き通そうとする人の生き方のすばらしさを感じようとする。 ・強く気高い生き方から、少しでも自分につながるところを探して、自分にとってよりよい生き方を見つけようとしている。	「強い思いをもって、よりよく生きる」 ・一人の少女が世界を変える ーマララ・ユスフザイー	・「よりよく生きる」とは、どのようなことか考える。 ・「一人の少女が世界を変える ーマララ・ユスフザイー」を読み、よりよい生き方について考える。 ・マララの生き方から学んだことをまとめる。
留意点 引継ぎ等					